

SONY®

HD COLOR CAMERA

HDC2600

HDC2500

HDC2400

Digital HDVS

OPERATION MANUAL
1st Edition

Japanese

目次

概要	3
特長	3
システム構成	6
各部の名称と働き	7
アクセサリ取り付け部	7
操作 / 端子部	7
準備	12
レンズの取り付け	12
フランジバックの調整	12
ビューファインダーの取り付け	13
ケーブルクランプベルト（付属）の取り付け	15
ショルダーパッドの位置調整	16
三脚への取り付け	16
撮影のための調整と設定	17
ブラックバランス / ホワイトバランスの調整	17
電子シャッターの設定	19
フォーカスアシスト機能の設定	20
カメラ出力の設定	22
ビューファインダー画面上の状態表示	23
メニュー操作	25
メニュー操作の開始	25
ページの選択	26
メニュー項目の設定	26
USER メニューの編集	27
メニュー一覧	31
メニューツリー	31
OPERATION メニュー	35
PAINT メニュー	40
MAINTENANCE メニュー	44
FILE メニュー	48
DIAGNOSIS メニュー	50
付録	52
使用上のご注意	52
エラーメッセージ	52
USB メモリーの取り扱い	53
仕様	54
HDC2600	54
HDC2500	54
HDC2400	55
別売品 / 関連機器	56
外形寸法	57
GNU GPL/LGPL 適用ソフトウェアに関するお知らせ	58

概要

HDC2600/2500/2400は、2/3型220万画素CCD搭載のハイデフィニションポータブルビデオカメラです。

下表のとおり、モデルにより仕様が異なります。

	HDC2600	HDC2500	HDC2400
CCD	FIT	プログレッシブ IT	プログレッシブ IT
ビデオフォーマット	1080/50i、1080/59.94i、1080/23.98PsF、1080/24PsF、1080/25PsF、1080/29.97PsF	1080/50i、1080/59.94i、1080/23.98PsF、1080/24PsF、1080/25PsF、1080/29.97PsF、1080/50P、1080/59.94P、720/59.94P、720/50P、1080/100i*、1080/119.88i*、720/100P*、720/119.88P*	1080/59.94i、720/59.94P、1080/50i、720/50P
内蔵フィルター	光学 ND フィルター（素通し、1/4ND、1/8ND、1/16ND、1/64ND） 光学 CC フィルター（クロス、3200K、4300K、6300K、8000K） 電気フィルター（5600K）	光学 ND フィルター（素通し、1/4ND、1/8ND、1/16ND、1/64ND） 光学 CC フィルター（クロス、3200K、4300K、6300K、8000K） 電気フィルター（5600K）	光学 ND フィルター（素通し、1/4ND、1/16ND、1/64ND） 光学クロスフィルター 電気フィルター（5600K）

* 2 倍速スローモーションフォーマットです。

特長

高画質・高性能

HDC2600は従来のFIT CCD、またHDC2500/2400は新開発2/3型220万画素広帯域プログレッシブIT型のCCDを搭載。新開発の信号処理LSIを搭載し、従来機に比べ、S/N比の向上、高解像度化、スミアレベルの低減など更なる高画質化を実現しました。また、16ビットADコンバーターを採用することで、高精細な映像表現が可能となり、黒の再現性も向上しました。

スローモーション用2倍速撮像に対応 (HDC2500/2400)

1080/50i、59.94iおよび720/50P、59.94Pフォーマットに加えて、1080/23.98PsF、24PsF、25PsF、29.97PsFおよび1080/50P、59.94Pのプログレッシブフォーマット、さらにスローモーション用の2倍速撮像フォーマット1080/100i、119.88iおよび720/100P、119.88Pにも対応しています。

◆ 標準対応していないモデルについては、オプション製品を搭載することにより対応可能です。詳しくは、オプション製品をご覧ください。

デジタルエクステンダー機能

撮影中心部をデジタル的に2倍に拡大します。レンズのエクステンダーと異なり、デジタルエクステンダー機能はFドロップ現象のような感度低下を生じません。

ご注意

2倍速スローモーションフォーマット時には動作しません。また、この機能を使うと画像の解像度が半分に低下します。

収差補正機能

ALAC 2.0 (Auto Lens Aberration Compensation)を搭載。収差補正対応レンズ使用時、倍率色収差を自動的に軽減します。

◆ 収差補正対応レンズについては、ソニーの営業担当者またはサービス担当者にお問い合わせください。

3G 光デジタル伝送ユニットを標準搭載

カメラとカメラコントロールユニット（CCU）間の信号伝送を、3G光デジタル伝送とし、以下のような映像信号伝送とシステム構成を可能にします。

- 1080/50P、59.94P プログレッシブ映像信号伝送
- スローモーション制作用の 1080/100i、119.88i などの 2 倍速撮像映像信号伝送（HDC2500/2400）
- 1080/50i、59.94i および 720/50P、59.94P システム運用時の空き帯域を利用した、HD ブロンプター、HD TRUNK、ネットワーク TRUNK 信号伝送（720 は HDC2500/2400 のみ）
- 2 組の HDC2600/2500/2400・CCU 間の映像信号を、1 本の光ファイバー・マルチケーブルのみで伝送するデュアルカメラシステム
- HDC2600/2500/2400 のカメラ映像と HDC-P1 等のサブカメラ映像の両方を 1 本の光ファイバー・マルチケーブルのみで伝送し、1 台の CCU からそれぞれ出力するサブカメラシステム

多彩な色再現調整機能

アダプティブ・マトリックス機能

撮影時の色変換をより適切に行うため、マトリックス演算係数を適宜制御する新機能を搭載。強い単色青色光源下での撮影な

ど、従来のマトリックス機能では色変換範囲を超えてしまうような特殊な状況においても、適切な色変換を可能にしました。

マルチマトリックスカラーコレクション

通常の6軸マトリックス機能に加え、16軸方向の色成分で色相、彩度の調整を独立に行うマルチマトリックス機能を搭載。複数のカメラの色合わせに威力を発揮します。

ニーサチュレーション

ハイライト領域において発生する色相の変化や彩度の減少を補正することができます。

強い光が顔に当たるような場合に、自然なスキントーンの再現が可能です。

ローキーサチュレーション

ローキー領域において、彩度の補正をすることができます。マトリックスカラー補正、ニーサチュレーション機能との組み合わせで、全領域での色再現補正を実現します。

ガンマテーブルの選択

7タイプの標準ガンマテーブルと4タイプのハイパーガンマテーブルを搭載しています。ハイパーガンマは、従来のビデオガンマとは異なるダイナミックレンジの高いシネマライクな映像表現が可能です。

ユーザガンマ

CvpFileEditor™を使用して作成したお好みのガンマテーブルを“メモリースティック”に記録し、MSU-1000/1500やRCP-1500シリーズからカメラに登録することができます。

- ◆ 標準対応していないモデルについては、オプション製品を搭載することにより対応可能です。詳しくは、オプション製品をご覧ください。

多彩なディテールコントロール機能

スキントーンディテール機能・ナチュラルスキンディテール機能

HDC1600R/1500R/1400R同様に、肌色など任意の色相の色成分からディテールゲート信号を作り出すことにより、画面内の特定の色相／彩度エリアに対してディテール量のコントロール（強調／抑制）が可能です。同時に色相三種のディテールを、独立してコントロールできます。

HDC2600/2500/2400では、眉毛など滑らかな映像にしたい部分と滑らかにしたい肌の部分を鮮明に区分するために、ディテールゲート信号を調整するナチュラルスキンディテール機能を搭載しました。

ディテールブースト周波数コントロール

ブースト周波数を20 MHz～30 MHzの範囲で調整し、被写体に応じてディテール信号の太さを適切な量に設定することで、高精細な映像表現が得られます。

H/Vレシオコントロール

HディテールとVディテールの加わる比率を調整できます。

ホワイト/ブラックリミッター

ホワイト側/ブラック側のディテールを、各々独立して抑制（リミット）できます。

フォーカスアシスト機能

VFディテールとフォーカスアシスト表示機能により、フォーカス合わせをサポートします。

VFディテール

ビューファインダー上の画像のみに付加するVFディテール信号に色をつける機能、モジュレーションをかけフリッカーさせる機能、ズーム位置によりレベルを変える機能を搭載し、さまざまなシーンでのフォーカス合わせをサポートします。

フォーカスアシスト表示

ビューファインダー上にフォーカス位置の目安となる合焦レベルインジケータを表示します。インジケータの振れ幅を目安として、フォーカスポイントを容易に判断することが可能となります。

ビューファインダー用の様々な機能

充実したビューファインダー内の表示

ビューファインダー画面には、操作メッセージ、ゼブラパターン、セーフティゾーンマーカー、センターマーカーなどに加え、本機の設定を表示することができます。さらに、画面の上下には、タリールンプ、バッテリー残量警告ランプ、設定が標準状態ではないことを示すワーニングランプなどが配置されています。

メニューによる設定操作機能

ビューファインダー画面の表示項目、セーフティゾーンマーカー、センターマーカー、スクリーンサイズマーカーなどに関する選択や設定を、ビューファインダー画面または外部モニター画面に表示される設定メニューを見ながら、簡単かつ迅速に行うことができます。

PinP機能

リターン映像をビューファインダー画面にピクチャーインピクチャーで表示することができます。

ご注意

PinP機能はスタンドアローン時には使用できません。HD TRUNK FRAME SYNCHRO機能と同時に使用できません。

豊富な入出力インターフェース

HDC2600/2500/2400には、3G/HD/SD-SDI出力、HD/SD-SDI入力などに加えて、以下のような豊富な入出力インターフェースを搭載しています。

ネットワークTRUNK機能

カメラ・CCU間において最高で1Gbpsのデータ伝送が可能なネットワークTRUNK機能（LAN端子）を搭載しています。これにより複数台のIP伝送カメラをサブカメラとして接続するなど、さまざまな新しいシステム構成を可能とします。

ご注意

ネットワークTRUNKの伝送レートはビデオフォーマットにより異なります。ジャンボフレームには対応していません。

HD TRUNK機能

3G光伝送を活用した新機能としてHD-SDI映像信号とは別に、HD-SDI相当のデジタルデータをHDC2600/2500/2400からHDCU2000/2500に送ることが可能なHD TRUNK機能を搭載しています。

ご注意

HD TRUNK機能は、シングルフォーマット選択時かつネットワークTRUNK機能がOFFに設定されているときに使用できません。

HDプロンプター機能

HDC2600/2500/2400には、リターン映像信号とは別に、HD-SDI相当のデジタルデータをHDCU2000/2500からHDC2600/2500/2400に送ることが可能なHDプロンプター機能を搭載しています。

ご注意

HDプロンプター機能は、シングルフォーマット選択時かつネットワークTRUNK機能がOFFに設定されているときに使用できません。

快適な操作性

水準器表示機能

HDC2600/2500/2400は、水準器機能を搭載し、ビューファインダーやモニターにカメラの傾き量を表示することができます。カメラの水平を確認することにより、安定した撮影をサポートします。

カーボングラファイト・アウトサイドカバー

HDC2600/2500/2400のアウトサイドカバーに、カーボン・グラファイト素材を採用しました。プラスチック素材等に比べて、軽量ながら強度を大幅に向上し、激しい動きが必要とされる撮影においても、安心してお使いいただけます。

低重心型のワンピース筐体

HDC2600/2500/2400は、HDC1500シリーズを継承し、高さを低く抑えたスタイリッシュなデザインを採用しています。大型レンズアダプター HDLA1500シリーズと組み合わせて使用時においても、ビューファインダーの位置を低くし、レンズの光軸にビューファインダー位置を近づけることを実現しました。

スイング式ハンドルとビューファインダーズライド機構

ハンドル上部を前方に突き出した形状により、ハンドル前方を握って撮影する際にカメラをより安定してホールドできます。また、ビューファインダーの前後スライド範囲を広げることで、バランスのよい撮影スタイルを提供します。HDLA1500シリーズと組み合わせて運用時においても、大型ビューファインダーを前方に移動を可能。スタジオ標準カメラと同じ前後長により、スタジオ標準カメラと同じ操作性を提供します。

可動式ショルダーパッド

可動式のショルダーパッドを装備しており、カメラオペレーターの体格、レンズの種類、撮影スタイルに応じた調整をする

ことにより、安定した撮影を可能にします。

別売の低反発タイプのショルダーパッド（固定式）も取り付けが可能です。

（部品番号A-8286-346-A）

アサインブルスイッチ

カメラの側面のアサインブルスイッチは、ユーザーの好みに合わせて、電子色温度変換などの機能をあらかじめ設定して使用することができます。

また、HDVF-EL75、HDVF-C550W等のビューファインダーに搭載されているアサインブルスイッチと連動させ、ビューファインダー内の画像拡大表示機能などをカメラ側の操作で行うことが可能です。

さらに、ハンドル上部にもアサインブルスイッチを2個搭載しており、レンズズーム機能などを設定することが可能です。

USBコネクタ

USBコネクタにUSBメモリーを接続して、セットアップメニューの設定内容等のデータを読み込み、読み出すことができます。

感電防止機能

接続が不完全なとき、カメラコントロールユニットからの高電圧供給を停止します。

オプション製品

以下のオプション製品を組み込むことにより、機能、ビデオフォーマットを追加することができます。

◆ オプション製品の搭載については、ソニーの営業担当者またはお買い上げ店にお問い合わせください。

◆ 仕様等、詳細については、各オプション製品のマニュアルをご覧ください。

デュアル光学フィルターユニットHKC-DF20

本オプション製品を組み込むことにより、2枚フィルター構成（CCフィルターとNDフィルター）が可能になります。

ユーザーガンマ対応ソフトウェアHZC-UG444

本オプション製品を組み込むことにより、CvpFileEditor™（HDC2400のみ）とRGB4:4:4 出力（HDC2400のみ）に対応可能になります。

PsFフォーマット対応ソフトウェアHZC-PSF20

本オプション製品を組み込むことにより、1080/24PsF、1080/23.98PsF、1080/25PsF、1080/29.97PsFフォーマット対応が可能となります。

プログレッシブ対応ソフトウェアHZC-PRV20

本オプション製品を組み込むことにより、1080/50P、1080/59.94Pフォーマット対応が可能となります。

2倍速対応ソフトウェアHZC-DFR20

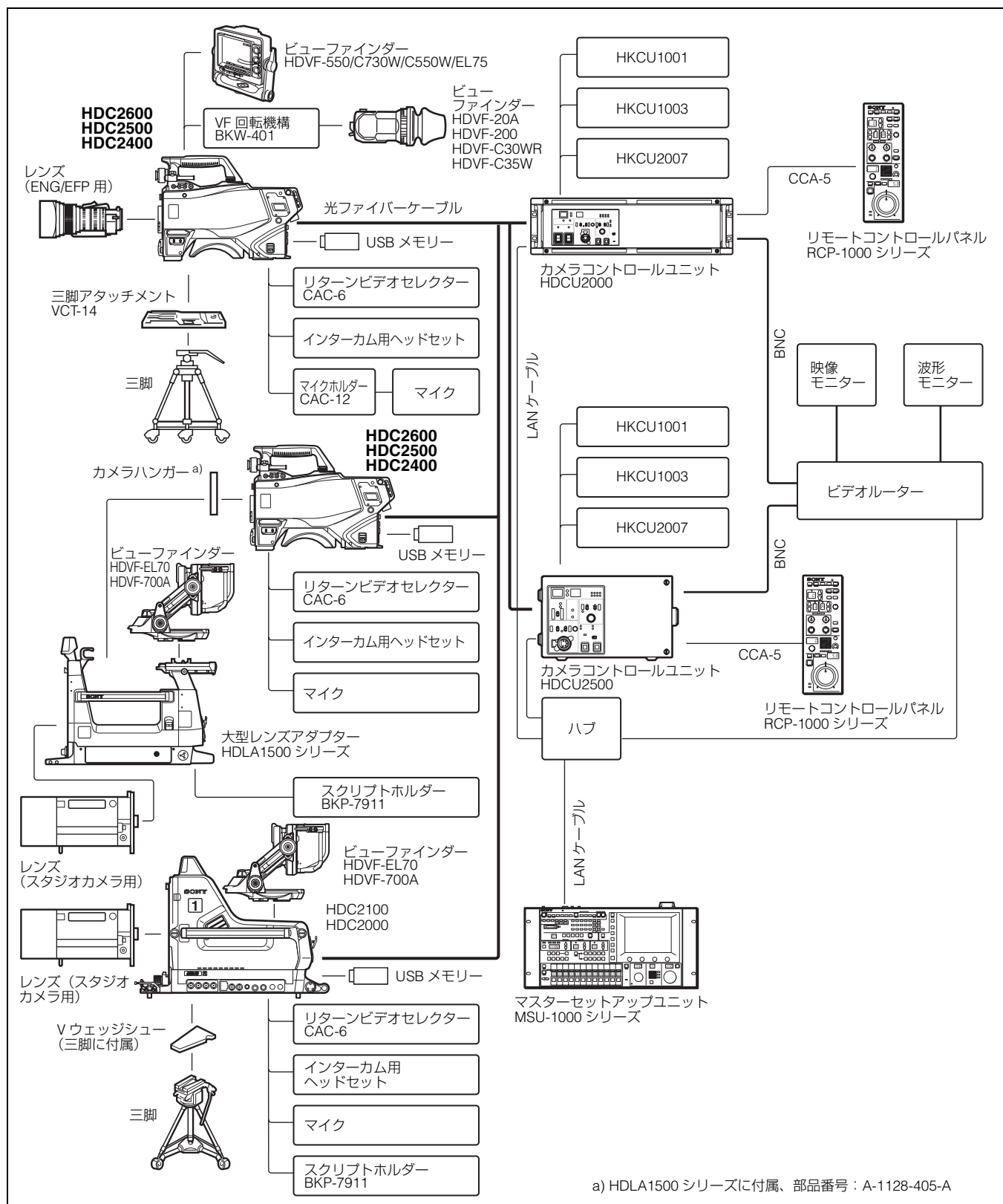
本オプション製品を組み込むことにより、1080/100i、1080/119.88i、720/100P、720/119.88Pの2倍速スローモーション撮影への対応が可能となります。

システム構成

ご注意

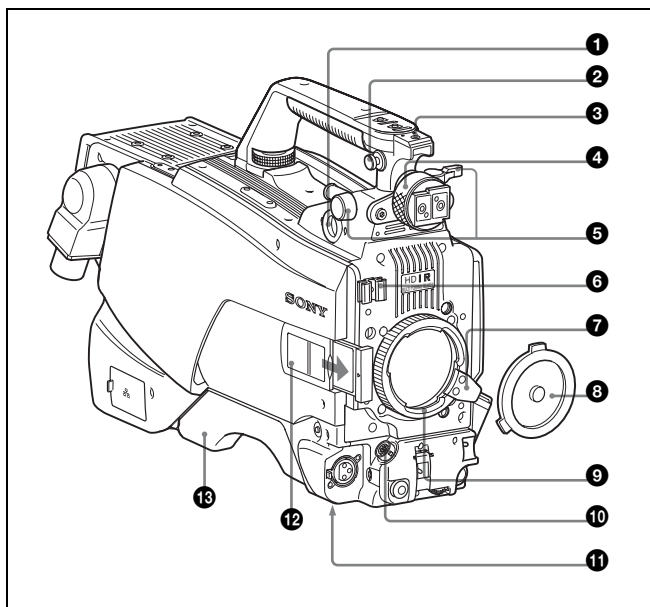
図に記載されている周辺機器や関連機器は、「生産完了」となっている場合があります。
機器の選定にあたっては、ソニーの営業担当者またはお買い上げ店にお問い合わせください。

接続例



各部の名称と働き

アクセサリ取り付け部



① VF (ビューファインダー) 端子 (20 ピン)
ビューファインダー (別売) のケーブルを接続します。

② ショルダールベルト取り付け金具
ショルダールベルト (別売) の一端をこの取り付け金具に取り付け、もう一端を右側面のショルダールベルト取り付け金具に取り付けます。

③ アクセサリーシュー
1/4インチネジで取り付けるタイプです。

④ ビューファインダー左右位置固定リング
ビューファインダーの左右位置をロックします。
位置を調整するときは、このリングをゆるめます。

⑤ ビューファインダー前後位置固定レバーと LOCK つまみ
ビューファインダーの前後位置をロックします。
位置を調整するときは、レバーとつまみをゆるめます。

◆ ビューファインダーの位置の調整について詳しくは、「ビューファインダーの取り付け」(13 ページ) をご覧ください。

⑥ レンズ用ケーブルクランプ
レンズ (別売) のケーブルを固定します。

⑦ レンズ固定レバー
レンズをレンズマウントに固定します。

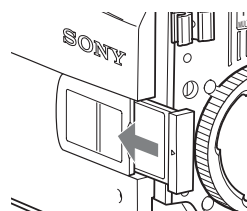
⑧ レンズマウントキャップ
レンズを取り付けていないときは、このキャップをはめ込んでおいてください。レンズ固定レバーを押し上げると、取り外せます。

⑨ レンズマウント
レンズを取り付けます。

⑩ LENS (レンズ) 端子 (12 ピン)
レンズのケーブルを接続します。この端子を介して、本機からレンズの機能をコントロールすることができます。

⑪ 三脚マウント
本機を三脚に固定するとき、三脚アタッチメントVCT-14を取り付けます。

⑫ カメラナンバー
付属のカメラナンバーラベルを挿入し、カメラナンバーを表示することができます。

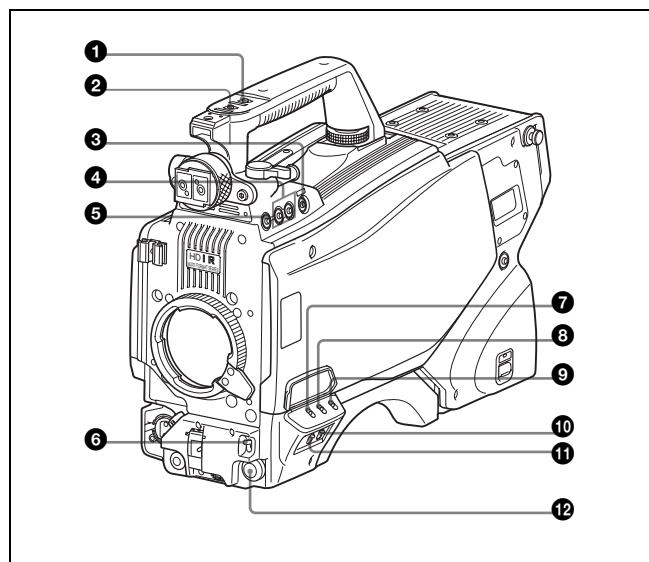


⑬ ショルダerpッド
前後に位置を調整できます。

◆ 詳しくは「ショルダerpッドの位置調整」(16 ページ) をご覧ください。

操作 / 端子部

前面 (右)



① INCOM (インターカム 1) ボタン
押している間、インターカム1のマイクがONになります。
このボタンには、ビューファインダーに表示されるメニューを使用して各種の機能を割り付けることもできます。

② RET 1（リターンビデオ 1）ボタン

押している間、カメラコントロールユニットからのリターンビデオ1信号をビューファインダー画面でモニターできます。側面のRET 1ボタン（9ページ）および後面操作パネルのRET 1ボタン（10ページ）と同じ機能です。

このボタンには、ビューファインダーに表示されるメニューを使用して各種の機能を割り付けることもできます。

③ アサイナブルスイッチ

ビューファインダーに表示されるメニューを使って、各種の機能を割り付けることができます。

④ 内蔵フィルター切り換えボタン

HDC2600/2500

FILTER LOCALボタンを押しながら、切り換えボタンを押して内蔵のNDフィルターまたはCC（色温度変換）フィルターを切り換えます。

左のボタンを押すとNDフィルター（素通し、1/4ND、1/8ND、1/16ND、1/64ND）が順次切り換わります。

右のボタンを押すとCCフィルター（クロスフィルター、3200K、4300K、6300K、8000K）が順次切り換わります。

HDC2400

FILTER LOCALボタンを押しながら、いずれかの切り換えボタン（UPまたはDOWN）を押して、内蔵の光学フィルター（素通し、1/4ND、1/16ND、1/64ND、クロスフィルター）を切り換えます。

⑤ FILTER LOCAL（内蔵フィルター）ボタン

このボタンを押しながら、どちらかの内蔵フィルター切り換えボタンを押して内蔵の光学フィルターを切り換えます。

⑥ AUTO W/B BAL（ホワイトバランス / ブラックバランス自動調整）スイッチ

カメラコントロールユニットを接続せずカメラ単体で使用する
とき、ホワイトバランスとブラックバランスを自動調整します。

WHT：ホワイトバランスを自動調整します。

BLK：ブラックバランスを自動調整します。

⑦ GAIN（ゲイン）スイッチ

カメラコントロールユニットを接続せずカメラ単体で使用する
とき、撮影時の照明の状態に応じて映像アンプのマスターゲイン（利得）を切り換えます。

L、M、Hの設定に対応するゲイン値は、出荷時にL=0 dB、M=6 dB、H=12 dBに設定されています。

⑧ OUTPUT/AUTO KNEE（出力信号選択 / オートニー）スイッチ

カメラコントロールユニットを接続せずカメラ単体で使用する
とき、本機からVTR、ビューファインダー、ビデオモニターへの出力信号（カラーバー信号、またはカメラが撮影している映像）を選びます。

撮影している映像を出力信号として選択しているときは、オートニー機能を使用できます。

スイッチ設定と出力信号/オートニー機能の選択の関係は次のとおりです。

OUTPUT	AUTO KNEE	機能
BARS	OFF	カラーバー信号が出力される。
CAM	OFF	カメラで撮影している映像が出力される。 オートニー回路は機能しない。
CAM	ON	カメラで撮影している映像が出力される。 オートニー回路が機能する。

⑨ WHITE BAL（ホワイトバランスメモリー切り換え）スイッチ

カメラコントロールユニットを接続せずカメラ単体で使用する
とき、ホワイトバランスの調整方式、および調整値を記憶させて使用することができます。

PRST（プリセットメモリー）：色温度 3200K に対応するホワイトバランスのプリセット値に調整されます。

A または B：メモリー A または B を選択します。

⑩ DISPLAY（ディスプレイ）スイッチ

以下のように機能します。

DISPLAY：ビューファインダー画面にオペレーション時の状態を示す文字が現れます。

OFF：ビューファインダー画面の文字表示がすべて消えます。

MENU：ビューファインダー画面に設定メニューが表示されます。

⑪ STATUS/CANCEL（ステータス / 取り消し）スイッチ

STATUS：メニューが表示されていないときは、本機のステータス情報を表示します。

CANCEL：ビューファインダーにメニューが表示されているとき、メニュー設定の内容を取り消したり、メニューの前画面に戻る働きをします。

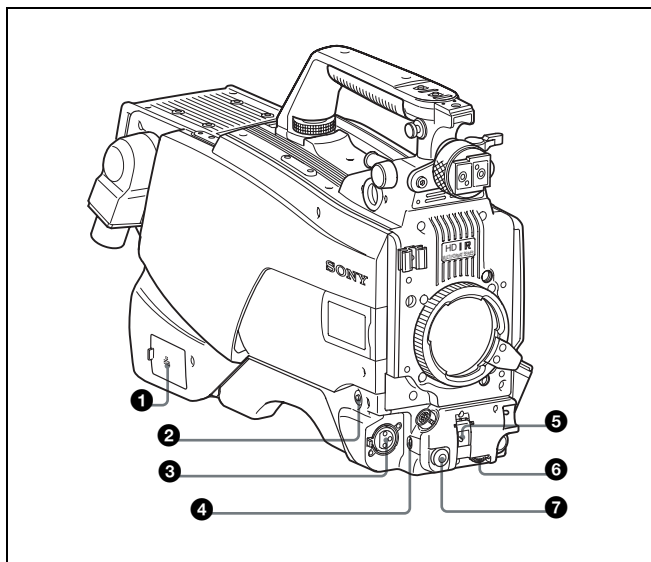
⑫ MENU SEL（メニュー選択）つまみ / ENTER（確定）ボタン（ロータリーエンコーダー）

ビューファインダー画面に表示されるメニュー項目を選択（つまみを回す）/確定（ボタンを押す）します。

ご注意

⑥～⑨の機能は、カメラコントロールユニットや、RCP、MSUなどのリモートコントロール機器を接続したときは、接続した機器からのコントロールになり、カメラ本体のスイッチは動作しません。

前面（左）



① NETWORK TRUNK 端子 (RJ-45 8 ピン)

CCU側のNETWORK TRUNK端子に接続された機器とネットワーク接続する端子です。

② RET 1 (リターンビデオ 1) ボタン

押している間、カメラコントロールユニットからのリターンビデオ1信号をビューファインダー画面でモニターできます。ハンドル上部のRET 1ボタン（8ページ）および後面操作パネルのRET 1ボタン（10ページ）と同じ機能です。

このボタンには、ビューファインダーに表示されるメニューを使用して各種の機能を割り付けることもできます。

③ MIC 1 IN (マイク入力) 端子 (XLR 型、3 ピン)

マイクを接続します。

後面コネクターパネルのCH1スイッチ（11ページ）によって、AUDIO IN CH-1端子（11ページ）と切り換えて使用します。

④ MIC (マイク) 電源スイッチ

+48V : MIC 1 IN 端子に接続したマイクに +48V の電源を供給します。

OFF : MIC 1 IN 端子に接続したマイクに電源を供給しないで使用します。

⑤ SHUTTER (シャッター) スイッチ

カメラコントロールユニットを接続せずカメラ単体で使用する時、電子シャッターのON/OFF、シャッタースピードの選択に使用します。

OFF : 電子シャッターは働きません。

ON : 電子シャッターを使用します。

SEL : スイッチをこの位置にすると、シャッタースピードおよびシャッターモードの設定が切り換わります。

◆ 詳しくは「電子シャッターの設定」（19 ページ）をご覧ください。

⑥ INTERCOM LEVEL (インターカム音量) つまみ

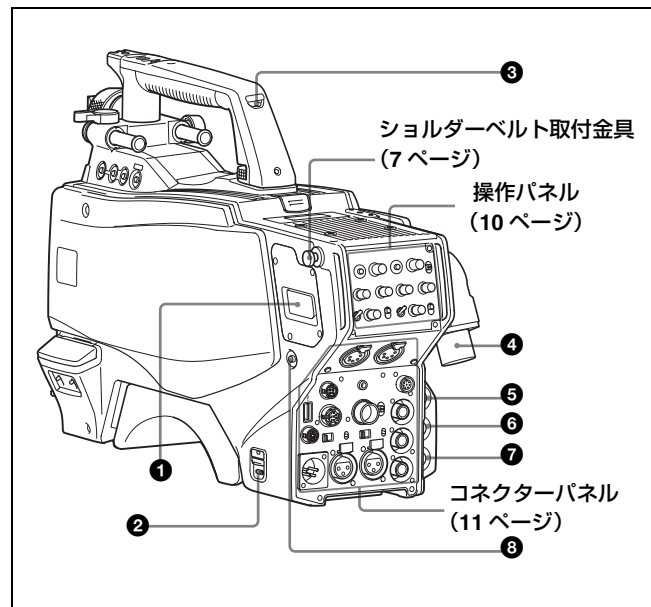
インターカムおよびイヤホンの音声レベルを調整します。インターカムレベルの調整は後面操作パネルのINTERCOM 1/2 LEVEL/MICスイッチ（10ページ）がFRONT側に設定されているときに有効です。

⑦ RET 2 (リターンビデオ 2) ボタン

このボタンを押すと、ビューファインダー画面が後面操作パネルのRET 2スイッチ（10ページ）で選択したリターンビデオ信号に切り換わります。

このボタンには、ビューファインダーに表示されるメニューを使用して各種の機能を割り付けることもできます。

後面



① DC 電源出力端子 (2 ピン)

この端子から最大2.5 Aまで外部機器へ給電することができます。

② CAMERA POWER (カメラ電源) スイッチ

CCU : カメラコントロールユニットからの給電で電源が入ります。

EXT : DC IN 端子からの給電で電源が入ります。

③ タリーランプとタリースイッチ

ON : 接続したカメラコントロールユニットへのタリー入力やCALL ボタンなどによる呼び出し時にタリーランプが点灯します。

OFF : タリーランプを点灯禁止にします。

④ CCU (カメラコントロールユニット) 端子 (光電気マルチコネクター)

光電気マルチケーブルでカメラコントロールユニットと接続します。

⑤ SDI 1 (シリアルデジタルインターフェース 1) 端子 (BNC 型)

3G-SDI信号、HD-SDI信号、またはHD PROMPTER信号を出力します。

⑥ SDI 2 (シリアルデジタルインターフェース 2) 端子 (BNC 型)

HD-SDI信号を出力します。またはHD TRUNK 信号を入力します。

スタンドアロン時は、HD-SDI のリターン信号を入力することができます。
RET (リターン) を1に選択したときは、ビューファインダーに表示されます。

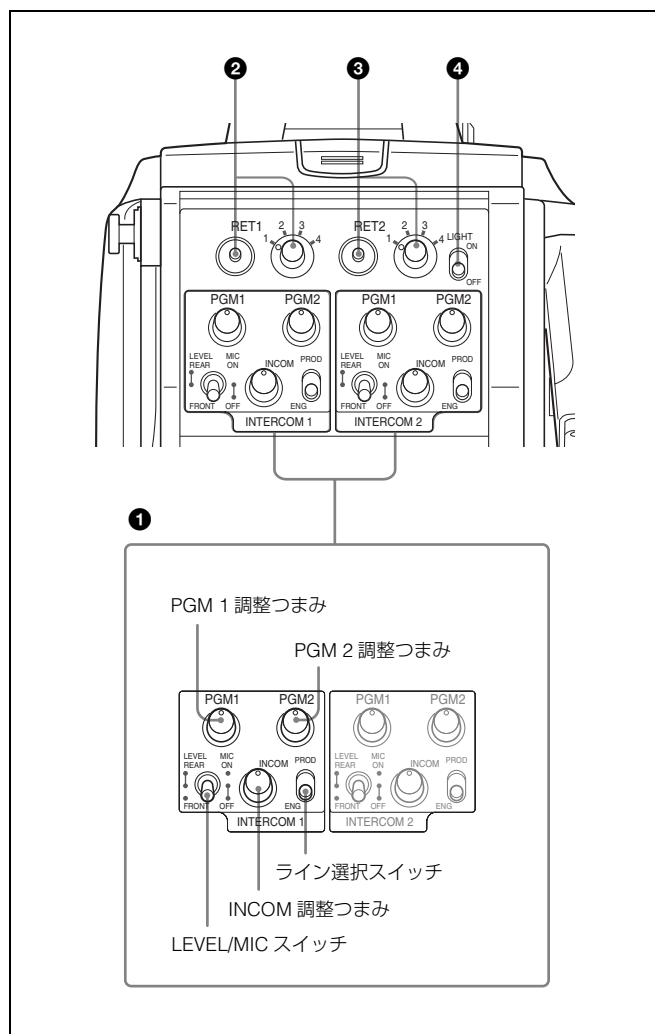
⑦ PROMPTER2 (プロンプター 2) 端子 (BNC 型)

プロンプター 2信号を出力します。
プロンプター 2入力端子を持つカメラコントロールユニット接続時のみ有効です。
スタンドアロン時は、VBS のリターン信号を入力します。
RET (リターン) を2に選択したときは、ビューファインダーに表示されます。

⑧ CALL (コール) ボタン

押すと、RCP-1000シリーズのリモートコントロールパネルやマスターセットアップユニットMSU-1000シリーズのレッドタリランプが点灯します。RCPやMSUオペレーターを呼び出すときに使います。

操作パネル



① INTERCOM1 (インターカム 1)、INTERCOM2 (インターカム 2) つまみ/スイッチ

インターカムライン1、インターカムライン2それぞれに対し、PGM1調整つまみ、PGM2調整つまみ、ライン選択スイッチ、

LEVEL/MICスイッチ、およびINCOM調整つまみが用意されています。

PGM1 (プログラム1) 調整つまみ

プログラム 1 の音声受話レベルを調整します。

PGM2 (プログラム2) 調整つまみ

プログラム 2 の音声受話レベルを調整します。

LEVEL/MIC (レベル/マイクロホン) スイッチ

REAR/ON : インターカム用ヘッドセットのマイクを ON にします。インターカム音声の受話レベルは INCOM 調整つまみで調整します。

REAR/OFF : インターカム用ヘッドセットのマイクを OFF にします。インターカム音声の受話レベルは INCOM 調整つまみで調整します。

FRONT/OFF : インターカム用ヘッドセットのマイクを OFF にします。インターカム音声の受話レベルは、INCOM 調整つまみとカメラ前部の INTERCOM LEVEL つまみ (9 ページ) で調整できます。

INCOM (インターカム) 調整つまみ

インターカム音声の受話レベルを調整します。

ライン選択スイッチ

インターカムラインを選択します。

PROD : プロデューサーラインを使用します。

ENG : エンジニアラインを使用します。

② RET 1 (リターンビデオ 1) ボタン/スイッチ

ボタンを押している間、スイッチで選択したリターンビデオ信号をビューファインダー画面でモニターできます。

③ RET 2 (リターンビデオ 2) ボタン/スイッチ

リターンビデオ1と並行して別の系統のシステムを使用している場合、スイッチで選択した信号を、ボタンを押している間ビューファインダー画面でモニターできます。

ご注意

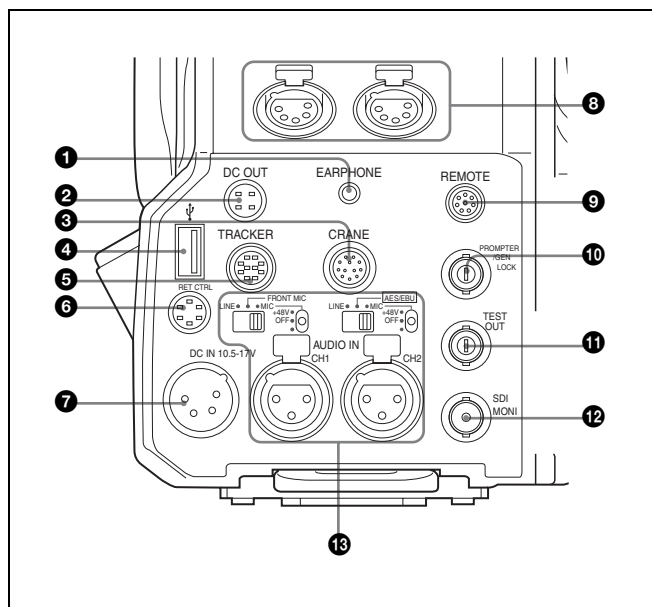
RET 1ボタンとRET 2ボタンを両方とも押した場合は、RET 1ボタンが優先されます。

OPERATIONメニュー <RETURN>12で設定をすると、RET 1ボタンとRET 2ボタンを同時に押したときにRET 3ボタンとして動作させることができます。

④ LIGHT (ライト) スイッチ

ONにすると操作パネルの表示文字が点灯します。

コネクターパネル



① EARPHONE (イヤホン) ジャック (ステレオミニジャック)

イヤホン、ヘッドセットなどを接続すると、インターカム音声を聞くことができます。

② DC OUT (DC 電源出力) 端子 (4 ピン)

別売のワイヤレスレシーバーなどに電源を供給します。(最大 0.5 A)

③ CRANE (クレーン) 端子 (12 ピン)

ビューファインダーや外部データなどの外部インターフェース用です。

④ USB 端子 (USB メモリー接続用)

USBメモリーを接続して、設定データファイルを保存・呼び出すことができます。

◆ 詳しくは「USBメモリーの取り扱い」(53 ページ)をご覧ください。

⑤ TRACKER (トラッカー) 端子 (10 ピン)

インターカムやタリーなどの外部インターフェース用です。

⑥ RET CTRL (リターンコントロール) 端子 (6 ピン)

リターンビデオセレクター CAC-6を接続します。

⑦ DC IN (DC 電源入力) 端子 (XLR 型 4 ピン)

ACアダプター AC-DN10などを接続し、本機に電源を供給します。

⑧ INTERCOM1, 2 (インターカム 1, 2) 端子 (XLR 型 5 ピン)

XLR 5ピンタイプのヘッドセットを接続し、インターカムの音声信号を入出力します。

INTERCOM1端子に接続したヘッドセットでは、カメラの電源が落ちていても電源のLEDが赤く点灯している場合はエンジンアラインで通話できます。

⑨ REMOTE (リモート) 端子 (8 ピン)

リモートコントロールパネルRCP-1000/1500シリーズ、またはマスターセットアップユニットMSU-1000/1500を接続します。

【ご注意】

カメラコントロールユニットと接続して使用するときは、この端子にはリモートコントロールパネルやマスターセットアップユニットを接続しないでください。

⑩ PROMPTER/GENLOCK (プロンプター信号出力/外部同期信号入力) 端子 (BNC 型)

カメラコントロールユニット接続時にはPROMPTER機能が、また非接続時にはGENLOCK IN機能とRET IN機能が有効になります。

GENLOCK IN：スタンドアロン時は、カメラを同期させる外部同期用信号 (VBS または 3 値シンク) を入力します。

RET IN：スタンドアロン時は、リターン信号を入力します。

アナログの HD 信号のみ受け付けます。SDI 信号は入力できません。1080i の信号を入力してください。720P は入力できません。

ここから入力した信号を TEST OUT 端子や SDI OUT 端子から RET OUT として出力することはできません。

RET (リターン) の選択にかかわらず、ビューファインダーに表示されます。このときに表示される RET3 信号には、CHARACTER は重畳されません。

PROMPTER：プロンプター 1 信号を出力します (カメラコントロールユニット接続時のみ有効)。プロンプター入力を 2 つ持つカメラコントロールユニットを接続した場合は、1 側が出力されます。

⑪ TEST OUT (テスト出力) 端子 (BNC 型)

アナログ信号を出力します。

メニューの選択で、VBS信号、VF端子とほぼ同じHD信号、HD-SYNC信号、SD-SYNC信号を出力することができます。

◆ 信号の設定方法については、「カメラ出力の設定」(22 ページ) をご覧ください。

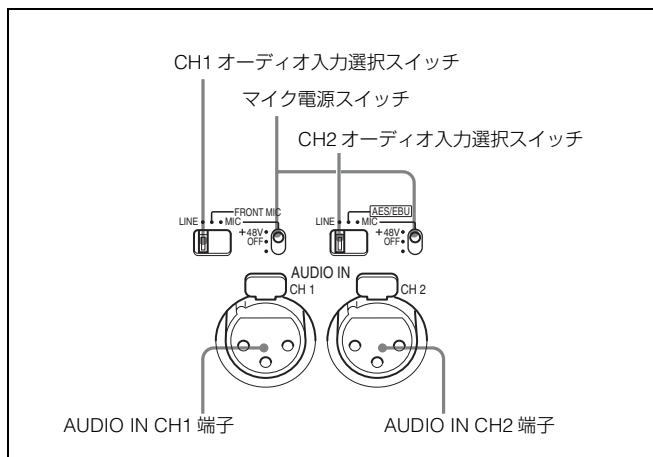
⑫ SDI-MONI (シリアルデジタルインターフェース) 端子 (BNC 型)

HD SDIまたはSD SDI信号を出力します。

◆ 信号の設定方法については、「カメラ出力の設定」(22 ページ) をご覧ください。

⑬ AUDIO IN (オーディオ入力) CH1, CH2 端子 (XLR 型 3 ピン) / スイッチ

オーディオ信号を入力します。チャンネル1, 2それぞれに対して入力選択スイッチ、マイク電源スイッチが用意されています。



CH1（チャンネル1）オーディオ入力選択スイッチ

AUDIO IN CH1端子に接続する機器に合わせて設定します。

LINE：ラインレベル（0 dBu）の信号を接続するとき

FRONT MIC：MIC 1 IN 端子に接続したマイクを使用するとき

MIC：マイクを接続するとき

CH2（チャンネル2）オーディオ入力選択スイッチ

AUDIO IN CH2端子に接続する機器に合わせて設定します。

LINE：ラインレベル（0 dBu）の信号を接続するとき

AES/EBU：デジタル オーディオ信号を接続するとき（カメラ出力と同期させる必要があります。）

MIC：マイクを接続するとき

マイク電源スイッチ

対応するAUDIO IN端子にマイクを接続したとき、マイクに電源を供給するかどうかを設定します。

+48V：+48V の電源をマイクに供給する。

OFF：電源をマイクに供給しない。

（一番下の位置は機能しません。この位置にしてもマイクに電源は供給されません。）

ご注意

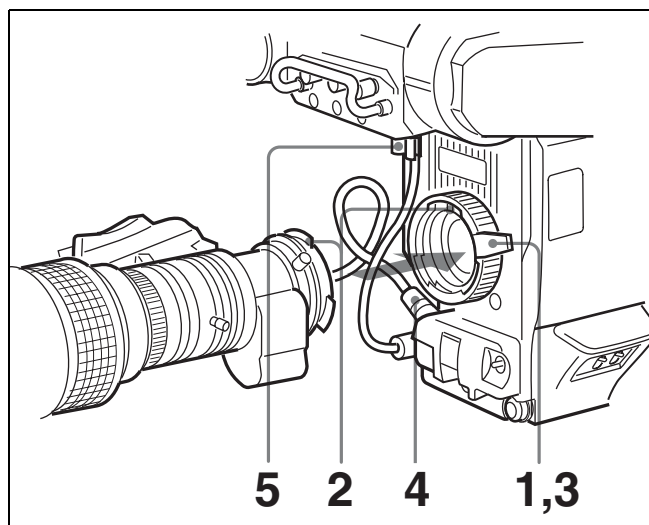
+12V電源を供給する場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

準備

レンズの取り付け

◆ レンズの取り扱いについては、レンズに付属の取扱説明書をご覧ください。

取り付け手順



- 1 レンズ固定レバーを押し上げて、レンズマウントからレンズマウントキャップをはずす。
- 2 レンズマウント上部中央の凹部にレンズの位置決めピンを合わせ、レンズをマウントに差し込む。
- 3 レンズを支えながら、レンズ固定レバーを押し下げてレンズを固定する。
- 4 レンズケーブルをLENS端子に接続する。
- 5 レンズケーブルをケーブルクランプに押し込む。

フランジバックの調整

次のような場合、フランジバック（レンズマウントの取り付け面から結像面までの距離）の調整が必要です。

- レンズを初めて取り付けたとき
- レンズを交換したとき
- ズーム操作の際に、望遠・広角の両方で焦点がきちんと合わないとき

フランジバックは、フォーカスアシストインジケータースを使用すると、より正確に調整できます。

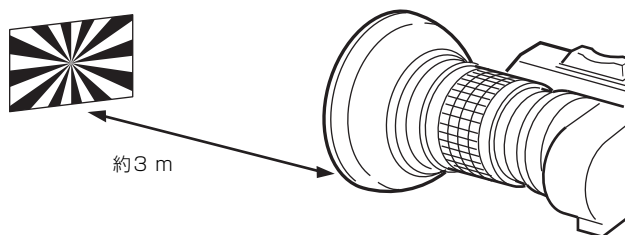
◆ フォーカスアシストインジケータースについては、「フォーカスアシストインジケータースを表示する」（21 ページ）をご覧ください。

ご注意

フランジバックの調整のために操作するレンズの各部分の位置は、レンズによって異なります。レンズに付属の取扱説明書で確認してください。

調整手順

- 1 絞りのモードを手動にして、絞りを開放にする。
- 2 フランジバック調整用チャートを本機から3 mぐらいの所に置き、適正な映像出力レベルが得られるように、照明を調整する。
- 3 Ff (Flange focal length) リング固定ネジをゆるめる。
- 4 手動または電動で、ズームリングを望遠位置にする。
- 5 フランジバック調整用チャートを写し、フォーカスリングを回して焦点を合わせる。



- 6 ズームリングを広角位置にする。
- 7 Ffリングを回し、フランジバック調整用チャートに焦点を合わせる。このとき、距離リングを動かさないように注意してください。
- 8 遠望と広角の両方で焦点が合うようになるまで、手順4～7の操作を繰り返す。
- 9 Ffリング固定ネジをしっかりと締める。

ビューファインダーの取り付け

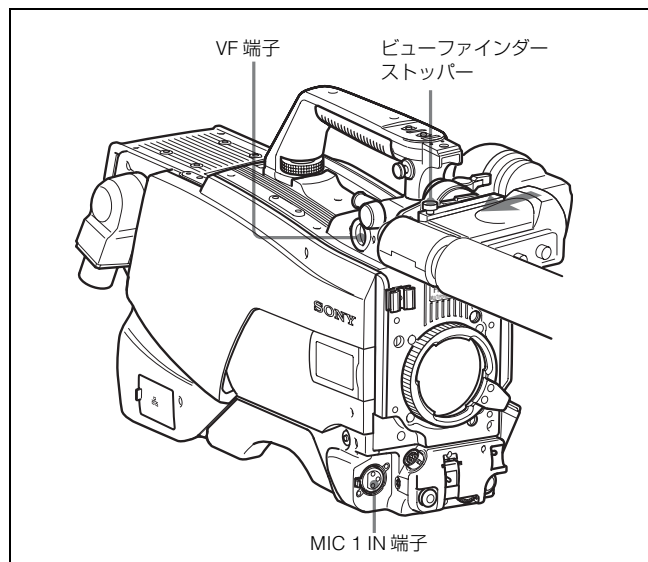
警告

ビューファインダーを取り付けたあと、接眼レンズを太陽に向けて放置しないでください。太陽光が接眼レンズを通してビューファインダー内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。

ビューファインダーを取り付ける

HDVF-20A/200/C30WR/C35Wを例にして説明します。

- ◆ ビューファインダーの取り扱いについて詳しくは、ビューファインダーの取扱説明書をご覧ください。

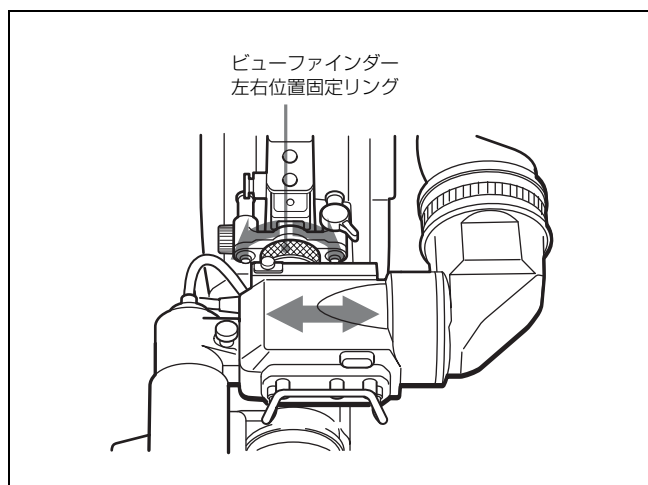


- 1 ビューファインダーを図の矢印の方向にスライドさせて取り付ける。
ビューファインダーストッパーが自動的に下がります。
- 2 ビューファインダーの左右位置を決め、左右位置固定リングを回して締める（「左右方向の調整」参照）。
- 3 ビューファインダーケーブルをカメラのVF端子に接続する。
- 4 マイクケーブルをカメラのMIC 1 IN端子に接続する。

位置を調整する

位置を左右方向および前後方向に調整して、ビューファインダー内を見やすくすることができます。

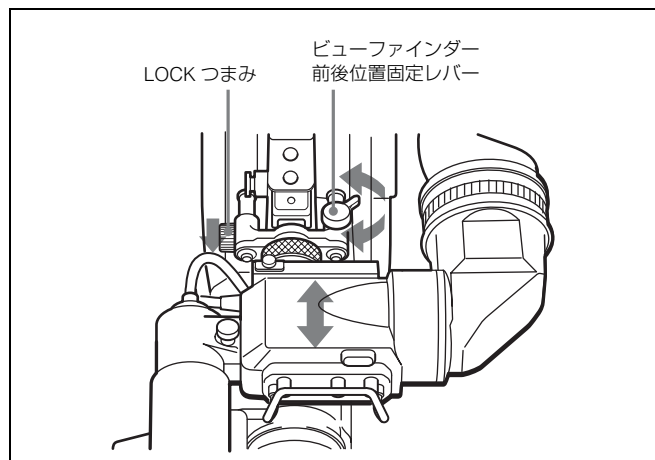
左右方向の調整



- 1 ビューファインダー左右位置固定リングをゆるめる。
- 2 ビューファインダーを左右にスライドさせ、内部が見やすい位置に調整する。

3 ビューファインダー左右位置固定リングを締める。

前後方向の調整



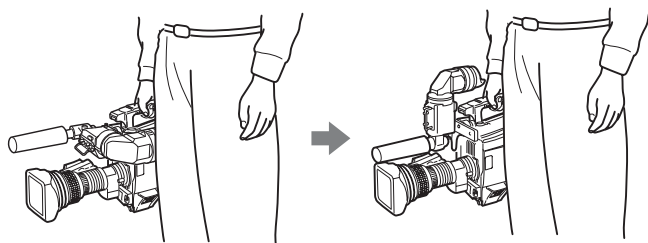
- 1 ビューファインダー前後位置固定レバーとLOCKつまみをゆるめる。
- 2 ビューファインダーを前後にスライドさせ、内部が見やすい位置に調整する。
- 3 ビューファインダー前後位置固定レバーとLOCKつまみを回して、ビューファインダーを固定する。

ビューファインダーを取りはずす

ビューファインダー左右位置固定リングをゆるめ、ビューファインダーストッパーを上げて、ビューファインダーを取り付けたときと逆の方向にスライドさせて抜き取ります。

ビューファインダーが脚に当たらないようにする (BKW-401を使う)

本機を持ち運ぶときに、ビューファインダーが脚に当たらないようにするには、ビューファインダー回転機構BKW-401（別売）を取り付けて、ビューファインダーを上部に回転させておきます。

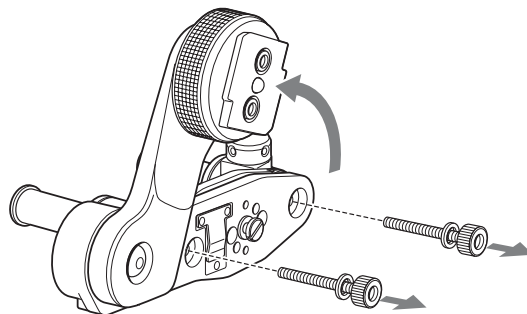


ご注意

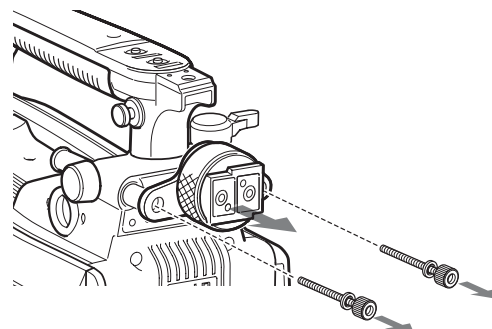
ビューファインダーを上部に回転させる前に、ビューファインダーを少し前に引き出した位置で固定してください。ビューファインダーの前後方向の位置が最後部になっていると、ビューファインダー回転機構のアームが本機のハンドルに当たります。

BKW-401の取り付け手順

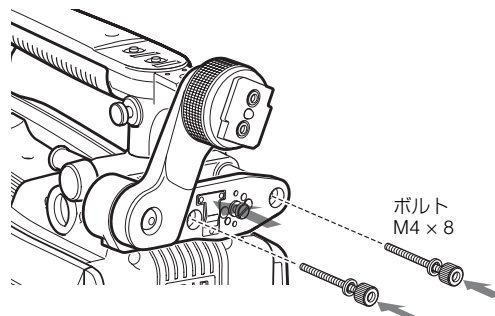
- 1 BKW-401のローテーション機構部のアームを下図の矢印の方向に回転させる。
次に、対辺3ミリの六角レンチを使用して、ボルトM4×8とワッシャーをはずし、ローテーション機構部とビューファインダー前後位置調整機構部を分離する。



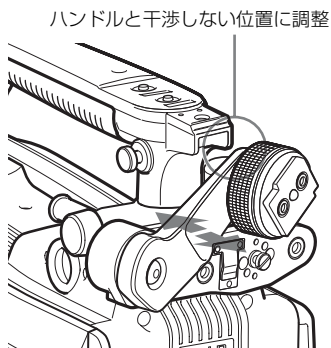
- 2 手順1と同様にして、カメラのビューファインダーシューを前後位置調整機構部から取りはずす。



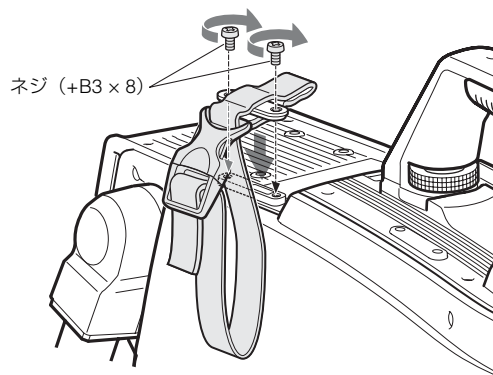
- 3 手順2でカメラからはずした2本のボルト M4×8 とワッシャーを使用して、BKW-401のローテーション機構部をカメラに取り付ける。



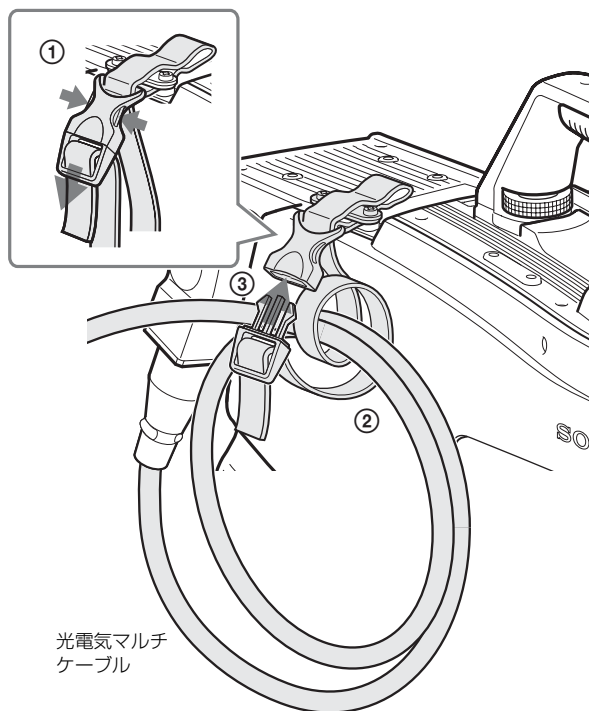
- 4** BKW-401のアームを跳ね上げたとき、カメラのハンドルと干渉しないように前後位置を調整する。



- 3** 付属の+B3 × 8ネジ2本でベルトをカメラに取り付ける



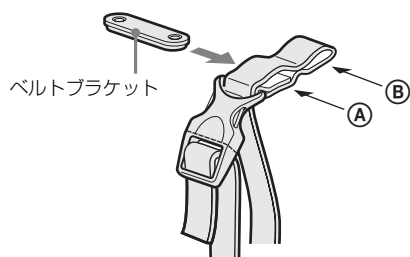
- 4** ①バックルをはずして、②ケーブルにベルトを巻いて束ね、③バックルを元どおりロックする。



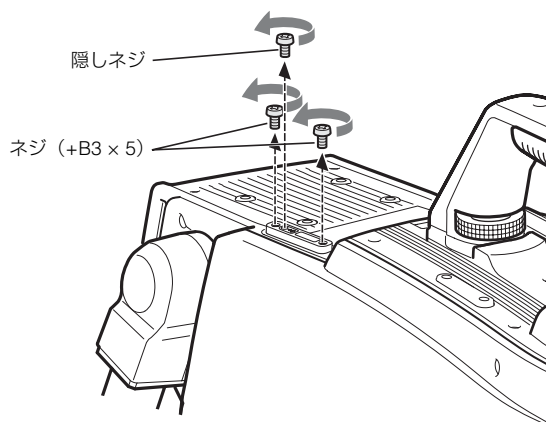
ケーブルクランプベルト（付属）の取り付け

付属のケーブルクランプベルトを取り付けると、CCU端子に接続した光電気マルチケーブルをカメラ側面に固定することができます。

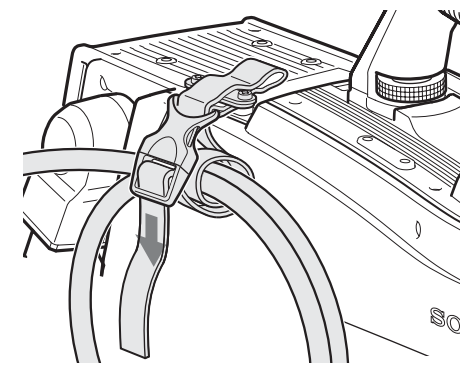
- 1** 付属のケーブルクランプベルトの上端の穴①または②に、ベルトブラケットを通す。



- 2** 下図の+B3 × 5ネジ2本と隠しネジ1本をカメラから取りはずす。



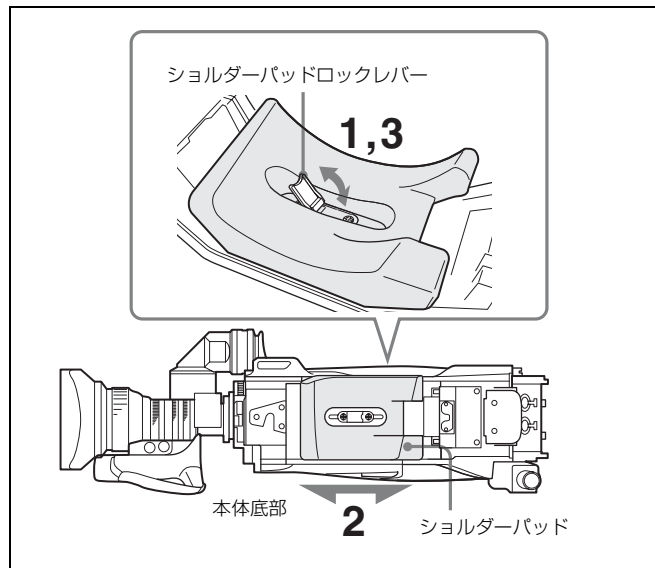
- 5** ベルトの下端を引いて長さを調整する。



ショルダーパッドの位置調整

ショルダーパッドは、中央位置（出荷時の位置）から前方に25 mm、後方に10 mmの範囲でスライドさせることができます。本機を肩にのせた状態で操作しやすくなるように、ショルダーパッドの位置を調整してください。

調整手順



- 1 ショルダーパッドの中央のレバーを引き上げてロックをはずす。
- 2 前後方向にスライドさせて、適当な位置を選ぶ。
- 3 レバーを倒して固定する。

三脚への取り付け

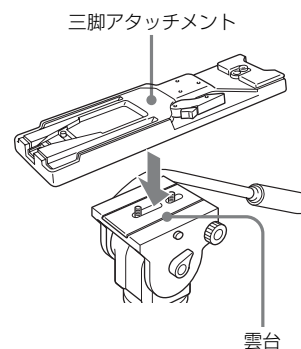
三脚アタッチメントVCT-14を使って、次の手順でカメラを三脚に取り付けます。

ご注意

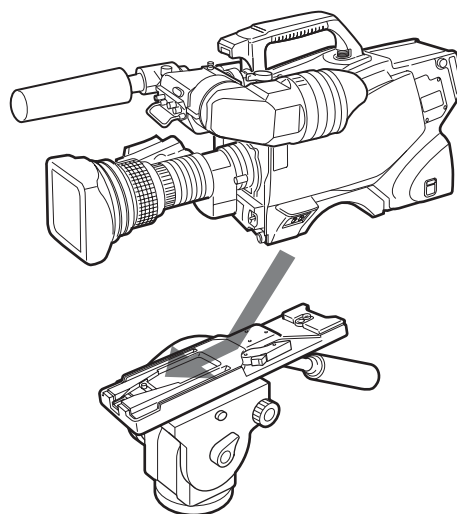
- カメラと三脚アタッチメントの重心を考慮して、三脚アタッチメント底面の穴から適切な穴を選択してください。選択した穴が適切でないと、カメラを取り付けたときに重心が偏り、カメラが落下したり転倒したりして、けがの原因となることがあります。
- 取り付けに選択した穴の径が、雲台のネジの径と合うことを確認してください。ネジの径と合わないとは三脚アタッチメントが確実に固定されず、カメラが落下したり転倒したりして、けがの原因となることがあります。

取り付け手順

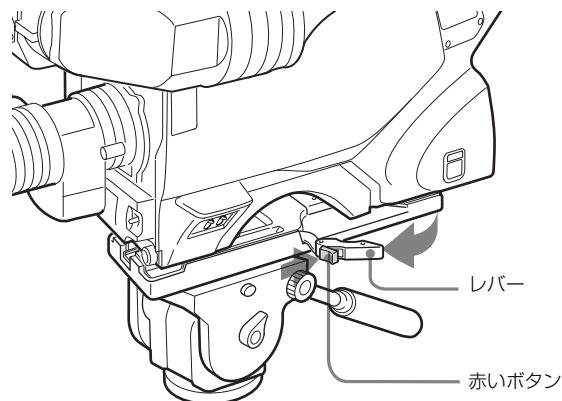
- 1 三脚アタッチメントを三脚に取り付け、ネジで固定する。



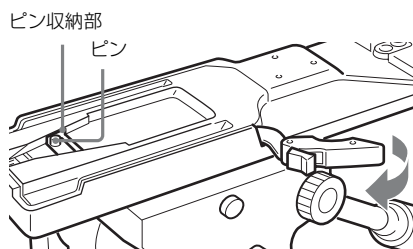
- 2 カメラを三脚アタッチメントにのせ、三脚アタッチメントの溝に沿ってカチッと音がするまで前へスライドさせて取り付ける。



三脚アタッチメントからカメラを取りはずすには赤いボタンを押しながら、レバーを矢印の方向へ動かします。



三脚アタッチメントのピンが元の位置に戻らないときはカメラを取りはずしたあと、三脚アタッチメントのピンが元の位置（ピン収納部）に戻らないときは、もう1度、赤いボタンを押しながらレバーを矢印の方へ動かして、ピンを元の位置に戻します。ピンが中央に残ったままだと、カメラの取り付けができません。



撮影のための調整と設定

ブラックバランス / ホワイトバランスの調整

常に高画質の映像を得るためには、状況に応じたブラックバランスとホワイトバランスの調整が必要です。

ご注意

カメラコントロールユニット接続時や、RCP、MSUなどのリモートコントロール機器を接続したときは、RCPまたはMSUからのコントロールになり、カメラ本体のスイッチは動作しません。

ブラックバランスの調整

次のような場合に調整が必要です。

- 本機を初めて使用するとき
- 長時間使用しなかった後に使用するとき
- 周囲の温度が大幅に変化した状況で使用する時
- 設定メニューでゲイン切り換え値を変更したとき

通常は、電源を再び入れた場合でも調整直す必要はありません。

ホワイトバランスの調整

照明条件が変わったときには、必ず調整し直してください。

ビューファインダー画面の表示について

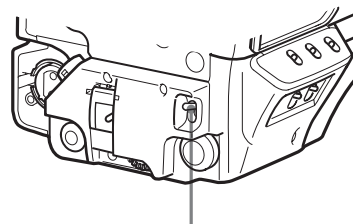
ブラックバランスとホワイトバランスの調整を始めると、ビューファインダー画面に、調整経過や結果を知らせるメッセージが表示されます。

ご注意

本機で自動調整される調整値や各設定値は、本機のメモリーに記憶され、電源を切っても保持されています。

ブラックバランスを調整する

AUTO W/B BALスイッチをBLK側（下）に押します。



AUTO W/B BAL スイッチ

ブラックバランスの自動調整が始まります。

ブラックバランスの自動調整では、ブラックセット、ブラックバランスの両方が調整されます。

調整中は、ビューファインダー画面上に図のようなメッセージが表示されます。

ABB:EXECUTING

調整が終了すると、メッセージ「ABB:OK」が表示されます。
調整値は自動的にメモリーに記憶されます。

ご注意

- ブラックバランス調整中、絞りは自動的に遮光状態になります。
- ブラックバランス調整中、ゲイン切り換え回路が自動的に切り換わり、また、ビューファインダー画面上にフリッカーが数回現れますが、故障ではありません。

ブラックバランスの自動調整ができないときは

ブラックバランスの調整が正常に終了しなかったときは、ビューファインダー画面に約3秒間エラーメッセージ「ABB:NG」が表示されます。

エラーメッセージが表示されたら、再度ブラックバランスの調整を試みてください。

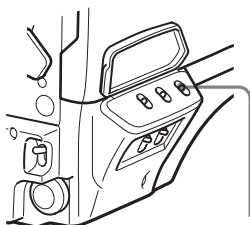
繰り返し調整を試みてもエラーメッセージが表示されるときは、内部点検をする必要があります。

ブラックバランスのメモリーについて

メモリーに記憶された値は、本機の電源を切った状態でも保存されます。

ホワイトバランスを調整する

1 WHITE BALスイッチをAまたはBに設定する。



WHITE BAL スイッチ

2 照明条件に合わせて、フィルターを切り換える。

• HDC2600/2500の場合

NDフィルターを切り換えるには

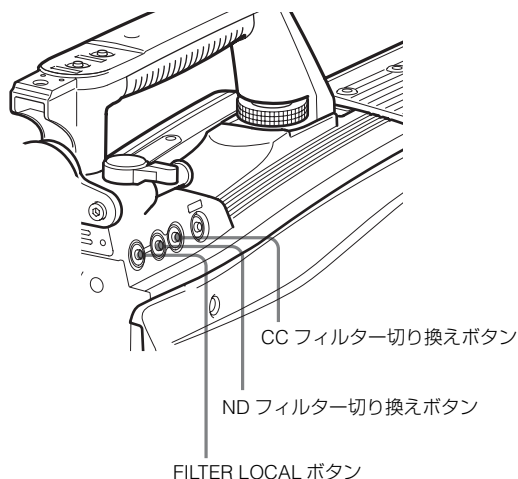
FILTER LOCALボタンを押しながら、NDフィルター切り換えボタンを押します。

切り換えボタンを押すたびにNDフィルター（素通し、1/4ND、1/8ND、1/16ND、1/64ND）が順次切り換わります。

CC（色温度変換）フィルターを切り換えるには

FILTER LOCALボタンを押しながら、CCフィルター切り換えボタンを押します。

切り換えボタンを押すたびにCCフィルター（クロスフィルター、3200K、4300K、6300K、8000K）が順次切り換わります。



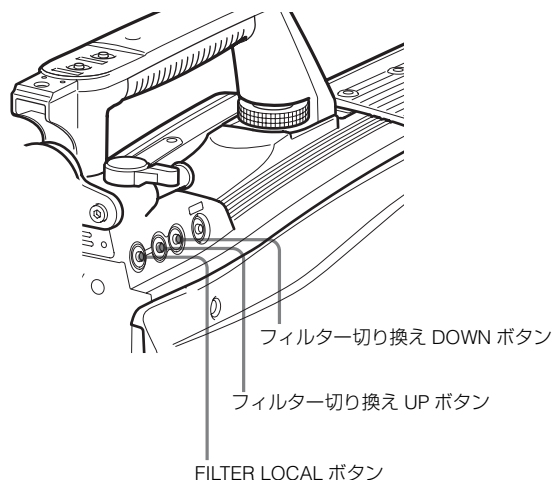
FILTER LOCAL ボタン

ND フィルター		色温度変換フィルター	
1	素通し	A	クロスフィルター
2	1/4 ND	B	3200K（素通し）
3	1/8 ND	C	4300K
4	1/16 ND	D	6300K
5	1/64 ND	E	8000K

• HDC2400の場合

FILTER LOCALボタンを押しながら、フィルター切り換えUPまたはDOWNボタンを押します。

切り換えボタンを押すたびに内蔵フィルターが順次切り換わります。

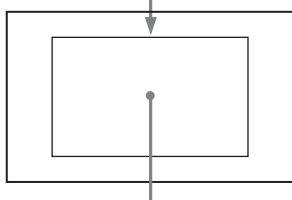


FILTER LOCAL ボタン

ND フィルター	
1	素通し
2	1/4 ND
3	1/16 ND
4	1/64 ND
5	クロスフィルター

- 3** 被写体の照明光源と同じ条件のところに下記のようなホワイトパターンを置き、ズームアップして画面に白を映す。被写体の近くの白いもの（白布、白壁）で代用することもできます。

画面センターを中心とする長方形。
各辺の長さは、画面の高さ、または幅の 70%。



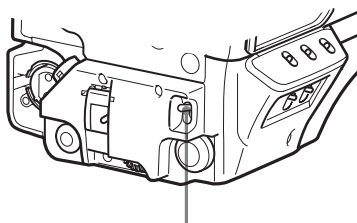
この長方形内に、画面面積の 10% 以上の面積の白が必要。

ご注意

長方形内に高輝度スポットを入れないようにしてください。

- 4** レンズの絞りを調整する。
手動調整レンズの場合：絞りを適正值に合わせる。
自動絞り調整機能付きレンズの場合：レンズ側の絞り自動 / 手動切り換えスイッチを自動に設定する。

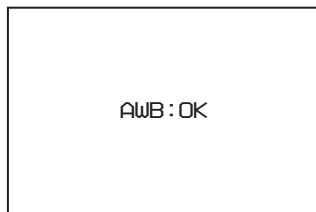
- 5** AUTO W/B BALスイッチをWHT側（上）に押す。



AUTO W/B BAL スイッチ

ホワイトバランスの自動調整が始まります。

調整中、ビューファインダー画面にメッセージ「AWB : EXECUTING」が表示されます。
図のようなメッセージが表示され、調整が完了します。調整値は、手順1で選択したメモリー（AまたはB）に自動的に記憶されます。



ご注意

自動絞り機能付きズームレンズを使用した場合、絞りがハンチング¹⁾を起こすことがあります。レンズに付いている絞りのゲインつまみ（IG、IS、Sなどと表示されている）を調整してください。

1) ハンチング：オートアイリスの応答を繰り返し、映像が暗くなったり明るくなったりすること。

◆ 詳しくは、レンズの取扱説明書をご覧ください。

ホワイトバランスの自動調整ができないとき

ホワイトバランスの調整が正常に終了しなかったときは、ビューファインダー画面に約3秒間エラーメッセージ「AWB : NG」が表示されます。

エラーメッセージが表示されたら、再度ホワイトバランスの調整を試みてください。

繰り返し調整を試みてもエラーメッセージが表示されるときは、内部点検をする必要があります。

ホワイトバランスを調整する時間がないときは

WHITE BALスイッチをPRSTにします。フィルターの設定に従って、ホワイトバランスが自動的にとれます。

ホワイトバランスのメモリーについて

メモリーに記憶された値は、本機の電源を切っても保存されます。

ホワイトバランスのメモリーは、A、Bの2系統があり、AUTO W/B BALスイッチをWHT側に押すと、そのときのフィルターの設定に応じてホワイトバランスが自動調整されます。調整値は選択されたメモリーに記憶されます。各メモリーに、5個ずつ合計10個の調整値を記憶できます。

電子シャッターの設定

ここでは、本機の電子シャッターで利用できるシャッターモードについて説明し、シャッターモードとシャッタースピードの設定手順を示します。

ご注意

カメラコントロールユニットや、RCP、MSUなどのリモートコントロール機器を接続したときは、RCPまたはMSUからのコントロールになり、カメラ本体のスイッチは動作しません。

シャッターモードについて

本機の電子シャッターで利用できるシャッターモードと、選択できるシャッタースピードは次のとおりです。

設定できるシャッターモードとシャッタースピード

シャッターモード	シャッタースピード*	用途
標準	1/100、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/2000 (秒)	動きの早い被写体を鮮明に撮影したい場合
ECS（拡張クリアスキャン）	60.00 ～ 4300 Hz の範囲で連続可変	モニター画面を、水平方向の縞模様が出ないように撮影したい場合

* 表の数値は、HDC2500/2400 の 59.94i 時のものです。HDC2600 や他のフォーマットでは設定できる値が異なります。

ご注意

人工照明、特に蛍光灯や水銀灯などは、輝度が一定のように見えても、電源周波数に同期して、R、G、B各色の強さが変化しています（これをフリッカーと言います）。このような照明下でシャッターを使用すると、フリッカーがより目立つ場合があります。

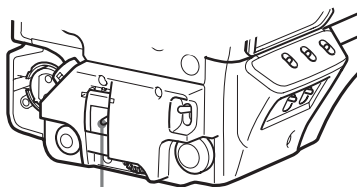
ます。特に、電源周波数が60Hzの地域では、カラーフリッカーとなります。なお、50Hzの地域では、シャッタースピードを1/100に設定すると、フリッカーを低減することができます。

シャッターモード/スピードを選択する

シャッターモードおよび標準モードでのシャッタースピードはSHUTTERスイッチを切り換えて設定します。

シャッターモードおよび標準モードでのシャッタースピードを設定するには

1 SHUTTERスイッチを、ONの位置からSEL側に押す。



SHUTTER スイッチ

ビューファインダー画面に、シャッターの現在の設定が約3秒間表示されます。

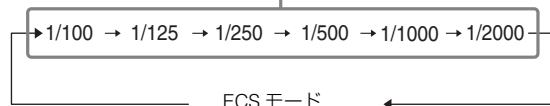
例：「SHUTTER：1/250」

2 表示が消える前に、もう1度SHUTTERスイッチをSEL側に押す。希望のモードまたはスピードが表示されるまで、この操作を繰り返す。

すべてのモードとスピードが表示される場合は、次のような順序で表示が切り換わります。

例：59.94i 時

標準モード



フォーカスアシスト機能の設定

OPERATIONメニューを使用して、フォーカスを合わせやすくなるための補助機能をビューファインダー上に表示することができます。

VFディテール信号を付加する

ビューファインダー上の画像のシャープエッジ部分にディテール信号を付加すると、ディテール信号の変化や、ディテール信号を変換した色（カラーディテール）の変化によって、フォーカスの状態を容易に判断できます。ディテール信号が最も強く表示されるようにフォーカスを合わせます。

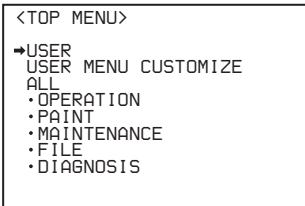
1 カメラの電源を入れる。

2 MENU SELつまみ/ENTERボタンを押しながら、DISPLAYスイッチをMENU側にする。

メニューモードになり、画面右上にTOPが表示されます。

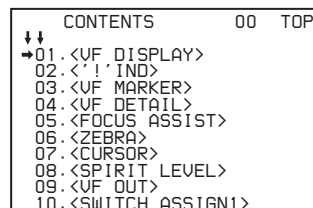
3 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して→マークをTOPに合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

TOP MENU画面が表示されます。



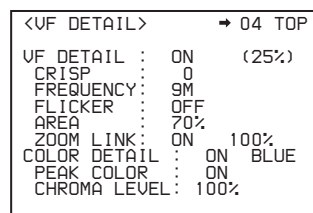
4 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して→マークをOPERATIONに合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

OPERATIONメニューのCONTENTSページが表示されます。



5 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して→マークを<VF DETAIL>に合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

<VF DETAIL>ページが表示されます。



6 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して→マークを設定したい項目に合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

VFディテール信号を使うには

VF DETAILをONにすると、映像のシャープエッジ部分にディテール信号が付加されます。レベルを0～100%の範囲で設定できます。（初期設定：25%）。

以下の項目で、ディテール信号の付きかたを調整できます。

CRISP：細かなディテール信号を消す。

FREQUENCY：シャープエッジの検出帯域を変更する。

FLICKER：ディテール信号をフリッカーさせる機能をON/OFFする（ONにするとビューファインダー画面でディテール信号を確認しやすくなる）。

AREA：ディテール信号を表示するエリアを絞る。

ZOOM LINK：WIDE 端の VF ディテール量を設定する
(ズームポジションに応じて VF ディテール量が変更される)。

カラーディテールを使うには

COLOR DETAILをONにすると、ディテール信号が色に変換されて表示されます(カラービューファインダーなどの液晶画面で確認しやすくなります)。ONの右の欄で表示色を選択できます。

以下の項目で色の付きかたを調整できます。

PEAK COLOR：ディテール信号が最も強くなる場所で色を変化させる機能を ON/OFF する。

CHROMA LEVEL：映像信号のクロマ成分を低くする
(ビューファインダーの映像信号のみ適用)。

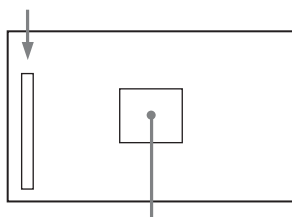
7 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して希望の設定値を表示させ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

8 設定が終わったら、DISPLAYスイッチをOFFにして、メニューモードを解除する。

フォーカスアシストインジケータを表示する

フォーカスアシストインジケータ機能を使用すると、被写体の凸凹成分を抽出して、その積算値をレベルインジケータに変換してビューファインダー画面に表示することができます。

レベルインジケータ (表示場所や動作を調整可)



フォーカスの検出範囲を表すエリアマーカー
(サイズや位置を調整可)

インジケータが最大に振れるフォーカスポジションが、ジャストポイントになります。(絵柄や撮影状況によって、インジケータの振れ幅は大きく変化します。GAIN、OFFSETを使って適宜調整してください。)

1 OPERATIONメニューのCONTENTSページを表示する (「VF ディテール信号を付加する」の手順1~4参照)。

2 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して、➡マークを<FOCUS ASSIST>に合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

<FOCUS ASSIST>ページが表示されます。

<FOCUS ASSIST> ➡ 05 TOP		
INDICATOR	:	OFF
MODE	:	BOX BOTTOM
LEVEL	:	3 QUICK
GAIN	:	50
OFFSET	:	50
AREA MARKER	:	ON
SIZE	:	MIDDLE
POSITION	:	CENTER
POSITION H	:	50
POSITION V	:	50

3 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して➡マークを設定したい項目に合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

レベルインジケータを使うには

INDICATORをONにすると、フォーカスの合い具合を示すレベルインジケータがビューファインダー上に表示されます。表示方法を下記の項目で設定できます。

MODE：インジケータの種類と表示位置を設定する。

LEVEL：インジケータの濃さと反応速度を設定する。

GAIN：インジケータの感度を調整する。¹⁾

OFFSET：フォーカス検出値のオフセットを調整する。²⁾

1)通常は、AREA MARKER SIZE の設定値に連動して適正値に自動設定されます。撮影環境によって、インジケータの感度が適正にならないときに使用します。

2)通常は、AREA MARKER SIZE と MASTER GAIN の設定値に連動して適正なオフセットに自動設定されます。撮影環境によって、オフセットが適正にならないときに使用します。

エリアマーカーを使うには

AREA MARKERをONにすると、フォーカスの検出範囲を示すエリアマーカーがビューファインダー上に表示されます。検出範囲のサイズや位置を下記の項目で設定できます。

SIZE：検出範囲のサイズを変更する。(検出範囲を大きく取りすぎると、被写体と背景の両方がエリアに含まれ、インジケータの表示が被写体からずれやすくなる。)

POSITION：検出範囲の位置を大まかに設定する。

POSITION H：検出範囲の位置を横方向で微調整する。

POSITION V：検出範囲の位置を縦方向で微調整する。

4 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して希望の設定値を表示させ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

5 設定が終わったら、DISPLAYスイッチをOFFにして、メニューモードを解除する。

ご注意

- レベルインジケータとエフェクトエリアマーカーは同時に表示できません。後から ON にしたほうが優先的に表示されます。
- エリアマーカーとアスペクトセーフティマーカーは同時に表示できません。後から ON にしたほうが優先的に表示されます。
- フォーカスアシストインジケータを表示するとき、フランジバックが正確に調整されていることを確認してください。
- ◆ フランジバックについては、「フランジバックの調整」(12 ページ)をご覧ください。

カメラ出力の設定

本機から直接出力する映像信号は、メニューを使用して設定できます。

ご注意

SD SDIとVBSでは、MAIN（カメラ画像）、RET（リターン）、VF（ビューファインダーと同等の画像）の設定は共通です。別の信号は出力できません。

設定に使用するメニューページは、工場出荷時にUSERメニューに登録されています。

- <OUTPUT FORMAT>
- <TEST OUT>
- <SDI OUT>

これらのページの項目を下記の表のように設定してください。

- ◆ メニュー操作および USER メニューについて詳しくは、「メニュー操作」（25 ページ）をご覧ください。

カメラで撮影している信号を出力する

<SDI OUT>または<TEST OUT>でCHARACTERを“ON”に設定することで、それぞれビューファインダーに表示される文字と同等の文字情報を付加できます。

HD SDIで出力するには

メニューページ名	項目	設定
<SDI OUT>	SDI-MONI OUT	MAIN

SD SDIで出力するには

メニューページ名	項目	設定
<SDI OUT>	SDI-MONI OUT	SD-SDI
	DOWN CONVERTER SELECT	MAIN

VBSで出力するには

メニューページ名	項目	設定
<TEST OUT>	OUTPUT	VBS
	DOWN CONVERTER SELECT	MAIN

リターン信号を常に出力する

- カメラコントロールユニット接続時、カメラコントロールユニットに入力された信号のうちひとつを取り出して出力することができます。
- リターン選択で最後に選択した信号が出力されます。
- <SDI OUT> または <TEST OUT> で CHARACTER を “ON” に設定することで、それぞれビューファインダーに表示されるのと同等の文字情報を付加できます。

HD SDIで出力するには

メニューページ名	項目	設定
<SDI OUT>	SDI-MONI OUT	RET

SD SDIで出力するには

メニューページ名	項目	設定
<SDI OUT>	SDI-MONI OUT	SD-SDI
	DOWN CONVERTER SELECT	RET

VBSで出力するには

メニューページ名	項目	設定
<TEST OUT>	OUTPUT	VBS
	DOWN CONVERTER SELECT	RET

ビューファインダーと同等の映像を出力する

- HD SDI の場合、VF MARKER、CHARACTER、VF DETAIL、ZEBRA などの設定に応じてビューファインダーに表示される情報が付加された信号が得られます。それぞれの ON/OFF などの設定は、ビューファインダーにおける設定と同等です。ビューファインダーの Y、R、G、B や リターン信号への切り換えに同期します。
- SD SDI と VBS では、リターン信号とカメラ画像との切り換えにのみ連動します。Y、R、G、B の切り換えには対応しません。また CHARACTER 以外の情報（VF MARKER、VF DETAIL、ZEBRA など）は付加できません。

ご注意

ビューファインダーと同等の映像を出力する設定では、フォーマットが720Pに設定されていても1080iで出力されます。

HD SDIで出力するには

メニューページ名	項目	設定
<SDI OUT>	SDI-MONI OUT	VF

SD SDIで出力するには

メニューページ名	項目	設定
<SDI OUT>	SDI-MONI OUT	SD-SDI
	DOWN CONVERTER SELECT	VF

VBSで出力するには

メニューページ名	項目	設定
<TEST OUT>	OUTPUT	VBS
	DOWN CONVERTER SELECT	VF

3G-SDIで出力する

SDI-1出力が3G-SDI出力となります。

1080/59.94P あるいは 1080/50Pを出力するには

メニューページ名	項目	設定
<OUTPUT FORMAT>	ACTIVE LINE	1080
	(フォーマット)	59.94P または 50P
<SDI OUT>	SDI-1 OUT	3G-SDI

Dual Linkで出力する

SDI-1出力が Link A、SDI-2出力が Link Bとなります。

1080/59.94P あるいは 1080/50Pを出力するには

メニューページ名	項目	設定
<OUTPUT FORMAT>	ACTIVE LINE	1080
	(フォーマット)	59.94P または 50P
<SDI OUT>	SDI-1 OUT	MAIN/LINK-A
	SDI-2 OUT/IN	MAIN/LINK-B

ご注意

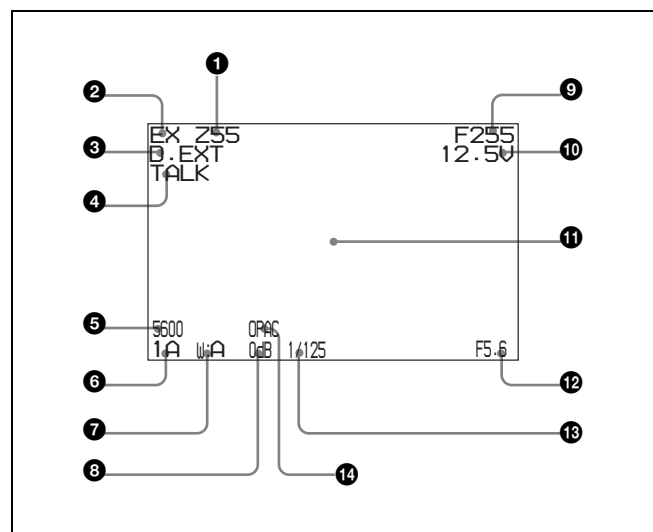
プログレッシブ対応ソフトウェアH2C-PRV20の組み込みが必要な場合があります。

ビューファインダー画面上の状態表示

ビューファインダー画面には、映像の他に本機の設定や動作の状態を示す文字やメッセージ、センターマーカ、セーフティゾーンマーカなどが表示されます。

DISPLAYスイッチがONに設定されているとき

画面の上端、下端には、メニューや関連するスイッチでONに設定された項目が表示されます。



① ズームポジション

ズームレンズのバリエーターが、広角端 (0) と望遠端 (99) の間のおおよその位置にあるかを数値で表示します。

② レンズエクステンダー

レンズエクステンダーの使用中にEXを表示します。

③ デジタルエクステンダー

デジタルエクステンダーの使用中にD.EXTを表示します。

④ TALK 表示

インターカムのマイクがONのとき、表示されます。

⑤ 5600K モード

5600KがONのとき、表示されます。

⑥ フィルター

現在選択されているフィルターの種類を表示します。数字 (1～5) はNDフィルター、アルファベット (A、B、C、D、E) はCCフィルター (HDC2600/2500) の選択を示します。

⑦ ホワイトバランスメモリー

現在選択されているホワイトバランスの自動調整メモリーを示します。

W:A : WHITE BAL スイッチを A に設定したとき

W:B : WHITE BAL スイッチを B に設定したとき

W:P : WHITE BAL スイッチを PRST に設定したとき

⑧ ゲイン値

GAINスイッチによる映像アンプのゲイン設定値（dB）を示します。

⑨ フォーカスポジション

ズームレンズのフォーカスポジションを数値で表示します（0～255（∞））。

【ご注意】

シリアル通信レンズ接続時のみ表示します。

⑩ バッテリー電圧

バッテリー電圧を表示します。

⑪ 設定変更 / 調整経過メッセージ表示部

メニューのMESSAGEの設定がOFF以外のときのみ有効です。

⑫ F 値

レンズのF値（絞り値）を表示します。

⑬ シャッター / ECS

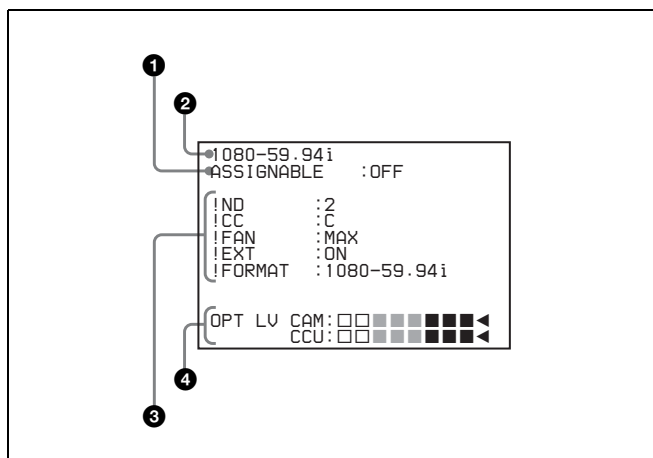
シャッター / ECSの状態を表示します。ただし、シャッターがOFFの場合、表示されません。

⑭ 光軸補正（OPAC）モード（HDC2500/2400）

光軸補正がONのとき、表示されます。

CANCEL/STATUSスイッチをSTATUS側にしたとき

CANCEL/STATUSスイッチをSTATUS側にすると、下記のような状態表示に切り換わります。



① アサインブルスイッチ機能表示

アサインブルスイッチ（8ページ）に割り当てられている機能を表示します。

- ◆ 割り当てられる機能については、OPERATIONメニュー<SWITCH ASSIGN1> 10（U09）（38ページ）をご覧ください。

② フォーマット表示

現在のビデオフォーマットを表示します。

③ '!' 表示領域

<'!' IND>機能を使用して標準以外の状況などを表示させる領域です。表示の条件はメニューで変更できます（!CC表示はHDC2600/2500のみ）。

- ◆ 詳しくは OPERATIONメニュー<'!' IND> 02（U05）（36ページ）をご覧ください。

④ 受光レベル表示

受光レベルをセグメントで表示します。

CAM: カメラのCCU端子（9ページ）における受光レベル

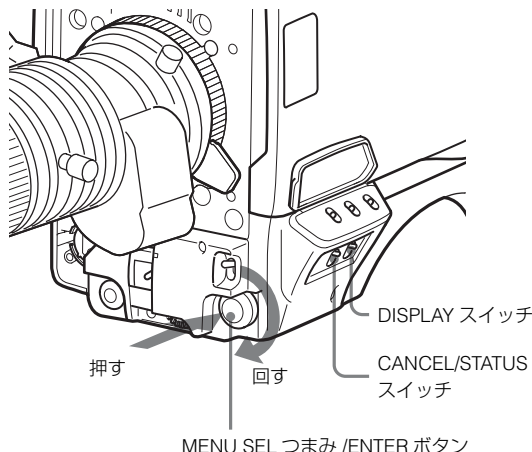
CCU: CCUのCAMERA端子における受光レベル

【ご注意】

HDCU2000/2500以外のカメラコントロールユニットを接続したときは正しく表示されないことがあります。

メニュー操作

本機では、ビューファインダー画面に表示されるメニューを使用して各種の設定が可能です。
メニュー操作には、下記のスイッチ類を使用します。



メニュー操作の開始

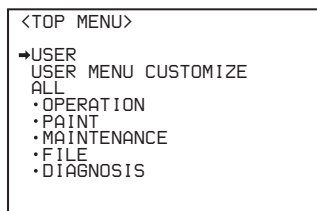
メニューの設定ページを表示させるには

DISPLAYスイッチをOFF からMENUに切り換えます。
前回操作したメニューのページが表示されます。(初めて操作するときはOPERATIONメニューのCONTENTSページが表示されます。)

TOP MENU画面を表示させるには

MENU SELつまみ/ENTERボタンを押しながらDISPLAYスイッチをOFF からMENUに切り換えると、画面右上にTOPが表示されます。これを選択すると、メニューの全体構成を示すTOP MENU画面が表示され、この画面からメニューを選択することができます。

TOP MENU 画面



TOPを表示しないようにするには

電源を再起動するか、CANCEL/STATUSスイッチをCANCEL側に押しながらDISPLAYスイッチをOFF からMENUに切り換えると、TOP 選択ができなくなります。

メニュー構成

USERメニュー

USERメニューは、ユーザーがOPERATION、PAINT、MAINTENANCE、FILE、DIAGNOSISメニューの中からよく使用するページを選択して構成するメニューです。ページの変更、追加、削除などはUSER MENU CUSTOMIZEメニューで行います。

USER MENU CUSTOMIZEメニュー

USERメニューを編集するとき使用します。

◆ 詳しくは「USER メニューの編集」(27 ページ) をご覧ください。

ALLメニュー

このメニューを選択すると、OPERATION、PAINT、MAINTENANCE、FILE、DIAGNOSISの各メニュー項目をひとつのメニューとして扱うことができます。

OPERATIONメニュー

カメラマンが本機を運用するための設定項目です。主に、ビューファインダー、インターカム、スイッチ設定などを行います。

PAINTメニュー

波形モニター等を使用してカメラの出力の波形を監視しながら、細かな画像調整をするための設定項目が含まれています。通常、各項目の設定を行うにはビデオエンジニアのサポートが必要です。

項目の設定は、外部のリモートコントロールパネルやマスターセットアップユニットなどでも行えますが、このメニュー自体は、本機を屋外で単体で使用する場合に有効です。

MAINTENANCEメニュー

変更頻度の少ないペイント項目やカメラ保守用の項目が含まれています。

FILEメニュー

リファレンスファイルなどの書き込みやクリアなど、ファイル操作を行います。

DIAGNOSISメニュー

自己診断情報を表示します。

TOP MENUからメニューを選択するには

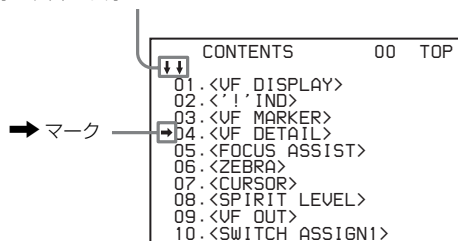
- 1 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して、→マークを設定したいメニューに移動する。**
- 2 MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。**
選択したメニューのCONTENTSページまたは前回操作したページが表示されます。

ページの選択

CONTENTSページから設定ページを選択するとき

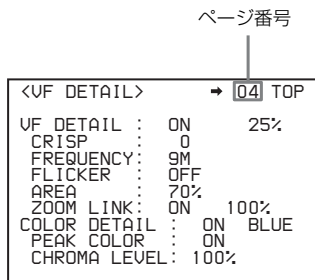
例：OPERATION メニューの CONTENTS ページ

画面スクロールが可能な場合、スクロール方向を示す矢印が表示されます。



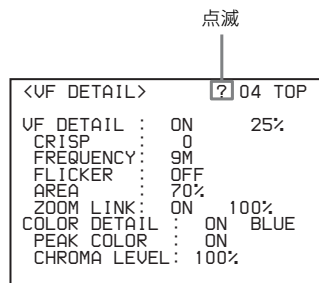
MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して→マークを設定したいページに合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

選択したページが表示されます。



設定ページを切り換えるには

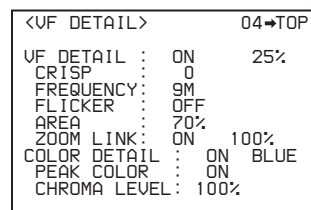
- 1 ページ番号の左に→マークが表示されていることを確認し、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。
→マークが?マークに変わり、点滅します。



- 2 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して、ページを順次切り換える。
- 3 設定したいページが表示されたら、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。
?マークが→マークに戻り、選択したページの操作が可能になります。

TOP MENUに戻るには

ページの右上に表示されているTOPに→マークを合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。



TOP MENU画面が表示されます。

メニュー項目の設定

ページ番号の左に?マークが表示されているときは、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押して→マークに切り換えます。表示されているページの設定が可能になります。

- 1 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して、→マークを設定したい項目に移動する。
- 2 MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。
→マークが?マークに変わり、点滅します。
- 3 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して、設定を変更する。
速く回すと数値が速く変化し、ゆっくり回すと微調整ができます。

変更した数値を取り消すには

MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す前にCANCEL/STATUSスイッチをCANCEL側に押すと、設定が元に戻ります。

設定を中断するには

DISPLAYスイッチをOFFにすると、メニュー表示が消えます。再びDISPLAYスイッチをMENUにすると、設定を再開することができます。

- 4 MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。
?マークが→マークに戻り、設定が確定します。
- 5 続けて同じページの設定項目を変更するには、手順1～4を繰り返す。

文字列を設定するには

ファイルIDなど、文字列を入力する項目に→マークを合わせてMENU SELつまみ/ENTERボタンを押すと、四角いカーソルと選択できる文字のリストが表示されます。カーソルは、MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して移動します。

- 1 入力位置にカーソルを移動し、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

文字リストにカーソルが表示されます。

- 2 入力したい文字にカーソルを合わせ、**MENU SEL**つまみ/**ENTER**ボタンを押す。
手順**1**と**2**を繰り返します。

文字リストの下で行でINSを選択すると、カーソル位置にスペースを入力できます。

DELを選択すると、カーソル位置の文字を削除できます。

RETを選択すると、文字を変更しないで手順**1**に戻ります。

最大許容文字数まで（右端のマークまで）入力すると、カーソルが文字リストの右下のESCに移動します。

ENDを選択してMENU SELつまみ/ENTERボタンを押すと、新しく入力した文字列が確定します。

元の状態に戻したいときは、ESCを選択してMENU SELつまみ/ENTERボタンを押してください。

設定値を標準設定に戻すには

項目を選択し、➡マークが表示されているときにMENU SELつまみ/ENTERボタンを3秒長押しすると、設定値がリファレンスファイルの状態に戻ります。

FILEメニューの<FILE CLEAR>ページの10 SEC CLEARをONにすると、さらに10秒長押しすることによって選択されている項目のリファレンスファイル値が工場出荷時の設定に戻ります。

メニュー操作を終了するには

DISPLAYスイッチをOFFにします。

USER メニューの編集

OPERATION、PAINT、MAINTENANCE、FILE、DIAGNOSISの各メニューから任意のページや項目を選択して、USERメニューに登録することができます。

使用頻度の高いページや項目をあらかじめUSERメニューに登録しておくことによって、設定を容易にすることができます。

工場出荷時には、以下のページがUSERメニューに設定されています。

メニューページ名	USER メニュー No.	ソースメニュー / ページ No.
<VF OUT>	U01	OPERATION 08
<VF DETAIL>	U02	OPERATION 04
<FOCUS ASSIST>	U03	OPERATION 05
<VF DISPLAY>	U04	OPERATION 01
<'I' IND>	U05	OPERATION 02
<VF MARKER>	U06	OPERATION 03
<CURSOR>	U07	OPERATION 07
<ZEBRA>	U08	OPERATION 06
<SWITCH ASSIGN1>	U09	OPERATION 09
<SWITCH ASSIGN2>	U10	OPERATION 10
<HEADSET MIC>	U11	OPERATION 12
<OUTPUT FORMAT>	U12	MAINTENANCE M09
<TEST OUT>	U13	MAINTENANCE M10
<SDI OUT>	U14	MAINTENANCE M11
<ROM VERSION>	U15	DIAGNOSIS D03

◆ 各ページの項目については、それぞれ「メニュー一覧」（31 ページ）のソースメニューの表を参照してください。

USERメニューは、USER MENU CUSTOMIZEメニューによってページや項目の追加、削除、順番入替えなどを行い、より使いやすく編集することができます。

項目単位で編集するには

USER MENU CUSTOMIZEメニューには、USERメニューに新しいページを追加し、任意の項目を追加する機能があります。工場出荷時、EDITページにはすでに項目が入っていますが、USER 1 EDIT～USER 19 EDITページは白紙の状態です。これらのページには、空白行も含めて最大10個の項目を登録することができます。

ページ内の項目を追加するには

以下の手順で操作します。

- 1 **CANCEL/STATUS**スイッチを**STATUS**側に押しながら**DISPLAY**スイッチを**OFF** から**MENU**に切り換える。
TOP MENU画面が表示されます。
- 2 **MENU SEL**つまみ/**ENTER**ボタンを回して、**USER MENU CUSTOMIZE**に➡マークを移動させ、**MENU SEL**つまみ/**ENTER**ボタンを押す。

USER MENU CUSTOMIZEメニューを初めて使用するとき
は、CONTENTSページが表示されます。

	CONTENTS	E00 TOP
↑↑	01.EDIT PAGE	
	02.USER 1 EDIT	
→	03.USER 2 EDIT	
	04.USER 3 EDIT	
	05.USER 4 EDIT	
	06.USER 5 EDIT	
	07.USER 6 EDIT	
	08.USER 7 EDIT	
	09.USER 8 EDIT	
	10.USER 9 EDIT	

すでにこのメニューを使用している場合は、前回操作した
ページが表示されます。

- 3 CONTENTSページが表示されている場合は、USER 1
EDIT～USER 19 EDITのいずれかに→マークを移動させ、
MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。**
他のページが表示されている場合は、MENU SELつまみ/
ENTERボタンを回して希望のページまで画面をスクロール
させ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

例：USER 2 EDITページを選んだ場合

	USER 2 EDIT	E03 TOP
→		

- 4 項目を追加したい箇所に→マークを合わせて（前図のよう
に項目が表示されていない場合はそのまま）、MENU SEL
つまみ/ENTERボタンを押す。**
EDIT FUNCTION画面が表示されます。

	EDIT FUNCTION	ESC
→	INSERT	
	MOVE	
	DELETE	
	BLANK	

- 5 →マークをINSERTに合わせ、MENU SELつまみ/ENTER
ボタンを押す。**
前回追加された項目のページが表示されます。

	<SW STATUS>	P01 ESC
	FLARE : → ON	
	GAMMA : ON	
	BLK GAM : OFF	
	KNEE : ON	
	WHT CLIP : ON	
	DETAIL : ON	
	LVL DEP : ON	
	SKIN DTL : OFF	
	MATRIX : OFF	

6 項目を追加する。

- MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して希望の項目がある
ページまで画面をスクロールさせ、MENU SELつまみ/
ENTERボタンを押す。
- MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して→マークを希望
の項目に合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押
す。

USER 2 EDITページに戻り、追加した項目が表示されます。

7 手順4～6を繰り返して、残りの項目を追加する。

最大10項目を登録することができます。

ページ内の項目を削除するには

以下の手順で操作します。

- 1 削除したい項目に→マークを合わせ、MENU SELつまみ/
ENTERボタンを押す。**
EDIT FUNCTION画面が表示されます。

- 2 DELETEを選択し、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押
す。**
画面表示が戻り、右上に「DELETE OK ? YES→NO」とい
うメッセージが表示されます。

- 3 削除を実行する場合は、MENU SELつまみ/ENTERボタン
を回して→マークをYESに移動してから、MENU SELつま
み/ENTERボタンを押す。**

ページ内の項目の順番を入れ替えるには

以下の手順で操作します。

- 1 移動したい項目に→マークを合わせ、MENU SELつまみ/
ENTERボタンを押す。**
EDIT FUNCTION画面が表示されます。

- 2 MOVEを選択し、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。**
画面表示が戻ります。

- 3 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して移動先に→マー
クを合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。**

	ITEM MOVE	ESC
↑↑	VF OUT : COLOR	
→	VF DETAIL : OFF	
	MARKER : ON	
	CURSOR : OFF	
	ZEBRA SW : OFF	
●	ASSIGNABLE : OFF	1

手順1で選んだ項目が、手順3で選んだ項目の上に移動しま
す。

上の例では、一番上にASSIGNABLEが入り、他の項目が1
つずつ下に移動します。

空白行を入れるには
以下の手順で操作します。

- 1 空白を入れる項目に→マークを合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

EDIT FUNCTION画面が表示されます。

- 2 BLANKを選択し、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

画面表示が戻り、指定した項目の上に空白行が挿入されます。

ご注意

すでに10個の項目があるページには、空白行を入れることはできません。

ページ単位で編集するには

USER MENU CUSTOMIZEメニューのEDIT PAGEを使用して、USERメニューに新しいページや既存のページを追加したり、削除したり、入れ替えたりすることができます。

ページを追加するには

以下の手順で操作します。

- 1 TOP MENU画面からUSER MENU CUSTOMIZEを選択する。

USER MENU CUSTOMIZEメニューを初めて使用するときには、CONTENTSページが表示されます。

すでにこのメニューを使用している場合は、前回操作したページが表示されます。

- 2 CONTENTSページが表示されている場合は、EDIT PAGEに→マークを移動させ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押してEDIT PAGEを表示させる。

他のページが表示されている場合は、MENU SELつまみ/ENTERボタンを回してEDIT PAGEまで画面をスクロールさせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

```
EDIT PAGE    E01 TOP
↓↑
01.<VF OUT>
→02.<VF DETAIL>
03.<FOCUS ASSIST>
04.<VF DISPLAY>
05.<'I' IND>
06.<VF MARKER>
07.<CURSOR>
08.<SPIRIT LEVEL>
09.<ZEBRA>
10.<SWITCH ASSIGN1>
```

- 3 ページを追加したい箇所に→マークを合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

EDIT FUNCTION画面が表示されます。

```
EDIT FUNCTION    ESC
→INSERT
MOVE
DELETE
```

- 4 INSERTを選択し、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

選択画面が表示されます。

```
CONTENTS      ESC
↓↑
→01.USER 1
02.USER 2
03.USER 3
04.USER 4
05.USER 5
06.USER 6
07.USER 7
08.USER 8
09.USER 9
10.USER 10
```

- 5 →マークを希望のページに合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

手順3で選択した項目の上に新しい項目が追加されます。

ページ追加の操作を中止するには

上記の手順5でMENU SELつまみ/ENTERボタンを押す前に、→マークを画面右上のESCに合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押します。

EDIT PAGEに戻ります。

ページを削除するには

以下の手順で操作します。

- 1 USER MENU CUSTOMIZEメニューのEDIT PAGEを開き、削除したい項目に→マークを合わせてMENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

EDIT FUNCTION画面が表示されます。

- 2 DELETEを選択し、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

画面表示が戻り、右上に「DELETE OK ? YES→NO」というメッセージが表示されます。

```
ITEM DELETE      ESC
DELETE OK? YES→NO
01.<VF OUT>
02.<VF DETAIL>
03.<FOCUS ASSIST>
●04.<VF DISPLAY>
05.<'I' IND>
06.<VF MARKER>
07.<CURSOR>
08.<SPIRIT LEVEL>
09.<ZEBRA>
10.<SWITCH ASSIGN1>
```

- 3 削除を実行する場合は、MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して→マークをYESに移動してから、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

ページの順番を入れ替えるには

以下の手順で操作します。

- 1 USER MENU CUSTOMIZEメニューのEDIT PAGE画面を開き、MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して移動したいページに→マークを合わせてMENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。**

EDIT FUNCTION画面が表示されます。

- 2 MOVEを選択し、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。**
EDIT PAGE画面に戻ります。

- 3 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して移動先の場所に→マークを合わせる。**

	ITEM MOVE	ESC
↓↓	01.<VF OUT>	
	02.<VF DETAIL>	
	03.<FOCUS ASSIST>	
	→04.<VF DISPLAY>	
	05.<'!' IND>	
	06.<VF MARKER>	
	07.<CURSOR>	
	08.<SPIRIT LEVEL>	
	●09.<ZEBRA>	
	10.<SWITCH ASSIGN1>	

- 4 MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。**
手順1で選んだページが手順3で選んだ場所に移動します。
上の例では、04に<ZEBRA>が入り、<VF DISPLAY>以降のページが1行ずつ下に移動します。

メニュー一覧

ビューファインダーに表示されるメニューを表で示します。

- 工場出荷時に USER メニューに設定されているページの場合は、表の No. 欄に USER メニューのページ番号が () で記載されています。
- 各メニューには、それぞれの CONTENTS ページ (No. 00) も用意されています。

凡例

HDLA: ラージレンズアダプター HDLA1500 シリーズ

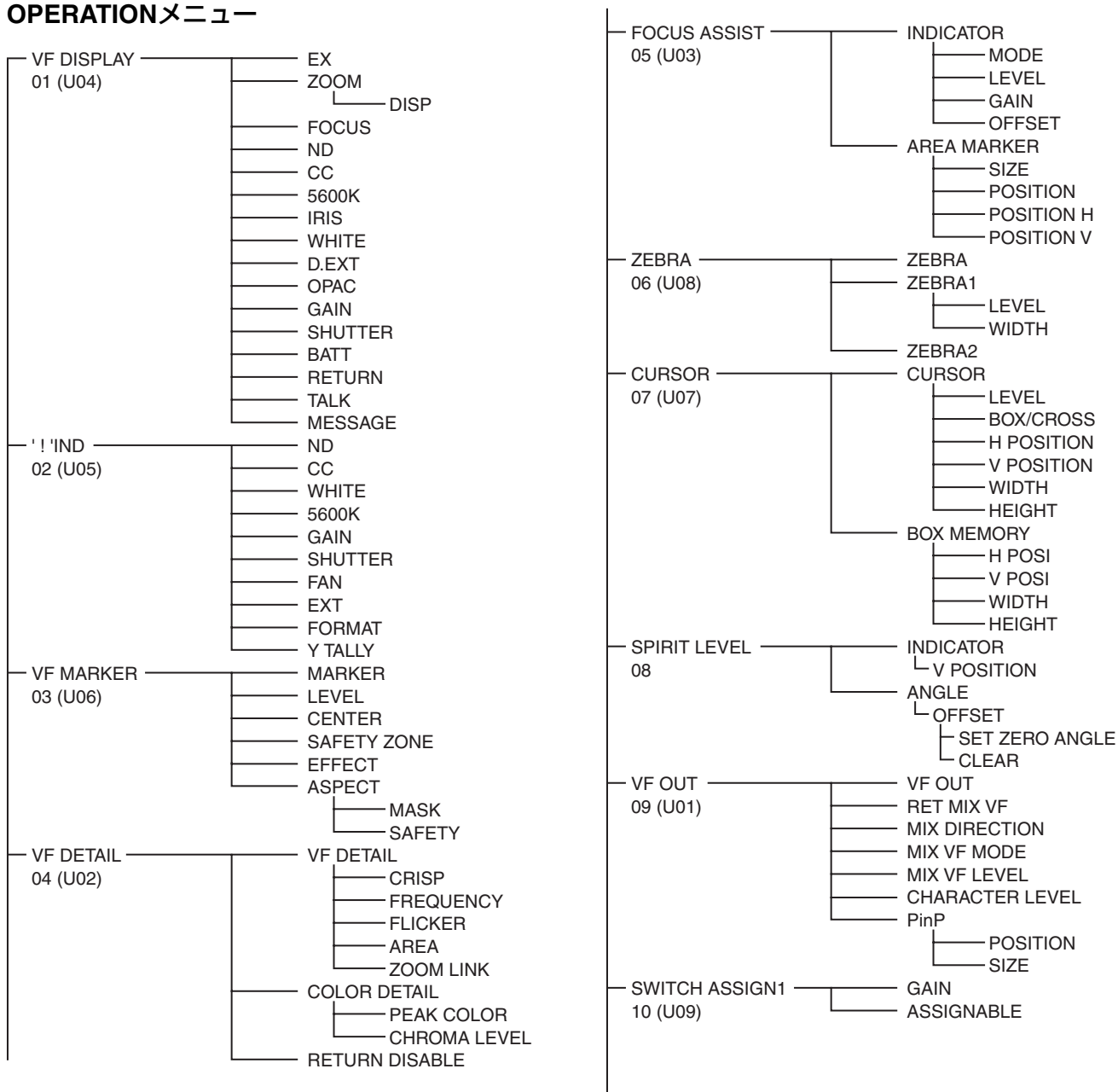
CCU: カメラコントロールユニット HDCU2000 または HDCU2500

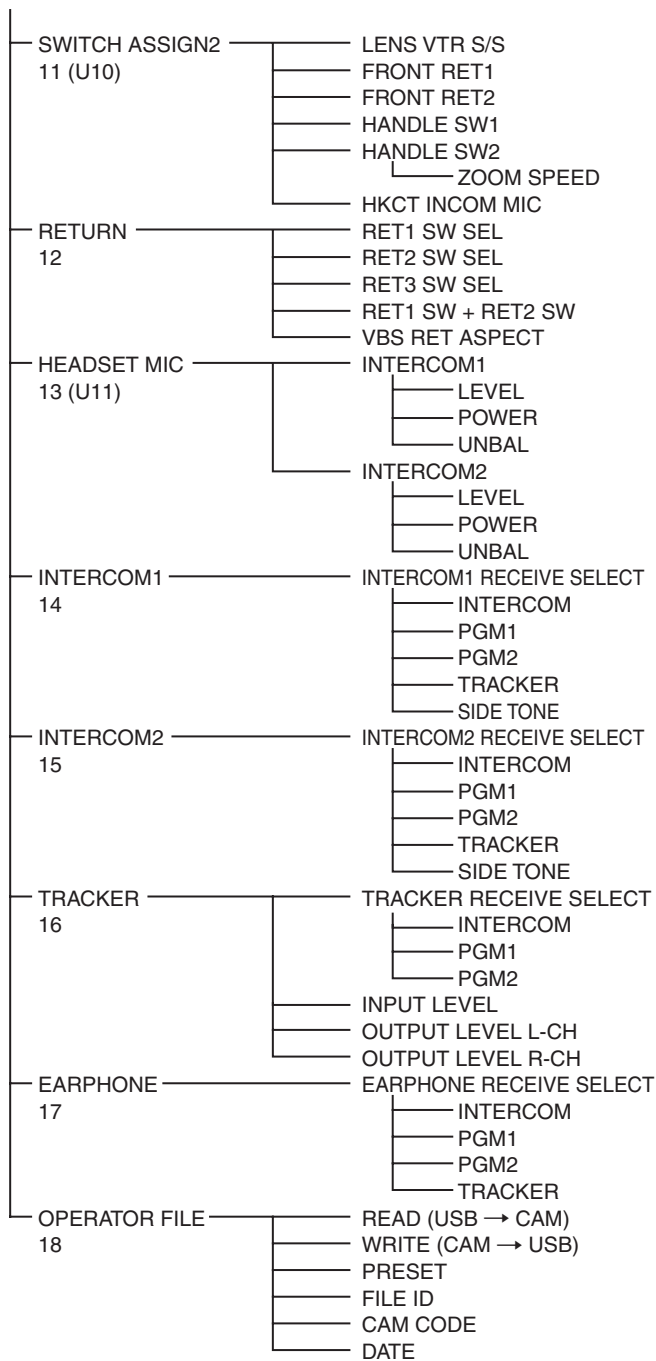
設定値欄の **ON, OFF, 0 など** : 下線部は出荷時の初期設定値です。

ENTER で実行 : MENU SEL つまみ /ENTER ボタンを押して実行する。

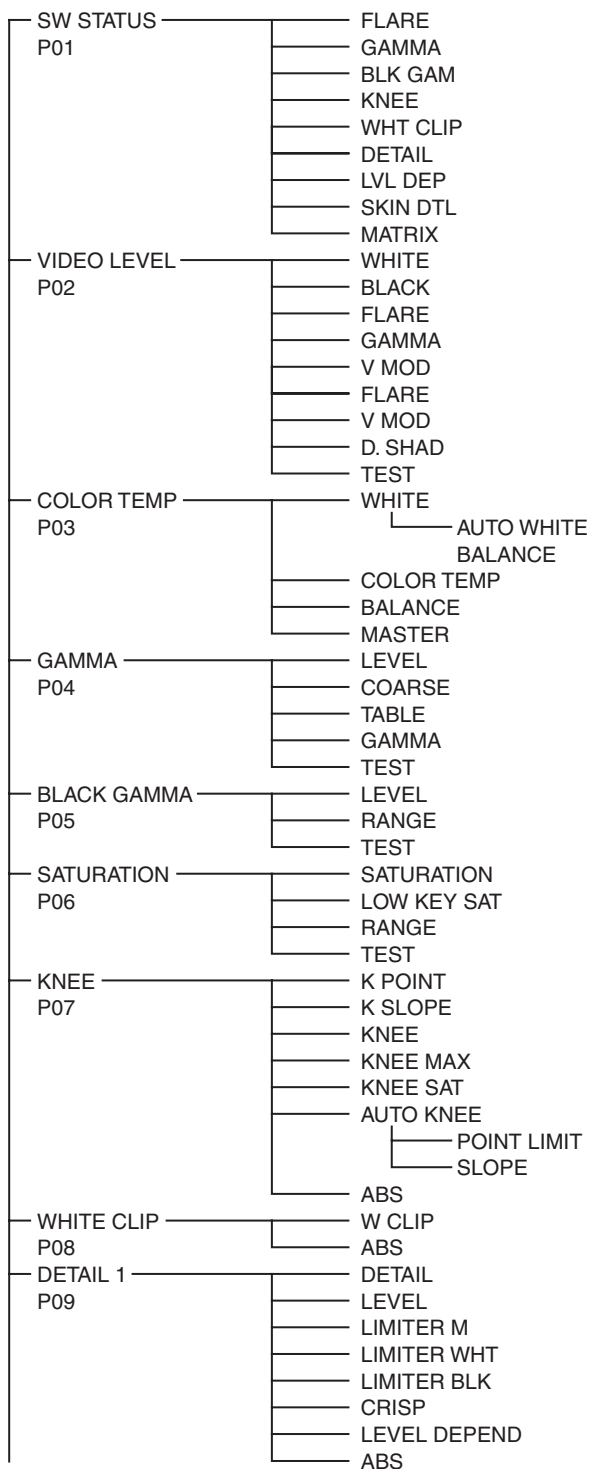
メニューツリー

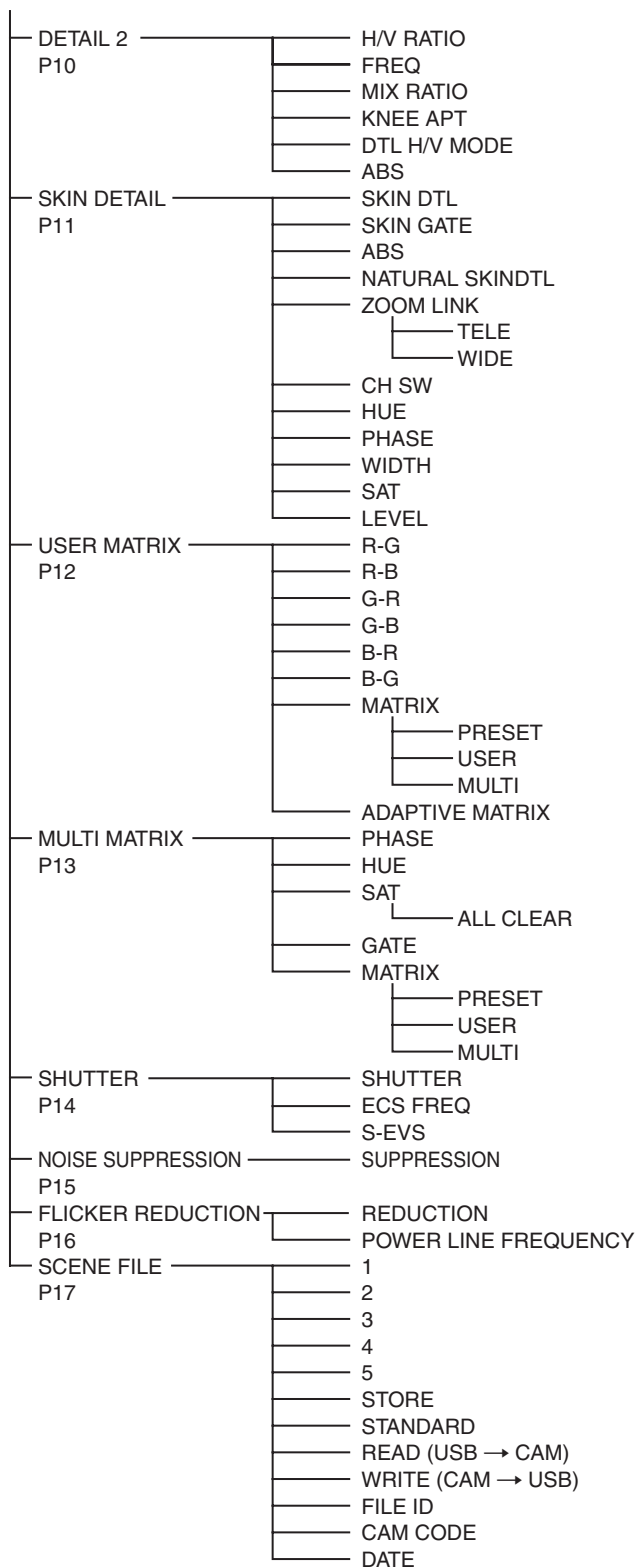
OPERATIONメニュー



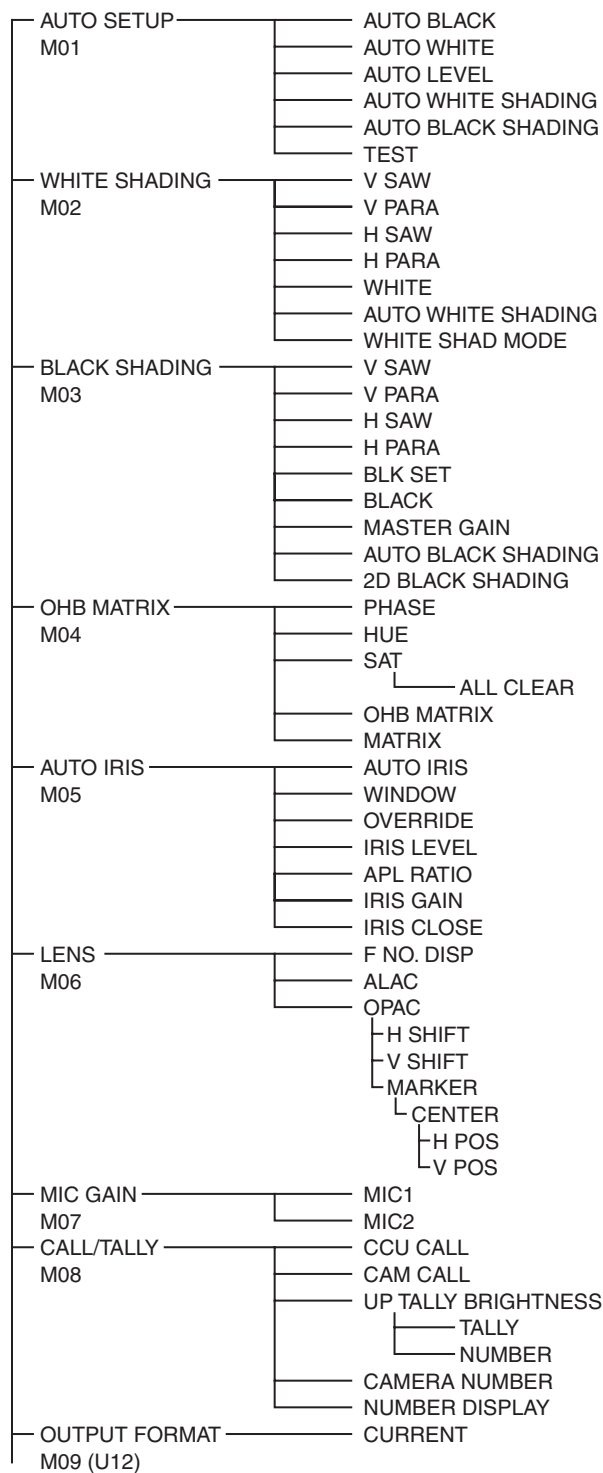


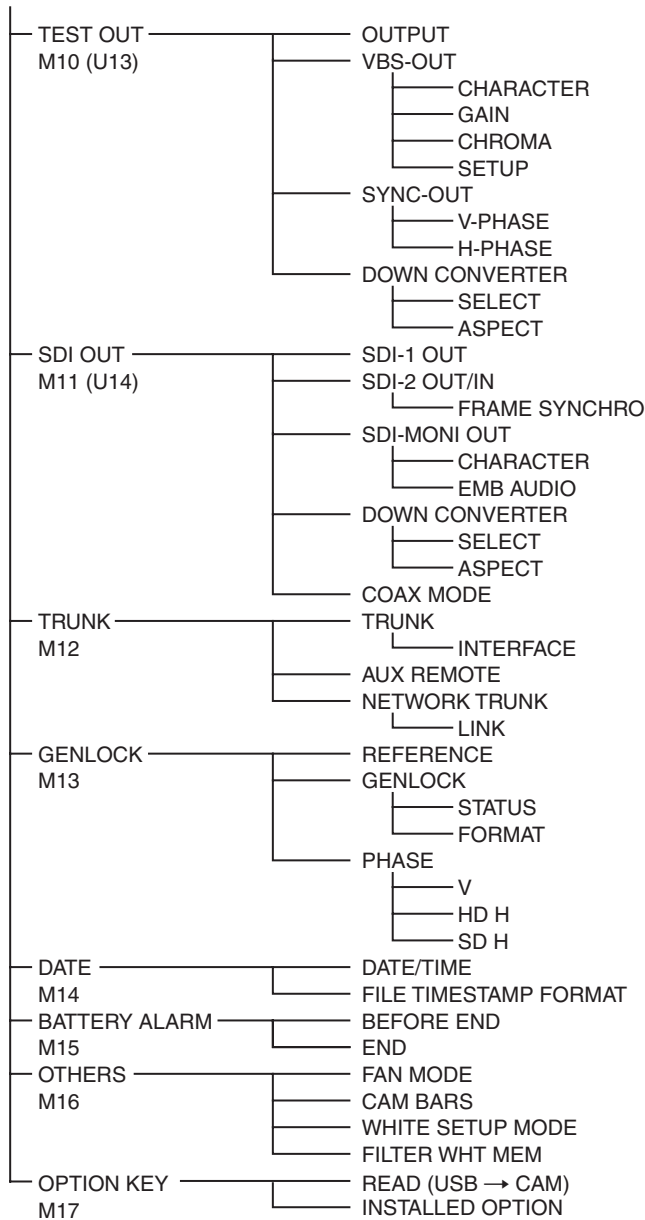
PAINTメニュー



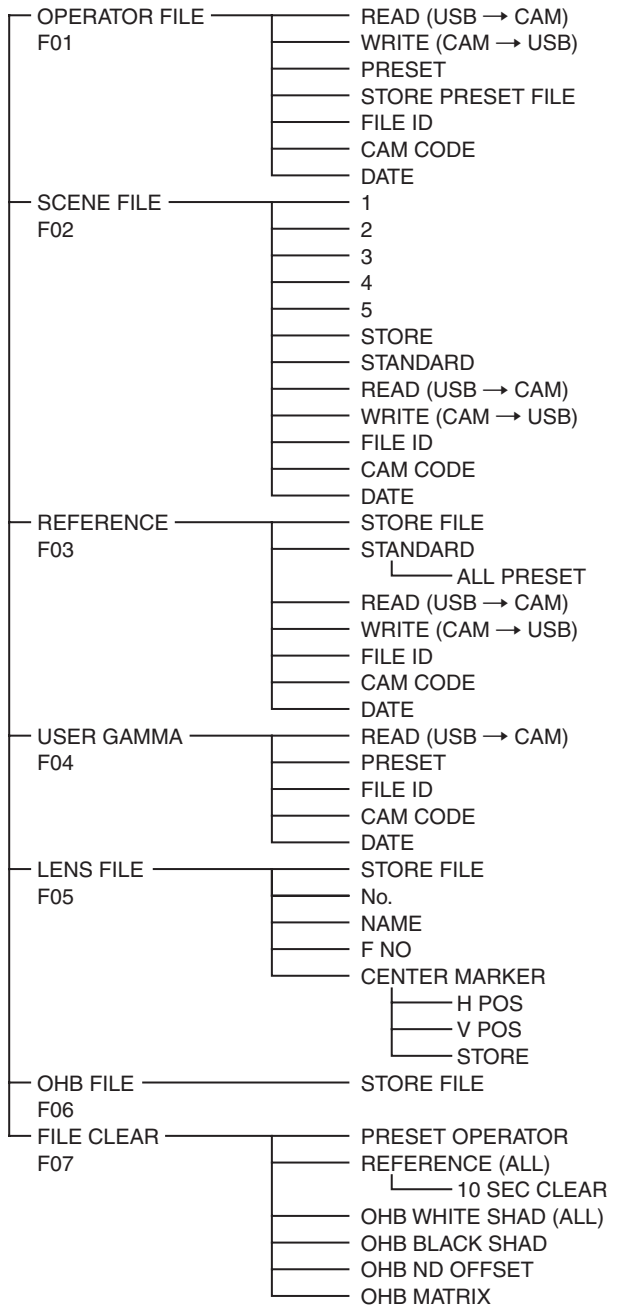


MAINTENANCEメニュー

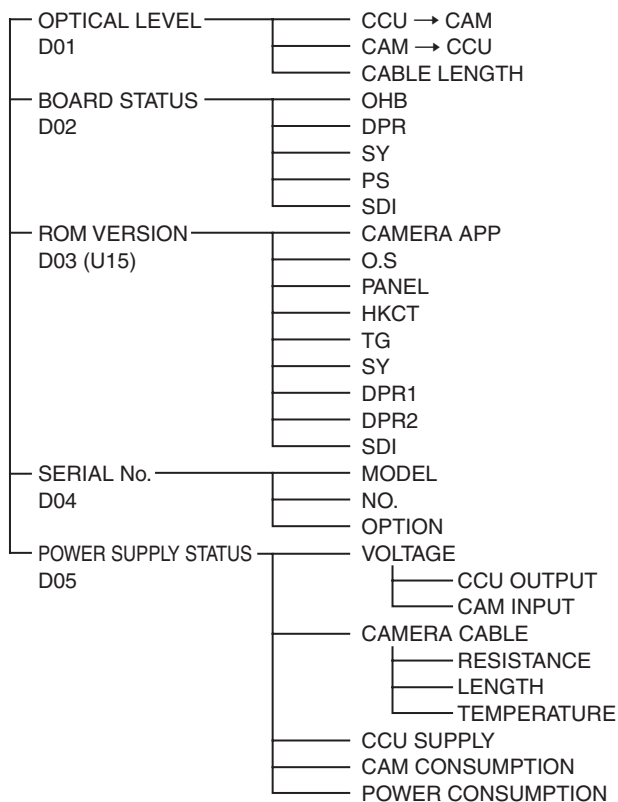




FILEメニュー



DIAGNOSISメニュー



OPERATIONメニュー

OPERATION			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<VF DISPLAY> 01 (U04)	EX	ON , OFF	
	ZOOM	ON, OFF	
	DISP	LEFT , RIGHT	
	FOCUS	ON, OFF	シリアルレンズ使用時のみ有効
	ND	ON , OFF	
	CC	ON , OFF	HDC2600/2500 のみ
	5600K	ON , OFF	
	IRIS	ON , OFF	
	WHITE	ON, OFF	
	D.EXT	ON , OFF	
	OPAC	ON , OFF	HDC2500/2400 のみ
	GAIN	ON , OFF	
	SHUTTER	ON , OFF	
	BATT	ON, OFF	
	RETURN	ON , OFF	
	TALK	ON , OFF	
	MESSAGE	ALL , WRN, AT, OFF	ALL : すべてのメッセージを表示する。 WRN : ワーニング以上のメッセージを表示する。 AT : オートセットアップ以上のメッセージを表示する。

OPERATION			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<'! 'IND> 02 (U05)	ND	ON , OFF 1 , 2, 3, 4, 5 (組み合わせ可)	[IND] : '!' 表示 (24 ページ参照) のオン / オフ [NORMAL] : [IND] が ON に設定されていても点灯しない条件 (標準となる項目を設定しておくことによって、標準以外の項目が選択されたとき '!' 表示で通知することができます。)
	CC	ON , OFF A, B , C, D, E (組み合わせ可)	
	WHITE	ON , OFF, --- P, A , B (組み合わせ可)	
	5600K	ON , OFF, --- ON, OFF	
	GAIN	ON , OFF, --- L , M, H (組み合わせ可)	例 : ND の初期設定では、1 以外の ND フィルターが選択されたとき '!' 表示されます。 --- : CCU 接続時 (変更不可)
	SHUTTER	ON , OFF, --- ON, OFF	ご注意 CC は HDC2600/2500 のみ
	FAN	ON , OFF AUTO1 , AUTO2, MIN, MAX	
	EXT	ON , OFF	
	FORMAT	ON , OFF HDC2600: 1080-59.94i , 1080-29.97PsF, 1080-50i, 1080-25PsF, 1080-24PsF, 1080-23.98PsF HDC2500: 1080-59.94i , 1080-29.97PsF, 1080-50i, 1080-25PsF, 1080-24PsF, 1080-23.98PsF, 1080-59.94P, 1080-50P, 720-59.94P, 720-50P, 1080-59.94i (2x), 1080-50i (2x), 720-59.94P (2x), 720-50P (2x) HDC2400: 1080-59.94i , 720-59.94P, 1080-50i, 720-50P	
	Y TALLY	ON , OFF	
<VF MARKER> 03 (U06)	MARKER	ON , OFF WHITE , BLACK, DOT	すべてのマーカの表示の ON/OFF を設定します。
	LEVEL	0 ~ 100, 70	
	CENTER	ON, OFF 1 , 2, 3, 4	1 : 全クロス 2 : 全クロス穴あき 3 : 中心 4 : 中心穴あき
	SAFETY ZONE	ON, OFF 80.0, 90.0 , 92.5, 95.0%	
	EFFECT	ON, OFF (FOCUS)	
	ASPECT	ON, OFF 16:9, 15:9, 14:9, 13:9, 4:3 , (4.3)	
	MASK	ON, OFF , (ON) 0 ~ 15, 12	(4.3) : HDLA 装着時に HDLA 側で VF SCAN が 4:3 に設定されているとき (変更不可) (ON) : HDLA 装着時に HDLA 側で VF SCAN が 4:3 に設定されているとき (変更不可) アスペクト外の落とし込みレベル
	SAFETY	ON, OFF (AREA) 80.0, 90.0 , 92.5, 95.0%	
			(AREA) : <FOCUS ASSIST> の AREA MARKER が ON のとき表示

OPERATION			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<VF DETAIL> 04 (U02)	VF DETAIL	<u>ON</u> , OFF, (ON), (OFF) 0 ~ 100%, (0 ~ 100%), 25%	() 表示 : HDLA 装着時 (変更不可)
	CRISP	-99 ~ +99, 0	
	FREQUENCY	9M , 14M, 18M	
	FLICKER	ON, <u>OFF</u>	
	AREA	100% , 70%, 60%, 50%, 40%	
	ZOOM LINK	<u>ON</u> , OFF 0%, 25%, 50%, 75%, 100%	
	COLOR DETAIL	ON, <u>OFF</u> BLUE , RED, YELLOW	
	PEAK COLOR	ON, <u>OFF</u>	
	CHROMA LEVEL	100%, 50%, 25% , 0%	
	RETURN DISABLE	ON, <u>OFF</u>	
	INDICATOR	ON, <u>OFF</u> , (EFFECT)	(EFFECT) : <VF MARKER> の EFFECT が ON のとき表示
	MODE	BOX , B&W, COL BTM , LEFT, TOP, RIGHT	
	LEVEL	0 ~ 100%, 70% QUICK , SMOOTH	
	GAIN	0 ~ 99, 50	
<FOCUS ASSIST> 05 (U03)	OFFSET	0 ~ 99, 50	
	AREA MARKER	ON, <u>OFF</u> , (ASPECT)	(ASPECT) : <VF MARKER> の ASPECT SAFETY が ON のとき表示
	SIZE	SMALL, MIDDLE , LARGE	
	POSITION	LEFT, CENTER , RIGHT	
	POSITION H	0 ~ 99, 50	
	POSITION V	0 ~ 99, 50	
	ZEBRA	ON, <u>OFF</u> 1 , 2, 1&2	
	ZEBRA1		
	LEVEL	50 ~ 109%, 70%	
	WIDTH	0 ~ 30%, 10%	
<ZEBRA> 06 (U08)	ZEBRA2	50 ~ 109%, 100%	
	CURSOR	ON, <u>OFF</u> WHITE , BLACK, DOT	HDLA 装着時は 表示のみ
	LEVEL	0 ~ 100%, 70%	
	BOX/CROSS	BOX , CROSS	
	H POSITION	0 ~ 99, 50	HDLA 装着時は 表示のみ
	V POSITION	0 ~ 99, 50	
	WIDTH	0 ~ 99, 50	
	HEIGHT	0 ~ 99, 50	
	BOX MEMORY	1/2/3: <u>OFF</u> , ON	
	H POSI	1/2/3: 0 ~ 99, 50	
	V POSI	1/2/3: 0 ~ 99, 50	
	WIDTH	1/2/3: 0 ~ 99, 50	
	HEIGHT	1/2/3: 0 ~ 99, 50	
<CURSOR> 07 (U07)			

OPERATION			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<SPIRIT LEVEL> 08	INDICATOR	ON, OFF	ON 時は CURSOR の BOX MEMORY が無効
	V POSITION	0 ～ 99, 97	
	ANGLE		傾きの角度（表示のみ）
	OFFSET	-99 ～ +99, 0	
	SET ZERO ANGLE	ENTER で実行	現在の傾きを水平（0°）にする
	CLEAR	ENTER で実行	OFFSET を 0 にする
<VF OUT> 09 (U01)	VF OUT	COLOR , Y, R, G, B, (COLOR), (Y), (R), (G), (B), (RET), (R+G), (R+B), (G+B)	() 表示：HDLA 装着時（変更不可）
	RET MIX VF	ON, OFF , (ON), (OFF)	() 表示：HDLA 装着時（変更不可）
	MIX DIRECTION	MAIN, RET	
	MIX VF MODE	Y-MIX , WIRE(W), WIRE(B)	
	MIX VF LEVEL	0 ～ 80%	
	CHARACTER LEVEL	0 ～ 5, 5	
	PinP	ON, OFF (OFF)	スタンドアローン時は動作しません。
	POSITION	1 , 2, 3, 4	HD TRUNK FRAME SYNCHRO が ON のときは動作しません。
	SIZE	1/3 , 1/4	
<SWITCH ASSIGN1> 10 (U09)	GAIN	L: -6, -3, 0 , 3, 6, 9, 12 dB	
		M: -6, -3, 0, 3, 6 , 9, 12 dB	
		H: -6, -3, 0, 3, 6, 9, 12 dB	
	ASSIGNABLE	OFF , RETURN1 SW, RETURN2 SW, INCOM1, INCOM2, VF DETAIL, MIX VF, 5600K, FAN MAX, D.EXTENDER, VF ASSIGN SW1, VF ASSIGN SW2, SPIRIT LEVEL INDICATOR, FOCUS ASSIST INDICATOR, PinP	HDLA 装着時：OFF, EXTENDER, 5600K, FAN MAX, D.EXTENDER, PinP ご注意 D.EXTENDER の ON/OFF 切り換え時に画面にノイズが発生しますが、故障ではありません。2 倍速フォーマット時には D.EXTENDER は動作しません。
<SWITCH ASSIGN2> 11 (U10)	LENS VTR S/S	OFF, RETURN1 SW, RETURN2 SW , INCOM1, INCOM2	レンズの VTR START/STOP スイッチへの機能割り当て
	FRONT RET1	OFF, RETURN1 SW , RETURN2 SW, INCOM1, INCOM2, D.EXTENDER	
	FRONT RET2	OFF, RETURN1 SW, RETURN2 SW , INCOM1, INCOM2, D.EXTENDER	
	HANDLE SW1	OFF, RETURN1 SW , RETURN2 SW, INCOM1, INCOM2, ZOOM(T)	
	HANDLE SW2	OFF, RETURN1 SW, RETURN2 SW, INCOM1 , INCOM2, ZOOM(W)	
	ZOOM SPEED	0 ～ 99, 20	
	HKCT INCOM MIC	OFF, INCOM1 , INCOM2,	HKC-T1500 の INTERCOM MIC スイッチへの機能割り当て

OPERATION			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<RETURN> 12	RET1 SW SEL	CCU RET1, CCU RET2,	RET1 ボタンの設定による
	RET2 SW SEL	CCU RET3, CCU RET4	RET2 ボタンの設定による
	RET3 SW SEL	CCU RET1, CCU RET2, CCU RET3 , CCU RET4	
	RET1 SW + RET2 SW	RET1 SW, RET3 SW	RET1 ボタンと RET2 ボタンを同時に押したときの動作を切り換える。 RET1 SW : RET1 ボタンとして動作する RET3 SW : RET3 ボタンとして動作する
	VBS RET ASPECT	EC , SQ	スタンドアローン VBS RET のアスペクト設定 EC : Edge Crop SQ : SQeeze
<HEADSET MIC> 13 (U11)	INTERCOM1	DYNAMIC , CARBON, MANUAL	
	LEVEL	-60 dB, -50 dB, -40 dB, -30 dB, -20 dB, (-60 dB) , (-50 dB), (-40 dB), (-30 dB), (-20 dB)	() 表示 : DYNAMIC/CARBON 時 (変更不可)
		-6, 0 , 6 dB	入力ゲイン
	POWER	ON, OFF, (ON), (OFF)	() 表示 : DYNAMIC/CARBON 時 (変更不可)
	UNBAL	ON, OFF, (ON) , (OFF)	() 表示 : CARBON 時 (変更不可)
	INTERCOM2	DYNAMIC , CARBON, MANUAL	
	LEVEL	-60 dB, -50 dB, -40 dB, -30 dB, -20 dB, (-60 dB) , (-50 dB), (-40 dB), (-30 dB), (-20 dB)	() 表示 : DYNAMIC/CARBON 時 (変更不可)
		-6, 0 , 6 dB	入力ゲイン
	POWER	ON, OFF, (ON), (OFF)	() 表示 : DYNAMIC/CARBON 時 (変更不可)
	UNBAL	ON , OFF, (ON), (OFF)	() 表示 : CARBON 時 (変更不可)
<INTERCOM1> 14	INTERCOM1 RECEIVE SELECT	SEPARATE , MIX	
	INTERCOM	---, LEFT , RIGHT, BOTH	
	PGM1	---, LEFT, RIGHT , BOTH	
	PGM2	---, LEFT, RIGHT , BOTH	
	TRACKER	---, LEFT , RIGHT, BOTH	
	SIDE TONE	MU, 1 ~ 99, 50	
<INTERCOM2> 15	INTERCOM2 RECEIVE SELECT	SEPARATE , MIX	
	INTERCOM	---, LEFT , RIGHT, BOTH	
	PGM1	---, LEFT, RIGHT , BOTH	
	PGM2	---, LEFT, RIGHT , BOTH	
	TRACKER	---, LEFT , RIGHT, BOTH	
	SIDE TONE	MU, 1 ~ 99, 50	
<TRACKER> 16	TRACKER RECEIVE SELECT	SEPARATE , MIX	
	INTERCOM	---, LEFT , RIGHT, BOTH	
	PGM1	---, LEFT, RIGHT , BOTH	
	PGM2	---, LEFT, RIGHT , BOTH	
	INPUT LEVEL	-20 dBu, 0 dBu -6 dBu, 0 dBu , 6 dBu	
	OUTPUT LEVEL L-CH	0 dBu , -6 dBu, -12 dBu, -18 dBu,	
	R-CH	-20 dBu, -24 dBu	

OPERATION			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<EARPHONE> 17	EARPHONE RECEIVE SELECT	SEPARATE , MIX	
	INTERCOM	---, LEFT , RIGHT, BOTH	
	PGM1	---, LEFT, RIGHT , BOTH	
	PGM2	---, LEFT, RIGHT , BOTH	
	TRACKER	---, LEFT , RIGHT, BOTH	
<OPERATOR FILE> 18	READ (USB → CAM)	ENTER で実行	オペレーターファイルを USB メモリーから読み込む。
	WRITE (CAM → USB)	ENTER で実行	現在のオペレーターファイル項目の設定を USB メモリーに書き込む。
	PRESET	ENTER で実行	本体のメモリーに保存されているオペレーターファイルのデータ呼び出す。
	FILE ID	最大 16 文字	USB メモリーに保存するオペレーターファイルに入れるコメントを入力 ◆「文字列を設定するには」(26 ページ) 参照
	CAM CODE	カメラコード	表示のみ
	DATE	日付	表示のみ

PAINT メニュー

PAINT			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<SW STATUS> P01	FLARE	ON , OFF	
	GAMMA	ON , OFF	
	BLK GAM	ON, OFF	
	KNEE	ON , OFF	
	WHT CLIP	ON , OFF	
	DETAIL	ON , OFF	
	LVL DEP	ON , OFF	
	SKIN DTL	ON, OFF	
	MATRIX	ON, OFF	
<VIDEO LEVEL> P02	WHITE	R/G/B: -99 ~ +99, 0	R, G, B, M(マスター) を個別に設定可能 (WHITE, FLARE は M は設定不可)
	BLACK	R/G/B/M: -99 ~ +99, 0	
	FLARE	R/G/B: -99 ~ +99, 0	
	GAMMA	R/G/B/M: -99 ~ +99, 0	
	V MOD	R/G/B/M: -99 ~ +99, 0	
	FLARE	ON , OFF	
	V MOD	ON , OFF	
	D. SHAD	ON, OFF	ダイナミックシェーディング対応レンズ使用時のみ選択可
	TEST	OFF , SAW, 10STEP	
<COLOR TEMP> P03	WHITE	R/G/B: -99 ~ +99, 0	
	AUTO WHITE BALANCE	ENTER で実行	
	COLOR TEMP	0 K ~ 65535 K, 3200 K	
	BALANCE	-99 ~ +99, 0	
	MASTER	-3.0 dB ~ +12.0 dB, 0.0 dB	

PAINT			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<GAMMA> P04	LEVEL	R/G/B/M: -99 ~ +99, 0	R, G, B, M(マスター) を個別に設定可能
	COARSE	0.35 ~ 0.90 (0.05 ステップ) , 0.45	
	TABLE	STANDARD , HYPER, USER	
		1, 2, 3, 4, 5 , 6, 7	STANDARD、または USER 選択時 (USER 選択時は、1 ~ 5 のみ 1 : カムコーダー相当 2 : ×4.5 ゲイン 3 : ×3.5 ゲイン 4 : SMPTE-240M 相当 5 : ITU-R709 相当 6 : ×5.0 ゲイン 7 : ×5.0-709
		1, 2, 3, 4	HYPER 選択時 1 : 325% to 100% 2 : 460% to 100% 3 : 325% to 109% 4 : 460% to 109%
	GAMMA	ON , OFF	
	TEST	OFF , SAW, 10 STEP	
<BLACK GAMMA> P05	LEVEL	R/G/B/M: -99 ~ +99, 0	R, G, B, M(マスター) を個別に設定可能
	RANGE	LOW, L.MID, H.MID, HIGH	
		ON, OFF	
	TEST	OFF , SAW, 10 STEP	
<SATURATION> P06	SATURATION	-99 ~ +99, 0	
		ON, OFF	
	LOW KEY SAT	-99 ~ +99, 0	
	RANGE	LOW, L.MID, H.MID, HIGH	
		ON, OFF	
	TEST	OFF , SAW, 10 STEP	
<KNEE> P07	K POINT	R/G/B/M: -99 ~ +99, 0	R, G, B, M(マスター) を個別に設定可能
	K SLOPE	R/G/B/M: -99 ~ +99, 0	ABS 時は [M] 以外は絶対値表示
	KNEE	ON , OFF	
	KNEE MAX	ON, OFF	
	KNEE SAT	-99 ~ +99, 0	
		ON, OFF	
	AUTO KNEE	OFF , AUTO	
	POINT LIMIT	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
	SLOPE	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
	ABS		反転表示 : ABS (絶対値) モード
<WHITE CLIP> P08	W CLIP	-99 ~ +99, 0	
		ON , OFF	
	ABS		反転表示 : ABS (絶対値) モード

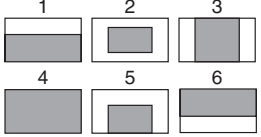
PAINT			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<DETAIL 1> P09	DETAIL	ON , OFF	
	LEVEL	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
	LIMITER M	-99 ~ +99, 0	
	LIMITER WHT	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
	LIMITER BLK	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
	CRISP	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
	LEVEL DEPEND	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
		ON , OFF	
	ABS		反転表示：ABS (絶対値) モード
<DETAIL 2> P10	H/V RATIO	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
	FREQ	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
	MIX RATIO	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
	KNEE APT	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
		ON, OFF	
	DTL H/V MODE	H/V , V only	
	ABS		反転表示：ABS (絶対値) モード
<SKIN DETAIL> P11	SKIN DTL	ON, OFF	
	SKIN GATE	OFF , 1, 2, 3, (MAT)	1, 2, 3 ：いずれか 1 チャンネルのみスキングート機能をオンにできる。 (MAT) ：<MULTI MATRIX> の GATE が ON のとき表示
	ABS		反転表示：ABS (絶対値) モード
	NATURAL SKINDTL	OFF , ON	
	ZOOM LINK	OFF , ON	
	TELE	0 ~ 99	
	WIDE	0 ~ 99	
	CH SW	1: (ON), 2/3: ON, OFF	スキントーンディテール機能をチャンネルごとに設定 (チャンネル 1 は常に ON)
	HUE	1/2/3: ENTER で実行	
	PHASE	1/2/3: 0 ~ 359	
	WIDTH	1/2/3: 0 ~ 90, 29	ABS 時は LEVEL のみ絶対値表示
	SAT	1/2/3: -99 ~ +99, -89	
	LEVEL	1/2/3: -99 ~ +99, 0	
<USER MATRIX> P12	R-G	-99 ~ +99, 0	
	R-B	-99 ~ +99, 0	
	G-R	-99 ~ +99, 0	
	G-B	-99 ~ +99, 0	
	B-R	-99 ~ +99, 0	
	B-G	-99 ~ +99, 0	
	MATRIX	ON, OFF	
	PRESET	ON , OFF	
		SMPTE-240M, ITU-709 , SMPTE-WIDE, NTSC, EBU, ITU-601	
	USER	ON, OFF	
	MULTI	ON, OFF	
	ADAPTIVE MATRIX	OFF , ON	

PAINT			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<MULTI MATRIX> P13	PHASE	<u>0</u> , 23, 45, 68, 90, 113, 135, 158, 180, 203, 225, 248, 270, 293, 315, 338	PHASE でマルチマトリックス補正機能を調整する軸（角度）を選択し HUE, SAT を設定する。（16 軸それぞれに個別に HUE, SAT を設定可能）
	HUE	-99 ～ +99, <u>0</u>	
	SAT	-99 ～ +99, <u>0</u>	
	ALL CLEAR	ENTER で実行	
	GATE	ON, OFF , (SKN)	(SKN) : <SKIN DETAIL> の SKIN GATE が ON のとき表示
	MATRIX	ON, OFF	
	PRESET	ON , OFF SMPTE-240M, ITU-709 , SMPTE-WIDE, NTSC, EBU, ITU-601	
	USER	ON, OFF	
	MULTI	ON, OFF	
<SHUTTER> P14	SHUTTER	ON, OFF , (ON), (OFF)	() 表示：リモートコントロールユニット / パネル、CCU 非接続時（変更不可）
		59.94i 時： 1/100 , 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000 50i 時： 1/60, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000 29.97PsF 時： 1/40, 1/60, 1/100, 1/120, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000 25PsF 時： 1/33, 1/50, 1/100, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000 24PsF/23.98P 時： 1/32, 1/48, 1/96, 1/100, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000 59.94P 時： 1/100, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000 50P 時： 1/60, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000	ステップシャッターの選択 ご注意 HDC2600 は、59.94i, 50i, 29.94PsF, 25PsF, 24PsF, 23.98PsF のみ HDC2400 は、59.94i, 50i, 59.94P, 50P のみ
	ECS FREQ	59.94i 時： 60.00 ～ 4300 Hz 50i 時： 50.00 ～ 4700 Hz 29.97PsF 時： 30.00 ～ 2700 Hz 25PsF 時： 25.00 ～ 2300 Hz 24PsF/23.98PsF 時： 24.00 ～ 2200 Hz 59.94P 時： 59.96 ～ 4600 Hz 50P 時： 50.03 ～ 4600 Hz	ご注意 HDC2600 は、59.94i, 50i, 29.94PsF, 25PsF, 24PsF, 23.98PsF のみ ただし、HDC2600 で 59.94i 時は、 30.00 ～ 4300 Hz HDC2400 は、59.94i, 50i, 59.94P, 50P のみ
	S-EVS	ON, OFF 0.0 ～ 100.0%	HDC2600 のみ
<NOISE SUPPRESSION> P15	SUPPRESSION	<u>0</u> ～ 100% ON, OFF	
	REDUCTION	ON, OFF	
<FLICKER REDUCTION> P16	POWER LINE FREQUENCY	50 , 60	

PAINT			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<SCENE FILE> P17	1		シーンファイル (ペイントデータ) の保存と呼び出し : カメラのメモリーにシーンファイルを保存するときは、 STORE の後にファイル番号を指定。 読み出すときは、ファイル番号指定のみ。
	2		
	3		
	4		
	5		
	STORE	ENTER で実行	
	STANDARD	ENTER で実行	標準のペイントデータを読み出す。
	READ (USB → CAM)	ENTER で実行	5 個のシーンファイルを USB メモリーから本体のメモリーに読み込む。
	WRITE (CAM → USB)	ENTER で実行	5 個のシーンファイルを本体のメモリーから USB メモリーに書き出す。
	FILE ID	最大 16 文字	USB メモリーに保存するシーンファイルに入れるコメントを入力 ◆「文字列を設定するには」(26 ページ) 参照
	CAM CODE	カメラコード	表示のみ
	DATE	日付	表示のみ

MAINTENANCE メニュー

MAINTENANCE			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<AUTO SETUP> M01	AUTO BLACK	ENTER で実行	
	AUTO WHITE	ENTER で実行	
	AUTO LEVEL	ENTER で実行	
	AUTO WHITE SHADING	ENTER で実行	
	AUTO BLACK SHADING	ENTER で実行	
	TEST	OFF, SAW, 10STEP	
<WHITE SHADING> M02	V SAW	R/G/B: -99 ~ +99, <u>0</u>	R, G, B を個別に設定可能
	V PARA	R/G/B: -99 ~ +99, <u>0</u>	
	H SAW	R/G/B: -99 ~ +99, <u>0</u>	
	H PARA	R/G/B: -99 ~ +99, <u>0</u>	
	WHITE	R/G/B: -99 ~ +99, <u>0</u>	
	AUTO WHITE SHADING	ENTER で実行	
	WHITE SHAD MODE	RGB, RB	
<BLACK SHADING> M03	V SAW	R/G/B: -99 ~ +99, <u>0</u>	R, G, B を個別に設定可能。 BLACK のみ M (マスター) 設定も可能
	V PARA	R/G/B: -99 ~ +99, <u>0</u>	
	H SAW	R/G/B: -99 ~ +99, <u>0</u>	
	H PARA	R/G/B: -99 ~ +99, <u>0</u>	
	BLK SET	R/G/B: -99 ~ +99, <u>0</u>	
	BLACK	R/G/B/M: -99 ~ +99, <u>0</u>	
	MASTER GAIN	-6, -3, <u>0</u> , 3, 6, 9, 12 dB	
	AUTO BLACK SHADING	ENTER で実行	
	2D BLACK SHADING	ON , OFF	

MAINTENANCE			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<OH B MATRIX> M04	PHASE	<u>0</u> , 23, 45, 68, 90, 113, 135, 158, 180, 203, 225, 248, 270, 293, 315, 338	PHASE で OH B マトリックス補正機能を調整する軸（角度）を選択し HUE, SAT を設定する。（16 軸それぞれに個別に HUE, SAT を設定可能）
	HUE	-99 ~ +99, <u>0</u>	
	SAT	-99 ~ +99, <u>0</u>	
	ALL CLEAR	ENTER で実行	すべての PHASE の HUE, SAT 値を 0 クリア
	OH B MATRIX	ON, OFF	
	MATRIX	ON, OFF	
<AUTO IRIS> M05	AUTO IRIS	ON, OFF , (ON), (OFF)	() 表示：リモートコントロールユニット / パネル、CCU 非接続時（変更不可）
	WINDOW	<u>1</u> , 2, 3, 4, 5, 6	オートアイリス検出ウィンドウを選択 
	OVERVERRIDE	-99 ~ 99, <u>---</u>	それぞれの図の網かけ部で光を検出する。 オートアイリスレベルの明るさの基準を一時的に ± 2 絞りの範囲で変更。 -99：2 絞り閉じ気味 99：2 絞り開け気味 ---：OFF 時 電源を切ると設定値は --- に戻る。
	IRIS LEVEL	-99 ~ +99, <u>0</u>	± 4 絞り
	APL RATIO	-99 ~ +99, <u>65</u>	
	IRIS GAIN	-99 ~ +99, <u>0</u>	
	IRIS CLOSE	ON, OFF	
	F NO. DISP	CONTROL , RETURN	AUTO IRIS OFF のときのパネルの IRIS 表示の切り換え CONTROL ：カメラからの値を表示 RETURN ：レンズからの戻り値を表示 (AUTO IRIS ON のときは、常にレンズからの戻り値を表示)
	ALAC	AUTO , OFF	AUTO 時は右側に状態が表示される。 (ACTIVE)：補正中 (WAIT)：レンズの初期化完了待ち (STOP)：非対応レンズのため補正 OFF
	OPAC	ON, OFF	光軸補正（OPAC）機能の ON/OFF（HDC2500/2400 のみ）
<LENS> M06	H SHIFT	-5, -4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4, 5	H 方向の移動量
	V SHIFT	-3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3	V 方向の移動量
	MARKER	ON , OFF	VF MARKER 全体の ON/OFF（OPERATION メニュー <VF MARKER> の MARKER と同機能）
	CENTER	ON, OFF	センターマーカースの ON/OFF
	H POS	-48 ~ +48, <u>0</u>	表示のみ（FILE メニュー <LENS FILE> の H POS の設定値が表示される。）
	V POS	-27 ~ +27, <u>0</u>	表示のみ（FILE メニュー <LENS FILE> の V POS の設定値が表示される。）
<MIC GAIN> M07	MIC1	20, 30, 40, 50, <u>60</u> dB	スタンドアローン時のみ有効
	MIC2	20, 30, 40, 50, <u>60</u> dB	

MAINTENANCE			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<CALL/TALLY> M08	CCU CALL	OFF, ON , ---	--- : CCU 非接続時 (変更不可)
	CAM CALL	OFF , ON, ---	
	UP TALLY BRIGHTNESS		
	TALLY	0 ~ 100, 50	
	NUMBER	0 ~ 100, 50	
	CAMERA NUMBER	---, 1 ~ 96	
	NUMBER DISPLAY	ON, OFF, AUTO	AUTO : HDLA 装着時は UP TALLY スイッチの設定に連動
<OUTPUT FORMAT> (HDC2600) M09 (U12)	CURRENT	1080 : 24PsF, 59.94i, 29.97PsF, 23.98PsF, 50i, 25PsF	現在のフォーマットを表示
<OUTPUT FORMAT> (HDC2500) M09 (U12)	CURRENT	1080 : 24PsF, 59.94i, 29.97PsF, 23.98PsF, 59.94P, 50i, 25PsF, 50P, 59.94i × 2, 50i × 2 720 : 59.94P, 50P, 59.94P × 2, 50P × 2	現在のフォーマットを表示
<OUTPUT FORMAT> (HDC2400) M09 (U12)	CURRENT	1080 : 59.94i, 50i 720 : 59.94P, 50P	現在のフォーマットを表示
<TEST OUT> M10 (U13)	OUTPUT	SD-SYNC, HD-SYNC, VF , VBS	
	VBS-OUT		OUTPUT が VBS のとき表示
	CHARACTER	ON, OFF	
	GAIN	-99 ~ +99, 0	
	CHROMA	-99 ~ +99, 0	
	SETUP	ON, OFF	フォーマットが NTSC のとき表示
	SYNC-OUT		OUTPUT が SD-SYNC、HD-SYNC のとき表示
	V-PHASE	-999 ~ +999, 0	
	H-PHASE	-999 ~ +999, 0	
	DOWN CONVERTER		OUTPUT が VBS のとき表示
	SELECT	MAIN , RET, VF	
	ASPECT	SQ , EC	
<SDI OUT> M11 (U14)	SDI-1 OUT	OFF, MAIN/LINK-A , 3G-SDI, HD PROMPTER	
	SDI-2 OUT/IN	OFF, MAIN/LINK-B , HD TRUNK/RET IN	
	FRAME SYNCHRO	ON, OFF	SDI-2 OUT/IN が HD TRUNK のときに表示
	SDI-MONI OUT	MAIN , VF, LINK-B, RET, SD-SDI, OFF	LINK-B は HDC2600/2500 のみ。
	CHARACTER	ON, OFF	
	EMB AUDIO	OFF , MIC, PGM	
	DOWN CONVERTER		SDI-MONI OUT が SD-SDI のとき表示
	SELECT	MAIN , RET, VF	
	ASPECT	SQ , EC	
	COAX MODE	ON, OFF	COAX 接続の有効 / 無効、CCU 接続時は非表示
	TRUNK	ON , OFF	
	INTERFACE	232c , 422A	
<TRUNK> M12	AUX REMOTE		表示のみ
	NETWORK TRUNK		表示のみ
	LINK		

MAINTENANCE			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<GENLOCK> M13	REFERENCE	同期の状態	表示のみ
	GENLOCK	ENABLE , DISABLE	CCU 接続時は非表示
	STATUS		
	FORMAT		
	PHASE		
	V	-1024 ~ +1023, 0	
	HD H	-1700 ~ +1700, 0	
	SD H	-1024 ~ +1023, 0	
<DATE> M14	DATE/TIME	2000 ~ 2099/01 ~ 12/00 ~ 31 00 ~ 23 : 00 ~ 59	
	FILE TIMESTAMP FORMAT	1 Y/Mn/D, 2 Mn/D, 3 D/M/Y 4 D/M, 5 M/D/Y , 6 M/D	Y : 年 Mn : 月 (数字) M : 月 (英略語) D : 日
<BATTERY ALARM> M15	BEFORE END	11.5 ~ 17.0 V	
	END	11.0 ~ 11.5 V	
<OTHERS> M16	FAN MODE	OFF, AUTO1 , AUTO2, MIN, MAX	AUTO1 : 通常回転 AUTO2 : スロー回転
	CAM BARS	ON, OFF	
	WHITE SETUP MODE	AWB, A.LVL	
	FILTER WHT MEM	ON, OFF	CC フィルターポジションごとにホワイトメモリーを持つ機能の ON/OFF (HDC2600/2500 のみ)
<OPTION KEY> M17	READ (USB→CAM)	ENTER で実行	インストールキーを USB メモリーから読み込む。
	INSTALLED OPTION		オプション機能搭載時のみ表示

FILE メニュー

本機では、操作や調整を容易にするため、オペレーターファイル、リファレンスファイル、シーンファイル、OHBファイル、レンズファイルの5種類のファイルを使用できます。
オペレーターファイルには、OPERATIONメニューで設定でき

る項目とカスタマイズしたUSERメニューを保存できます。

- ◆ それぞれのファイルに含まれる具体的項目については、メンテナンスマニュアルをご覧ください。

FILE			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<OPERATOR FILE> F01	READ (USB → CAM)	ENTER で実行	オペレーターファイルを USB メモリーから読み込む。
	WRITE (CAM → USB)	ENTER で実行	現在のオペレーターファイル項目の設定を USB メモリーに書き込む。
	PRESET	ENTER で実行	本体のメモリーに保存されているオペレーターファイルのデータを読み出す。
	STORE PRESET FILE	ENTER で実行	現在のオペレーターファイル項目の設定を、本体のメモリーのオペレーターファイルに書き込む。
	FILE ID	最大 16 文字	USB メモリーに保存するオペレーターファイルに入れるコメントを入力 ◆「文字列を設定するには」(26 ページ) 参照
	CAM CODE	カメラコード	表示のみ
	DATE	日付	表示のみ
<SCENE FILE> F02	1		シーンファイル（ペイントデータ）の保存と読み出し：カメラのメモリーにシーンファイルを保存するときは、STORE の後にファイル番号を指定。 読み出すときは、ファイル番号指定のみ。
	2		
	3		
	4		
	5		
	STORE	ENTER で実行	
	STANDARD	ENTER で実行	標準のペイントデータを読み出す。
	READ (USB → CAM)	ENTER で実行	5 個のシーンファイルを USB メモリーから本体のメモリーに読み込む。
	WRITE (CAM → USB)	ENTER で実行	5 個のシーンファイルを本体のメモリーから USB メモリーに書き出す。
	FILE ID	最大 16 文字	USB メモリーに保存するシーンファイルに入れるコメントを入力 ◆「文字列を設定するには」(26 ページ) 参照
	CAM CODE	カメラコード	表示のみ
	DATE	日付	表示のみ
<REFERENCE> F03	STORE FILE	ENTER で実行	リファレンスファイル項目の現在の状態を、内蔵メモリーのリファレンスファイルに書き込む。
	STANDARD	ENTER で実行	内蔵メモリーに保存されているリファレンスファイルを読み出す。
	ALL PRESET	ENTER で実行	内蔵メモリーに保存されているリファレンスファイルを工場設定に戻す。
	READ (USB → CAM)	ENTER で実行	リファレンスファイルを USB メモリーから読み込む。
	WRITE (CAM → USB)	ENTER で実行	リファレンスファイル項目の現在の状態を USB メモリーに書き出す。
	FILE ID	最大 16 文字	USB メモリーに保存するリファレンスファイルに入れるコメントを入力 ◆「文字列を設定するには」(26 ページ) 参照
	CAM CODE	カメラコード	表示のみ
	DATE	日付	表示のみ

FILE			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<USER GAMMA> F04	READ (USB → CAM)	ENTER で実行	ユーザーガンマファイルを USB メモリーから読み込む。
	PRESET	ENTER で実行	本体のメモリーに保存されているユーザーガンマファイルのデータを呼び出す。
	FILE ID	最大 16 文字	USB メモリーに保存するユーザーガンマファイルに入れるコメントを入力 ◆「文字列を設定するには」(26 ページ) 参照
	CAM CODE	カメラコード	表示のみ
	DATE	日付	表示のみ
<LENS FILE> F05	STORE FILE	ENTER で実行	
	No.	1 ～ 17, 1	1 ～ 16：非シリアルレンズ使用時 17：シリアルレンズ使用時
	NAME		非シリアルレンズ使用時のみ変更可
	F NO	F1.0 ～ F3.4, F1.7	非シリアルレンズ使用時のみ変更可
	CENTER MARKER		センターマーカ位置の設定と保存
	H POS	-20 ～ +20, 0	H POS：数値が大きいほど右
	V POS	-20 ～ +20, 0	V POS：数値が大きいほど下
	STORE	ENTER で実行	
<OHB FILE> F06	STORE FILE	ENTER で実行	CCD 固有の項目のオフセット値を保存（一度保存すれば、取り付け直したときの再保存は不要）
<FILE CLEAR> F07	PRESET OPERATOR	ENTER で実行	
	REFERENCE (ALL)	ENTER で実行	
	10 SEC CLEAR	ON, OFF	メニューで選択している項目をクリアする機能の ON/OFF ◆「設定値を標準設定に戻すには」(27 ページ) 参照
	OHB WHITE SHAD (ALL)	ENTER で実行	
	OHB BLACK SHAD	ENTER で実行	
	OHB ND OFFSET	ENTER で実行	
	OHB MATRIX	ENTER で実行	

DIAGNOSIS メニュー

表示のみで、カメラ機能の設定はできません。
ただし、一部の項目では、表示のための条件設定を行います。

DIAGNOSIS			
ページ名 ページ No.	項目	表示	備考
<OPTICAL LEVEL> D01	CCU → CAM	GREEN, YELLOW, RED, NG, NO SIGNAL	CCU 接続時のみ表示
	CAM → CCU	GREEN, YELLOW, RED, NG, NO SIGNAL	CCU 接続時のみ表示
	CABLE LENGTH	0.0 km ~ 9.9 km, -.- km	カメラケーブル長を表示（CCU 接続時のみ表示）
<BOARD STATUS> D02	OHB	OK, NG	
	DPR	OK, NG	
	SY	OK, NG	
	PS	OK, NG	
	SDI	OK, NG	
<ROM VERSION> D03 (U15)	CAMERA APP	Vx.xx	
	O.S	Vx.xx	
	PANEL	Vx.xx	HDLA 装着時のみ表示
	HKCT	Vx.xx	HKC-T1500 装着時のみ表示
	TG	Vx.xx	
	SY	Vx.xx	
	DPR1	Vx.xx	
	DPR2	Vx.xx	
	SDI	Vx.xx	
<SERIAL No.> D04	MODEL	HDCxxxx	
	NO.	xxxxxxx	
	OPTION		オプション機能搭載時のみ、搭載オプション機能を表示

DIAGNOSIS			
ページ名 ページ No.	項目	表示	備考
<POWER SUPPLY STATUS> D05 ご注意 この表示は、カメラの 給電状態を簡易的に表 示するもののため、誤 差があります。目安と してお使いください。	VOLTAGE		
	CCU OUTPUT	100 ~ 250 ~ 300 V AC	CCU 側からの給電電圧設定（大型 CCU 接続時のみ表示）
		(183 V) DC	CCU 側からの給電電圧表示（ポータブル CCU 接続時のみ表示）
	CAM INPUT	xxx.x V	カメラ側の入力電圧表示（CCU 接続時のみ表示）
	CAMERA CABLE		
	RESISTANCE	0.1 ~ 3.4 ~ 9.9 ohm/100 m	給電ケーブル単位抵抗値を設定（CCU 接続時のみ表示）
			ご注意 光ファイバーケーブル（2SM-9.2-37.5/2SM-16-37.5）の標準規格において、電源線インピーダンスは、常温で 3.75 Ω/100 m と規定されています。 ただし、このメニューの計算においては、実測値として、常温で 3.4 Ω/100 m としています。 ケーブルの種類により電源線のインピーダンスに差がありますので、ご使用の光ファイバーケーブルに合わせて、往復の電源線インピーダンスを設定してください。
	LENGTH	x.x km	CCU が測定したケーブル長の値を表示（CCU 接続時のみ表示）
	TEMPERATURE	LOW (-5degC), NORM (25degC) , HIGH (55degC)	ケーブル抵抗値の温度補償を行うためのケーブル敷設環境温度を設定（CCU 接続時のみ表示）
	CCU SUPPLY	x.x A	CCU の供給電流値を表示（CCU 接続時のみ表示）
			ご注意 カメラケーブルが短いときは、正確な値になりません。
	CAM CONSUMPTION	xx.x A	カメラの消費電流値を表示
	POWER CONSUMPTION	xxx %	給電能力の消費率を表示

使用上のご注意

レーザービームについてのご注意

レーザービームは CCD に損傷を与えることがあります。
レーザービームを使用した撮影環境では、CCD 表面にレーザービームが照射されないように充分注意してください。

強い衝撃を与えない

内部構造や外観の変形などの損傷を受けることがあります。

使い終わったら

電源スイッチを切ってください。

使用、保管場所

水平な場所、空調のある場所に保管してください。
本体が濡れた場合、十分に乾燥させてから保管してください。

次のような場所での使用および保管は避けてください。

- 極端に暑い所や寒い所
- 湿気の多い所
- 激しく振動する所
- 強い磁気を発生する所
- 直射日光が長時間あたる所や暖房器具の近く

結露

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

撮像素子特有の現象

ご注意

撮影画面に出る下記の現象は、撮像素子特有の現象で、故障ではありません。

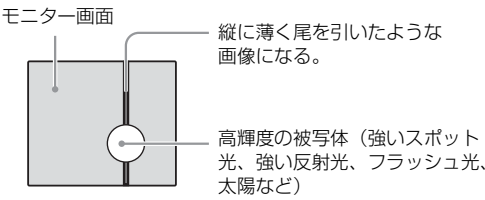
白点

撮像素子は非常に精密な技術で作られていますが、宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。
これは撮像素子の原理に起因するもので故障ではありません。
また、下記の場合、白点が見えやすくなります。

- 高温の環境で使用するとき
- ゲイン（感度）を上げたとき
- スローシャッターのとき

スミア現象

強いスポット光やフラッシュ光などを撮影したときに、画面上に縦線や画乱れが発生することがあります。



繰り返しひずみ

細かい模様、線などを撮影すると、ギザギザやちらつきが見えることがあります。

携帯電話などによる電波障害を防止するために

携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。
本機の近くでは、携帯電話などの電源はできるだけ切ってください。

エラーメッセージ

操作中に異常が検出されたときは、下記のメッセージが表示されます。

ご注意

メッセージを表示させるには、DISPLAYスイッチをDISPLAYまたはMENUに設定してください。

メッセージ	内容
TEMP WARNING	内部温度が異常に高い。
FAN STOP	内蔵ファンが正しく回転していない。
SET SYSTEM CLOCK	内蔵時計の日時が設定されていない。
OHB BLOCK NG!	光学ブロックに異常が検出された。
MSU RPN BUSY	外部コントロール機器で RPN 補正操作中に、本機のメニューで RPN 補正を操作した。サービス担当者に相談する。
VF RPN BUSY	本機のメニューで RPN 補正操作中に、外部コントロール機器で RPN 補正を操作した。サービス担当者に相談する。
NO USB FLASH DRIVE	USB メモリーが装着されていない状態で、USB メモリーの操作を行った。
USB FLASH DRIVE ERROR	USB メモリーへのアクセス中にエラーが発生した。
FORMAT ERROR!	フォーマットされていない USB メモリーにアクセスした。
WRITE PROTECTED	ライトプロテクトされている USB メモリーにファイルを書き込もうとした。
FILE ERROR	USB メモリーからファイルを読み込むときエラーが発生した。
OTHER MODEL'S FILE	互換性のない他の機種種のファイルを読み込もうとした。
FILE NOT FOUND	読み出そうとしたファイルが USB メモリーに存在しない。

USB メモリーの取り扱い

USB端子にUSBメモリーを接続して、設定データファイルを保存・呼び出すことができます。

以下のソニー製USBメモリーを使用することをおすすめします。
(2013年4月現在)

シリーズ名	製品名
ポケットビット M シリーズ	USM32GM、USM16GM、USM8GM、USM4GM
ポケットビット R シリーズ	USM32GR、USM16GR、USM8GR、USM4GR
ポケットビット Q シリーズ	USM64GQ、USM32GQ、USM16GQ、USM8GQ

ご注意

- 推奨品以外の USB メモリーは、USB 端子に接続しても認識されないことがあります。
- USB メモリーは FAT16 または FAT32 ファイルシステムでフォーマットされている必要があります。推奨品はフォーマットされていますので、購入後そのままご使用できます。

仕様

HDC2600


一般	
電源	AC 240 V、1.4 A (max.) DC 180 V、1.0 A (max.) DC 12 V、7 A (max.)
動作温度	-20℃～+45℃
保存温度	-20℃～+60℃
質量	約 4.5 kg (本体のみ)
外形寸法	57 ページ参照
撮像素子	
撮像素子	2/3 型フレイムインターライン転送方式 CCD
方式	RGB 3 板式
有効画素数	1920 (水平) × 1080 (垂直)
電気特性	
感度	F10.0 (2000lx、反射率 89.9%にて)
映像 S/N	Typical -55 dB/-63 dB (NS MAX)
水平解像度	1000TV 本 (画面中心) 変調度 5%以上
幾何学ひずみ	認められず (ただしレンズによるひずみを除く)
光学系仕様	
分光系	F1.4 プリズム方式
内蔵フィルター	色温度変換フィルター A：クロスフィルター B：3200K (素通し) C：4300K D：6300K E：8000K ND フィルター 1：素通し 2：1/4ND 3：1/8ND 4：1/16ND 5：1/64ND
入出力端子	
CCU	光電気マルチコネクター (1)
LENS	12 ピン (1)
VF	20 ピン (1)
MIC 1 IN	XLR 型 3 ピン、凹型 (1)
AUDIO IN CH1、CH2	XLR 型 3 ピン、凹型 (各 1) AUDIO スイッチ MIC 時：-60 dBu (メニューまたは HDCU2000/2500 の操作により -20 dBu まで切り換え可能)、 平衡 AUDIO スイッチ LINE 時：0 dBu、平衡
INTERCOM 1、 INTERCOM 2	XLR 型 5 ピン、凹型 (各 1)

EARPHONE	ステレオミニジャック (1)
DC IN	XLR 型 4 ピン (1)、DC 10.5 ～ 17 V
DC OUT	4 ピン (1)、DC 10.5 ～ 17 V、 最大 0.5 A (ただし、負荷条件、入力条件などにより、 制限される場合があります。)
	2 ピン (1)、DC 10.5 ～ 17 V、 最大 2.5 A (ただし、負荷条件、入力条件などにより、 制限される場合があります。)
SDI 1、SDI 2	BNC 型 (各 1)
SDI-MONI	BNC 型 (1)
TEST OUT	BNC 型 (1)
PROMPTER/GENLOCK	BNC 型 (1)、1 Vp-p、75Ω
PROMPTER2	BNC 型 (1)、1 Vp-p、75Ω
RET CTRL	6 ピン (1)
REMOTE	8 ピン (1)
TRACKER	10 ピン (1)
CRANE	12 ピン (1)
USB	USB 2.0 タイプ A 4 ピン (1) (USB メモリ ー接続用)
NETWORK TRUNK	 RJ-45 型 8 ピン (1)
付属品	
オペレーションガイド (1)	
オペレーションマニュアル (CD-ROM) (1)	
ケーブルクランプベルト (1 式)	
カメラナンバーラベル (1)	
ネジ (+B3 × 8) (2)	

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

HDC2500

一般	
電源	AC 240 V、1.4 A (max.) DC 180 V、1.0 A (max.) DC 12 V、7 A (max.)
動作温度	-20℃～+45℃
保存温度	-20℃～+60℃
質量	約 4.5 kg (本体のみ)
外形寸法	57 ページ参照
撮像素子	
撮像素子	2/3 型プログレッシブ転送方式 CCD
方式	RGB 3 板式
有効画素数	1920 (水平) × 1080 (垂直)
電気特性	
感度	F10.0 (2000lx、反射率 89.9%にて)
映像 S/N	Typical -60 dB/-64 dB (NS MAX)
水平解像度	1000TV 本 (画面中心) 変調度 5%以上
幾何学ひずみ	認められず (ただしレンズによるひずみを除く)


光学系仕様	
分光系	F1.4 プリズム方式
内蔵フィルター	色温度変換フィルター A：クロスフィルター B：3200K（素通し） C：4300K D：6300K E：8000K ND フィルター 1：素通し 2：1/4ND 3：1/8ND 4：1/16ND 5：1/64ND
入出力端子	
CCU	光電気マルチコネクタ (1)
LENS	12 ピン (1)
VF	20 ピン (1)
MIC 1 IN	XLR 型 3 ピン、凹型 (1)
AUDIO IN CH1、CH2	XLR 型 3 ピン、凹型 (各 1) AUDIO スイッチ MIC 時：-60 dBu (メニューまたは HDCU2000/2500 の操作により -20 dBu まで切り換え可能)、 平衡 AUDIO スイッチ LINE 時：0 dBu、平衡
INTERCOM 1、 INTERCOM 2	XLR 型 5 ピン、凹型 (各 1)
EARPHONE	ステレオミニジャック (1)
DC IN	XLR 型 4 ピン (1)、DC 10.5 ～ 17 V
DC OUT	4 ピン (1)、DC 10.5 ～ 17 V、 最大 0.5 A (ただし、負荷条件、入力条件などにより、 制限される場合があります。) 2 ピン (1)、DC 10.5 ～ 17 V、 最大 2.5 A (ただし、負荷条件、入力条件などにより、 制限される場合があります。)
SDI 1、SDI 2	BNC 型 (各 1)
SDI-MONI	BNC 型 (1)
TEST OUT	BNC 型 (1)
PROMPTER/GENLOCK	BNC 型 (1)、1 Vp-p、75Ω
PROMPTER2	BNC 型 (1)、1 Vp-p、75Ω
RET CTRL	6 ピン (1)
REMOTE	8 ピン (1)
TRACKER	10 ピン (1)
CRANE	12 ピン (1)
USB	USB 2.0 タイプ A 4 ピン (1) (USB メモ リー接続用)
NETWORK TRUNK	 RJ-45 型 8 ピン (1)
付属品	
オペレーションガイド (1)	
オペレーションマニュアル (CD-ROM) (1)	
ケーブルクランプベルト (1 式)	

カメラナンバラベル (1)
ネジ (+B3 × 8) (2)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

HDC2400

一般	
電源	AC 240 V、1.4 A (max.) DC 180 V、1.0 A (max.) DC 12 V、7 A (max.)
動作温度	-20℃～+45℃
保存温度	-20℃～+60℃
質量	約 4.5 kg (本体のみ)
外形寸法	57 ページ参照
撮像素子	
撮像素子	2/3 型プログレッシブ転送方式 CCD
方式	RGB 3 板式
有効画素数	1920 (水平) × 1080 (垂直)
電気特性	
感度	F10.0 (2000lx、反射率 89.9%にて)
映像 S/N	Typical -60 dB/-64 dB (NS MAX)
水平解像度	1000TV 本 (画面中心) 変調度 5%以上
幾何学ひずみ	認められず (ただしレンズによるひずみを 除く)
光学系仕様	
分光系	F1.4 プリズム方式
内蔵フィルター	1：素通し 2：1/4ND 3：1/16ND 4：1/64ND 5：クロスフィルター
入出力端子	
CCU	光電気マルチコネクタ (1)
LENS	12 ピン (1)
VF	20 ピン (1)
MIC 1 IN	XLR 型 3 ピン、凹型 (1)
AUDIO IN CH1、CH2	XLR 型 3 ピン、凹型 (各 1) AUDIO スイッチ MIC 時：-60 dBu (メニューまたは HDCU2000/2500 の操作により -20 dBu まで切り換え可能)、 平衡 AUDIO スイッチ LINE 時：0 dBu、平衡
INTERCOM 1、 INTERCOM 2	XLR 型 5 ピン、凹型 (各 1)
EARPHONE	ステレオミニジャック (1)
DC IN	XLR 型 4 ピン (1)、DC 10.5 ～ 17 V

DC OUT	4ピン (1)、DC 10.5 ~ 17 V、 最大 0.5 A (ただし、負荷条件、入力条件などにより、 制限される場合があります。)
	2ピン (1)、DC 10.5 ~ 17 V、 最大 2.5 A (ただし、負荷条件、入力条件などにより、 制限される場合があります。)
SDI 1、SDI 2	BNC 型 (各 1)
SDI-MONI	BNC 型 (1)
TEST OUT	BNC 型 (1)
PROMPTER/GENLOCK	BNC 型 (1)、1 Vp-p、75Ω
PROMPTER2	BNC 型 (1)、1 Vp-p、75Ω
RET CTRL	6ピン (1)
REMOTE	8ピン (1)
TRACKER	10ピン (1)
CRANE	12ピン (1)
USB	USB 2.0 タイプ A 4ピン (1) (USB メモ リー接続用)
NETWORK TRUNK	 RJ-45 型 8ピン (1)
付属品	
オペレーションガイド (1)	
オペレーションマニュアル (CD-ROM) (1)	
ケーブルクランプベルト (1 式)	
カメラナンバラベル (1)	
ネジ (+B3 × 8) (2)	

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

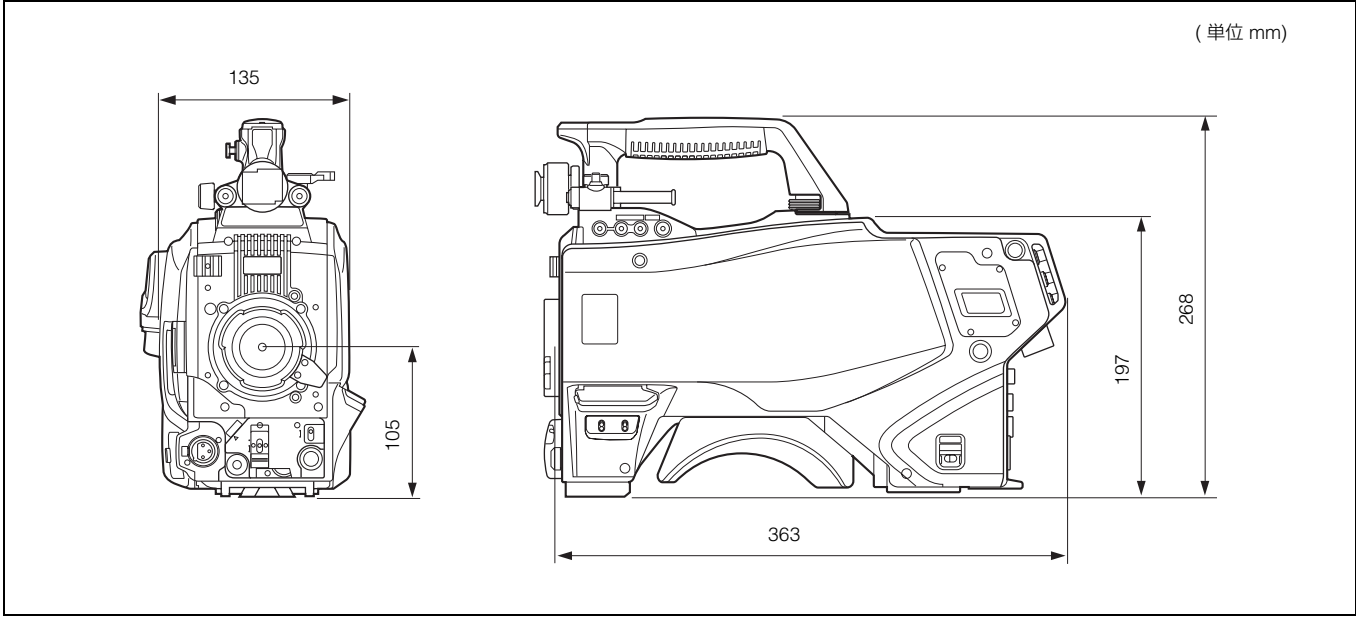
別売品／関連機器

別売品	
HD エレクトロニック ビューファインダー	HDVF-20A (2 型、白黒) HDVF-200 (2 型、白黒) HDVF-550 (5 型、白黒) HDVF-C30WR (2.7 型、カラー) HDVF-C35W (3.5 型、カラー) HDVF-C550W (5 型、カラー) HDVF-C730W (6.5 型、カラー) HDVF-EL75 (7.4 型、カラー)
大型レンズアダプター	HDLA1500/1505
大型ビューファインダー アダプター	HDLA1507
CCD ブロックアダプター	HKC-T1500
マイクホルダー	CAC-12
リターンビデオセレク ター	CAC-6
ビューファインダー回転 機構	BKW-401
デュアルオブチカルフィ ルターユニット	HKC-DF20
三脚アタッチメント	VCT-14

低反発ショルダーパッド	A-8286-346-A
カメラオペレーティング ソフトウェア	HZC-UG444 HZC-DFR20 HZC-PRV20 HZC-PSF20
関連機器	
HD カメラコントロールユニット HDCU2000 シリーズ	
リモートコントロールパネル RCP-1000 シリーズ	
マスターセットアップユニット MSU-1000 シリーズ	
カメラコマンドネットワークユニット CNU-700	
カメラシステムマネジメントソフトウェア HZC-CSM10	

- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障
その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証
期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了
承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からの
いかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねま
す。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断につ
いて、一切の責任を負いかねます。

外形寸法



GNU GPL/LGPL 適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）またはGNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPL の条件に従い、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

パッケージリスト

lzo	time	less
blktrace	coreutils	libusb
compcache	diffutils	minicom
directfb	dosfstools	oprofile
e2fsprogs	ethtool	procps
net-tools	findutils	setserial
gawk	fuse	tar
gdisk	glib	tofstools
gpm	grep	vim
iputils	ksymoops	which
libtool	util-linux-ng	xz
libcap	vsftpd	iptables
memstat	wireless-tools	mtd-utils
mkcramfs	acl	glibc-libpthread_ptt
nfs-utils	glibc	module-init-tools
procinfo	bash	linux-kernel
pump	busybox	netbase

ソースコードの入手方法については、弊社サービスにお問い合わせください。

The GNU General Public License (GPL)

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
- c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose

permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:
 - a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
 - b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
 - c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.
7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your

obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER

OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the “copyright” line and a pointer to where the full notice is found.

One line to give the program's name and a brief idea of what it does.
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type 'show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type 'show c' for details.

The hypothetical commands 'show w' and 'show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than 'show w' and 'show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a “copyright disclaimer” for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program 'Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

GNU Lesser General Public License

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the “Lesser” General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For

example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
 - a) The modified work must itself be a software library.
 - b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
 - c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
 - d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a “work that uses the Library” with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable “work that uses the Library”, as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the “work that uses the Library” must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:
 - a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
 - b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.
8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to

copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.
10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.
11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and “any later version”, you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and an idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail. You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

本製品には、以下のライセンスを受けるソフトウェアportmapが含まれています。
なお、ソースコードの内容についてのお問い合わせはご遠慮ください。

Copyright (c) 1990 The Regents of the University of California.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

本製品には、以下のライセンスを受けるソフトウェアstraceが含まれています。
なお、ソースコードの内容についてのお問い合わせはご遠慮ください。

Copyright (c) 1991, 1992 Paul Kranenburg <pk@cs.few.eur.nl>
Copyright (c) 1993 Branko Lankester <branko@hacktic.nl>
Copyright (c) 1993 Ulrich Pegelow <pegelow@moorea.uni-muenster.de>
Copyright (c) 1995, 1996 Michael Elizabeth Chastain
<mec@duracef.shout.net>
Copyright (c) 1993, 1994, 1995, 1996 Rick Sladkey <jrs@world.std.com>
Copyright (C) 1998-2001 Wichert Akkerman <wakkerma@deephackmode.org>
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

本製品には、以下のライセンスを受けるソフトウェアlibxml2が含まれています。
なお、ソースコードの内容についてのお問い合わせはご遠慮ください。

Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FIT-NESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE DANIEL VAILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Daniel Veillard shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from him.

本製品は、OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>) で利用するために、OpenSSL Projectにより開発されたソフトウェアを含んでいます。
なお、ソースコードの内容についてのお問い合わせはご遠慮ください。

OpenSSL License

=====

Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR

CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

=====

This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (ey@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (ey@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

本製品には、以下のライセンスを受けるソフトウェアdhcpcclientが含まれています。
なお、ソースコードの内容についてのお問い合わせはご遠慮ください。

Copyright © 2004-2011 by Internet Systems Consortium, Inc. ("ISC")
Copyright © 1995-2003 by Internet Software Consortium

Permission to use, copy, modify, and/or distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ISC DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL ISC BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

本製品には、以下のライセンスを受けるソフトウェアopensshが含まれています。
なお、ソースコードの内容についてのお問い合わせはご遠慮ください。

The licences which components of this software fall under are as follows. First, we will summarize and say that all components are under a BSD licence, or a licence more free than that.

OpenSSH contains no GPL code.

1)

Copyright (c) 1995 Tatu Ylonen <ylo@cs.hut.fi>, Espoo, Finland
All rights reserved

As far as I am concerned, the code I have written for this software can be used freely for any purpose. Any derived versions of this software must be clearly marked as such, and if the derived work is incompatible with the protocol description in the RFC file, it must be called by a name other than "ssh" or "Secure Shell".

[Tatu continues]

However, I am not implying to give any licenses to any patents or copyrights held by third parties, and the software includes parts that are not under my direct control. As far as I know, all included source code is used in accordance with the relevant license agreements and can be used freely for any purpose (the GNU license being the most restrictive); see below for details.

[However, none of that term is relevant at this point in time. All of these restrictively licenced software components which he talks about have been removed from OpenSSH, i.e.,

- RSA is no longer included, found in the OpenSSL library
- IDEA is no longer included, its use is deprecated
- DES is now external, in the OpenSSL library
- GMP is no longer used, and instead we call BN code from OpenSSL
- Zlib is now external, in a library
- The make-ssh-known-hosts script is no longer included
- TSS has been removed
- MD5 is now external, in the OpenSSL library
- RC4 support has been replaced with ARC4 support from OpenSSL
- Blowfish is now external, in the OpenSSL library

[The licence continues]

Note that any information and cryptographic algorithms used in this software are publicly available on the Internet and at any major bookstore, scientific library, and patent office worldwide. More information can be found e.g. at "http://www.cs.hut.fi/crypto".

The legal status of this program is some combination of all these permissions and restrictions. Use only at your own responsibility. You will be responsible for any legal consequences yourself; I am not making any claims whether

possessing or using this is legal or not in your country, and I am not taking any responsibility on your behalf.

NO WARRANTY

BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

2)

The 32-bit CRC compensation attack detector in deattack.c was contributed by CORE SDI S.A. under a BSD-style license.

Cryptographic attack detector for ssh - source code

Copyright (c) 1998 CORE SDI S.A., Buenos Aires, Argentina.

All rights reserved. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that this copyright notice is retained.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL CORE SDI S.A. BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY OR CONSEQUENTIAL DAMAGES RESULTING FROM THE USE OR MISUSE OF THIS SOFTWARE.

Ariel Futoransky <futo@core-sdi.com>
<http://www.core-sdi.com>

3)

ssh-keyscan was contributed by David Mazieres under a BSD-style license.

Copyright 1995, 1996 by David Mazieres <dm@lcs.mit.edu>.

Modification and redistribution in source and binary forms is permitted provided that due credit is given to the author and the OpenBSD project by leaving this copyright notice intact.

4)

The Rijndael implementation by Vincent Rijmen, Antoon Bosselaers and Paulo Barreto is in the public domain and distributed with the following license:

@version 3.0 (December 2000)

Optimised ANSI C code for the Rijndael cipher (now AES)

@author Vincent Rijmen <vincent.rijmen@esat.kuleuven.ac.be>
@author Antoon Bosselaers <antoon.bosselaers@esat.kuleuven.ac.be>
@author Paulo Barreto <paulo.barreto@terra.com.br>

This code is hereby placed in the public domain.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- 5) One component of the ssh source code is under a 3-clause BSD license, held by the University of California, since we pulled these parts from original Berkeley code.

Copyright (c) 1983, 1990, 1992, 1993, 1995
The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- 6) Remaining components of the software are provided under a standard 2-term BSD licence with the following names as copyright holders:

Markus Friedl
Theo de Raadt
Niels Provos
Dug Song
Aaron Campbell
Damien Miller
Kevin Steves
Daniel Kouril
Wesley Griffin
Per Allansson
Nils Nordman
Simon Wilkinson

Portable OpenSSH additionally includes code from the following copyright holders, also under the 2-term BSD license:

Ben Lindstrom
Tim Rice
Andre Lucas
Chris Adams
Corinna Vinschen
Cray Inc.
Denis Parker
Gert Doering

Jakob Schlyter
Jason Downs
Juha Yrjölä
Michael Stone
Networks Associates Technology, Inc.
Solar Designer
Todd C. Miller
Wayne Schroeder
William Jones
Darren Tucker
Sun Microsystems
The SCO Group
Daniel Walsh

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- 8) Portable OpenSSH contains the following additional licenses:

- a) md5crypt.c, md5crypt.h

"THE BEER-WARE LICENSE" (Revision 42):
<phk@login.dknet.dk> wrote this file. As long as you retain this notice you can do whatever you want with this stuff. If we meet some day, and you think this stuff is worth it, you can buy me a beer in return. Poul-Henning Kamp

- b) snprintf replacement

Copyright Patrick Powell 1995
This code is based on code written by Patrick Powell (papowell@astart.com) It may be used for any purpose as long as this notice remains intact on all source code distributions

- c) Compatibility code (openbsd-compat)

Apart from the previously mentioned licenses, various pieces of code in the openbsd-compat/ subdirectory are licensed as follows:

Some code is licensed under a 3-term BSD license, to the following copyright holders:

Todd C. Miller
Theo de Raadt
Damien Miller
Eric P. Allman
The Regents of the University of California
Constantin S. Svintsoff

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Some code is licensed under an ISC-style license, to the following copyright holders:

Internet Software Consortium.
Todd C. Miller
Reyk Floeter
Chad Mynhier

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND TODD C. MILLER DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL TODD C. MILLER BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Some code is licensed under a MIT-style license to the following copyright holders:

Free Software Foundation, Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, distribute with modifications, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE ABOVE COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name(s) of the above copyright holders shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization.

本製品には、以下のライセンスを受けるソフトウェアlibpngが含まれていません。
なお、ソースコードの内容についてのお問い合わせはご遠慮ください。

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.5.2, March 31, 2011, are Copyright (c) 2004, 2006-2011 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler
Kevin Bracey
Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat
Paul Schmidt
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.

2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like:

```
printf("%s",png_get_copyright(NULL));
```

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31)" and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson
glennrp at users.sourceforge.net

本製品には、以下のライセンスを受けるソフトウェアlibcurlが含まれていません。
なお、ソースコードの内容についてのお問い合わせはご遠慮ください。

Copyright (c) 1996 - 2010, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

本製品には、以下のライセンスを受けるソフトウェアlibexpatが含まれています。
なお、ソースコードの内容についてのお問い合わせはご遠慮ください。

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper
Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the Software), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT

OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

本製品には、以下のライセンスを受けるソフトウェアzlibが含まれています。
なお、ソースコードの内容についてのお問い合わせはご遠慮ください。

zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library version 1.2.5, April 19th, 2010

(C) 1995-2004 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly jloup@gzip.org	Mark Adler madler@alumni.caltech.edu
------------------------------------	---

本製品には、以下のライセンスを受けるソフトウェアlighttpdが含まれていません。
なお、ソースコードの内容についてのお問い合わせはご遠慮ください。

Copyright (c) 2004, Jan Kneschke, incremental
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the 'incremental' nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

本製品には、以下のライセンスを受けるソフトウェアfileが含まれています。
なお、ソースコードの内容についてのお問い合わせはご遠慮ください。

Copyright (c) Ian F. Darwin 1986, 1987, 1989, 1990, 1991, 1992, 1994, 1995.
Software written by Ian F. Darwin and others;
maintained 1994- Christos Zoulas.

This software is not subject to any export provision of the United States Department of Commerce, and may be exported to any country or planet.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice immediately at the beginning of the file, without modification, this list of conditions, and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

本製品には、以下のライセンスを受けるソフトウェアfreetypeが含まれています。
なお、ソースコードの内容についてのお問い合わせはご遠慮ください。

The FreeType Project LICENSE

2006-Jan-27

Copyright 1996-2002, 2006 by
David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg

Introduction

The FreeType Project is distributed in several archive packages; some of them may contain, in addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to, the FreeType Project.

This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license. The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least.

This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion and use of free software in commercial and freeware products alike. As a consequence, its main points are that:

- o We don't promise that this software works. However, we will be interested in any kind of bug reports. ('as is' distribution)
- o You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. ('royalty-free' usage)
- o You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you have used the FreeType code. ('credits')

We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial products. We disclaim all warranties covering The FreeType Project and assume no liability related to The FreeType Project.

Finally, many people asked us for a preferred form for a credit/disclaimer to use in compliance with this license. We thus encourage you to use the following text:

""

Portions of this software are copyright ? <year> The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

""

Please replace <year> with the value from the FreeType version you actually use.

Legal Terms

=====

0. Definitions

Throughout this license, the terms 'package', 'FreeType Project', and 'FreeType archive' refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the 'FreeType Project', be they named as alpha, beta or final release.

'You' refers to the licensee, or person using the project, where 'using' is a generic term including compiling the project's source code as well as linking it to form a 'program' or 'executable'. This program is referred to as 'a program using the FreeType engine'.

This license applies to all files distributed in the original FreeType Project, including all source code, binaries and documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive. If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this.

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

1. No Warranty

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED 'AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

2. Redistribution

This license grants a worldwide, royalty-free, perpetual and irrevocable right and license to use, execute, perform, compile, display, copy, create derivative works of, distribute and sublicense the FreeType Project (in both source and object code forms) and derivative works thereof for any purpose; and to authorize others to exercise some or all of the rights granted herein, subject to the following conditions:

- o Redistribution of source code must retain this license file ('FTL.TXT') unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation. The copyright notices of the unaltered, original files must be preserved in all copies of source files.
- o Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn't mandatory.

These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType Project, not just the unmodified files. If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

3. Advertising

Neither the FreeType authors and contributors nor you shall use the name of the other for commercial, advertising, or promotional purposes without specific prior written permission.

We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: 'FreeType Project', 'FreeType Engine', 'FreeType library', or 'FreeType Distribution'.

As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType Project is copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it. Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType Project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.

4. Contacts

There are two mailing lists related to FreeType:

o freetype@nongnu.org

Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and wanted additions to the library and distribution. If you are looking for support, start in this list if you haven't found anything to help you in the documentation.

o freetype-devel@nongnu.org

Discusses bugs, as well as engine internals, design issues, specific licenses, porting, etc.

Our home page can be found at

<http://www.freetype.org>

本製品には、以下のライセンスを受けるソフトウェア usagi-toolが含まれています。

なお、ソースコードの内容についてのお問い合わせはご遠慮ください。

Copyright (C) 2007 USAGI/WIDE Project.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE PROJECT AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE PROJECT OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

本製品には、以下のライセンスを受けるNET BSDソフトウェアが含まれています。

なお、ソースコードの内容についてのお問い合わせはご遠慮ください。

Copyright (c) 1994-2004 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The following notices are required to satisfy the license terms of the software that we have mentioned in this document:

This product includes software developed by Adam Glass.

This product includes software developed by Bill Paul.

This product includes software developed by Brini.

This product includes software developed by Causality Limited.

This product includes software developed by Charles M. Hannum.

This product includes software developed by Christian E. Hopps.

This product includes software developed by Christopher G. Demetriou.

This product includes software developed by Christopher G. Demetriou for the NetBSD Project.

This product includes software developed by Christos Zoulas.

This product includes software developed by Gardner Buchanan.

This product includes software developed by Gordon W. Ross

This product includes software developed by Manuel Bouyer.

This product includes software developed by Mark Brinicombe.

This product includes software developed by Rolf Grossmann.

This product includes software developed by ToolS GmbH.

This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.

This product includes software developed by the RiscBSD team.

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.

This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory.

This product includes software developed for the NetBSD Project by Wasabi Systems, Inc.

This product includes software developed for the NetBSD Project by Matthias Drochner.

本製品には、以下のライセンスを受けるソフトウェア ncurses が含まれています。

なお、ソースコードの内容についてのお問い合わせはご遠慮ください。

Copyright (c) 1998-2004, 2006 Free Software Foundation, Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, distribute with modifications, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE

WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE ABOVE COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name(s) of the above copyright holders shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization.

本製品には、以下のライセンスを受けるソフトウェアlibjpeg が含まれています。

なお、ソースコードの内容についてのお問い合わせはご遠慮ください。

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

本製品には、以下のライセンスを受けるソフトウェアglibc, glibc-libpthread_ptt が含まれています。

なお、ソースコードの内容についてのお問い合わせはご遠慮ください。

All code incorporated from 4.4 BSD is distributed under the following license:

Copyright (C) 1991 Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. [This condition was removed.]
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS

[root@pcu1148 SRPMS]# cat glibc/glibc-2.11.2/LICENSES

This file contains the copying permission notices for various files in the GNU C Library distribution that have copyright owners other than the Free Software Foundation. These notices all require that a copy of the notice be included in the accompanying documentation and be distributed with binary distributions of the code, so be sure to include this file along with any binary distributions derived from the GNU C Library.

All code incorporated from 4.4 BSD is distributed under the following license:

Copyright (C) 1991 Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. [This condition was removed.]
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY

AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The DNS resolver code, taken from BIND 4.9.5, is copyrighted both by UC Berkeley and by Digital Equipment Corporation. The DEC portions are under the following license:

Portions Copyright (C) 1993 by Digital Equipment Corporation.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies, and that the name of Digital Equipment Corporation not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the document or software without specific, written prior permission.

THE SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND DIGITAL EQUIPMENT CORP. DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL DIGITAL EQUIPMENT CORPORATION BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

The Sun RPC support (from rpcsrc-4.0) is covered by the following license:

Copyright (C) 1984, Sun Microsystems, Inc.

Sun RPC is a product of Sun Microsystems, Inc. and is provided for unrestricted use provided that this legend is included on all tape media and as a part of the software program in whole or part. Users may copy or modify Sun RPC without charge, but are not authorized to license or distribute it to anyone else except as part of a product or program developed by the user.

SUN RPC IS PROVIDED AS IS WITH NO WARRANTIES OF ANY KIND INCLUDING THE WARRANTIES OF DESIGN, MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE OR TRADE PRACTICE.

Sun RPC is provided with no support and without any obligation on the part of Sun Microsystems, Inc. to assist in its use, correction, modification or enhancement.

SUN MICROSYSTEMS, INC. SHALL HAVE NO LIABILITY WITH RESPECT TO THE INFRINGEMENT OF COPYRIGHTS, TRADE SECRETS OR ANY PATENTS BY SUN RPC OR ANY PART THEREOF.

In no event will Sun Microsystems, Inc. be liable for any lost revenue or profits or other special, indirect and consequential damages, even if Sun has been advised of the possibility of such damages.

The following CMU license covers some of the support code for Mach, derived from Mach 3.0:

Mach Operating System
Copyright (C) 1991,1990,1989 Carnegie Mellon University
All Rights Reserved.

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation is hereby granted, provided that both the copyright notice and this permission notice appear in all copies of the software, derivative works or modified versions, and any portions thereof, and that both notices appear in supporting documentation.

CARNEGIE MELLON ALLOWS FREE USE OF THIS SOFTWARE IN ITS ``AS IS'' CONDITION. CARNEGIE MELLON DISCLAIMS ANY LIABILITY OF ANY

KIND FOR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE USE OF THIS SOFTWARE.

Carnegie Mellon requests users of this software to return to

Software Distribution Coordinator
School of Computer Science
Carnegie Mellon University
Pittsburgh PA 15213-3890

or Software.Distribution@CS.CMU.EDU any improvements or extensions that they make and grant Carnegie Mellon the rights to redistribute these changes.

The file if_ppp.h is under the following CMU license:

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY CARNEGIE MELLON UNIVERSITY AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE UNIVERSITY OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The following license covers the files from Intel's "Highly Optimized Mathematical Functions for Itanium" collection:

Intel License Agreement

Copyright (c) 2000, Intel Corporation

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- The name of Intel Corporation may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The files inet/getnameinfo.c and sysdeps/posix/getaddrinfo.c are copyright (C) by Craig Metz and are distributed under the following license:

/* The Inner Net License, Version 2.00

The author(s) grant permission for redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, of the software and documentation provided that the following conditions are met:

0. If you receive a version of the software that is specifically labelled as not being for redistribution (check the version message and/or README), you are not permitted to redistribute that version of the software in any way or form.
1. All terms of the all other applicable copyrights and licenses must be followed.
2. Redistributions of source code must retain the authors' copyright notice(s), this list of conditions, and the following disclaimer.
3. Redistributions in binary form must reproduce the authors' copyright notice(s), this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
4. [The copyright holder has authorized the removal of this clause.]
5. Neither the name(s) of the author(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ITS AUTHORS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

If these license terms cause you a real problem, contact the author. */

本製品には、以下のライセンスを受けるソフトウェアiputilsが含まれています。
なお、ソースコードの内容についてのお問い合わせはご遠慮ください。

Copyright (c) 1989 The Regents of the University of California.
All rights reserved.

This code is derived from software contributed to Berkeley by Mike Muuss.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)

ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE."

このマニュアルに記載されている事柄の著作権は当社にあります。説明内容は機器購入者の使用を目的としています。従って、当社の許可なしに無断で複写したり、説明内容（操作、保守等）と異なる目的で本マニュアルを使用することを禁止します。

HDC2600 (J)
HDC2500 (JN/SY)
HDC2400 (JN/SY)
4-467-652-01(1)

Sony Corporation

<http://www.sony.co.jp/>

© 2013